平成30年度　受（Ⅲ）道第6号

みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）道路改良（1-4工区）工事

設　計　図

宮城県道路公社

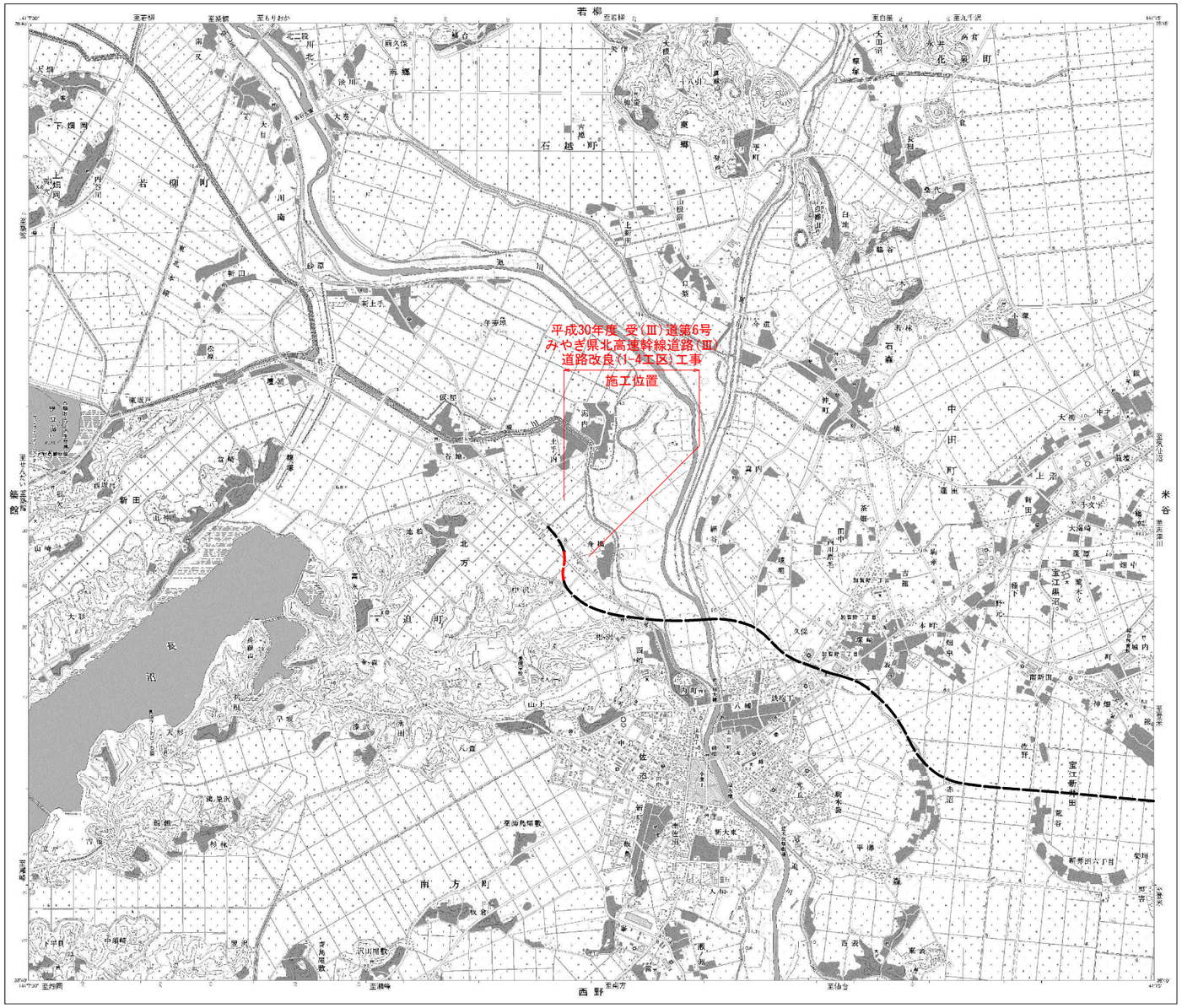
平成30年度　受（Ⅲ）道第6号　みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）道路改良（1-4工区）工事

図　面　目　録

実　施

図　面　名	図　番	図　面　名	図　番
位置図	1 / 55	2号函渠工配筋図(2)	29 / 55
平面図(1)	2 / 55	2号函渠工配筋図(3)	30 / 55
線形図(2)	3 / 55	2号函渠工配筋図(4)	31 / 55
地盤改良縦断図(1)	4 / 55	2号函渠工配筋図(5)	32 / 55
地盤改良縦断図(2)	5 / 55	2号函渠工配筋図(6)	33 / 55
土工区分図	6 / 55	2号函渠工配筋図(7)	34 / 55
深層混合処理割付図(1)	7 / 55	2号函渠工配筋図(8)	35 / 55
深層混合処理割付図(2)	8 / 55	2号函渠工配筋図(9)	36 / 55
深層混合処理割付図(3)	9 / 55	2号函渠工配筋図(10)	37 / 55
3号橋深層混合処理割付図	10 / 55	2号函渠工配筋図(11)	38 / 55
地盤改良標準断面図(2)	11 / 55	2号函渠工配筋図(12)	39 / 55
地盤改良標準断面図(4)	12 / 55	2号函渠工配筋図(13)	40 / 55
地盤改良標準断面図(5)	13 / 55	2号函渠工配筋図(14)	41 / 55
地盤改良横断図(5)	14 / 55	2号函渠工配筋図(15)	42 / 55
地盤改良横断図(6)	15 / 55	ひび割れ誘発目地計画図　(参考図)	43 / 55
地盤改良横断図(7)	16 / 55	撤去平面図(1)	44 / 55
地盤改良横断図(8)	17 / 55	迂回路工平面図	45 / 55
地盤改良横断図(9)	18 / 55	仮設計画図(1)	46 / 55
地盤改良横断図(10)	19 / 55	仮設計画図(2)	47 / 55
地盤改良横断図(11)	20 / 55	仮設計画図(3)	48 / 55
動態観測計画平面図(2)	21 / 55	仮設横断図(本線)(5)	49 / 55
動態観測計画平面図(3)	22 / 55	仮設横断図(本線)(6)	50 / 55
動態観測計画標準断面図(3)	23 / 55	仮設横断図(本線)(7)	51 / 55
沈下板詳細図	24 / 55	仮設横断図(本線)(8)	52 / 55
2号函渠工一般図　No.31+5.68	25 / 55	仮設横断図(本線)(9)	53 / 55
2号函渠工構造図(1)	26 / 55	仮設横断図(本線)(10)	54 / 55
2号函渠工構造図(2)	27 / 55	仮設横断図(本線)(11)	55 / 55
2号函渠工配筋図(1)	28 / 55		

位 置 図 S=1:25000

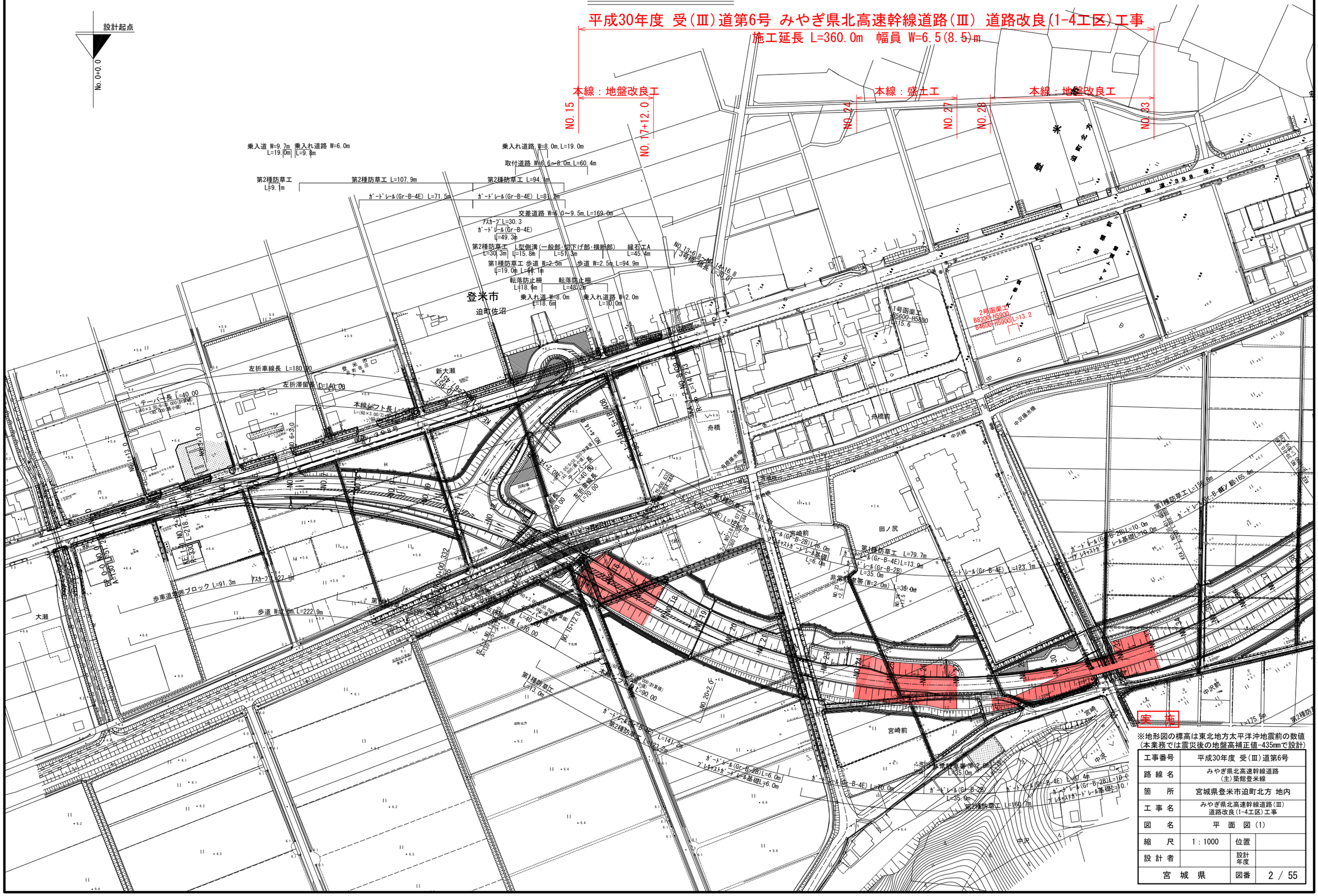

平成30年度 受(Ⅲ)道第6号
みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)
道路改良(1-4工区)工事
施工位置
若柳
西野
至若柳
至西野
至内岡
至瀬峰
至南方
至佐沼
至米谷
至築館
至もりおか
至白鳥
至九千沢
至高清水
至登米
至佐野
至柴田
至大崎
至仙台
至石巻
至石越
至新田
至長沼
至尾松
至迫
至中田
至南新田
至宮城県北高速道路
至東北自動車道
至東北本線
至東北新幹線
至東北自動車道
至東北本線
至東北新幹線
至東北自動車道
至東北本線
至東北新幹線

平 面 図 (1)

S=1:1000

平成30年度 受(Ⅲ)道第6号 みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事

施工延長 L=360.0m 幅員 W=6.5(8.5)m



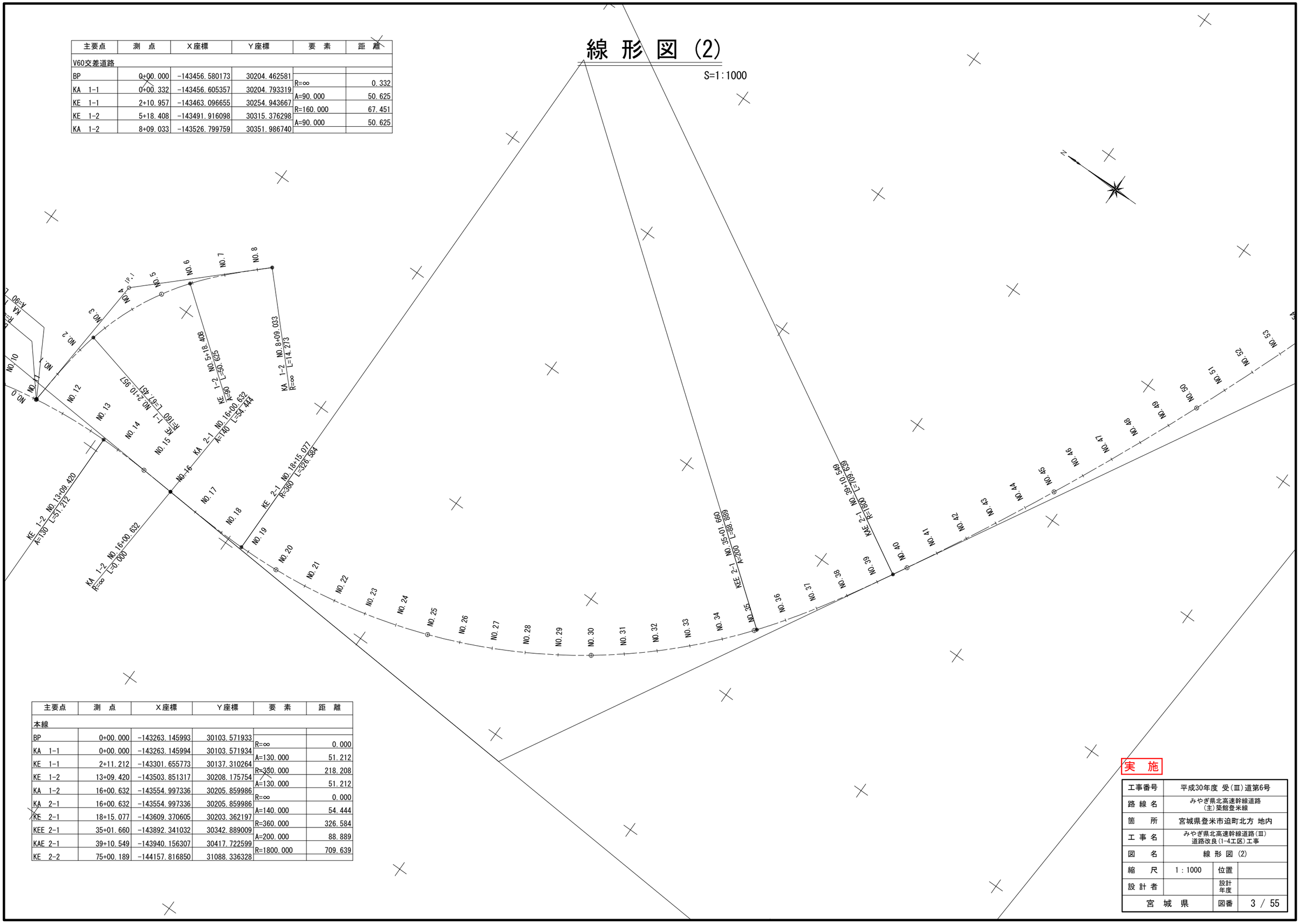
※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	平 面 図 (1)		
縮尺	1 : 1000	位置	
設計者		設計年度	
宮 城 県		図番	2 / 55

線 形 図 (2)

S=1:1000

主要点	測　点	X座標	Y座標	要　素	距　離
V60交差道路					
BP	0+00.000	-143456.580173	30204.462581		
				R=∞	0.332
KA　1-1	0+00.332	-143456.605357	30204.793319		
				A=90.000	50.625
KE　1-1	2+10.957	-143463.096655	30254.943667		
				R=160.000	67.451
KE　1-2	5+18.408	-143491.916098	30315.376298		
				A=90.000	50.625
KA　1-2	8+09.033	-143526.799759	30351.986740		



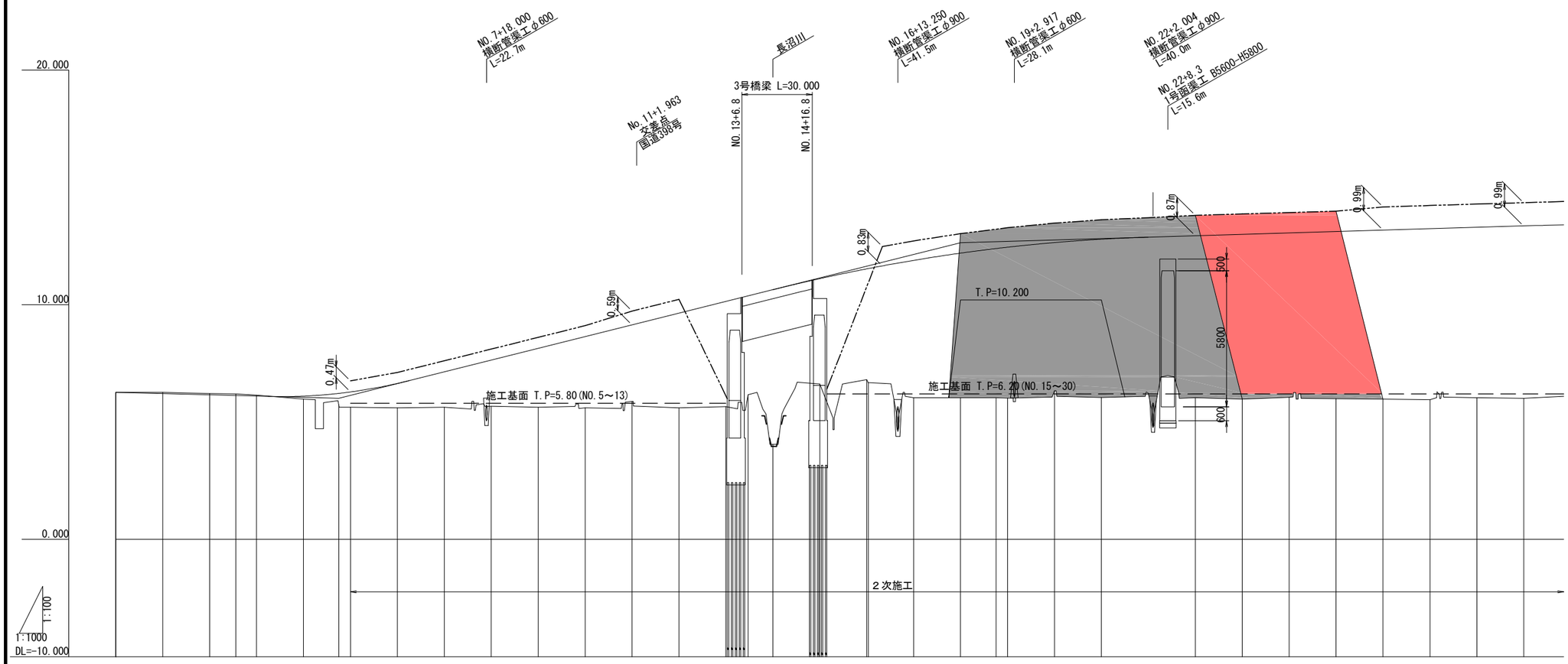
主要点	測　点	X座標	Y座標	要　素	距　離
本線					
BP	0+00.000	-143263.145993	30103.571933		
				R=∞	0.000
KA　1-1	0+00.000	-143263.145994	30103.571934		
				A=130.000	51.212
KE　1-1	2+11.212	-143301.655773	30137.310264		
				R=330.000	218.208
KE　1-2	13+09.420	-143503.851317	30208.175754		
				A=130.000	51.212
KA　1-2	16+00.632	-143554.997336	30205.859986		
				R=∞	0.000
KA　2-1	16+00.632	-143554.997336	30205.859986		
				A=140.000	54.444
KE　2-1	18+15.077	-143609.370605	30203.362197		
				R=360.000	326.584
KEE 2-1	35+01.660	-143892.341032	30342.889009		
				A=200.000	88.889
KAE 2-1	39+10.549	-143940.156307	30417.722599		
				R=1800.000	709.639
KE　2-2	75+00.189	-144157.816850	31088.336328		

実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇　所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図　名	線 形 図 (2)		
縮　尺	1 : 1000	位置	
設計者		設計年度	
宮　城　県		図番	3 / 55

地盤改良縦断図(1)

V=1: 100
H=1:1000



測点	単距離	累加距離	地盤高	計画高	切土高	盛土高	勾配
KA 1-1	0.000	0.000	6.265	6.265			6.265
NO.1	20.000	20.000	6.265	6.212	0.053		
NO.2	20.000	40.000	6.215	6.160	0.055		
KE 1-1	11.212	51.212	6.195	6.130	0.065		
NO.3	8.788	60.000	6.145	6.107	0.038		
NO.4	20.000	80.000	5.975	6.106		0.131	i=0.263% L=95.000
+15.000	15.000	95.000	5.747	6.222		0.475	
NO.5	5.000	100.000	5.635	6.284		0.649	6.015
NO.6	20.000	120.000	5.605	6.646		1.041	
NO.7	20.000	140.000	5.635	7.140		1.505	
NO.8	20.000	160.000	5.675	7.640		1.965	
NO.9	20.000	180.000	5.635	8.140		2.505	
NO.10	20.000	200.000	5.605	8.640		3.035	
NO.11	20.000	220.000	5.875	9.140		3.265	i=2.500% L=265.000
NO.12	20.000	240.000	5.605	9.640		4.035	
NO.13	20.000	260.000	5.655	10.140		4.485	
KE 1-2	9.420	269.420	6.165	10.376		4.211	
NO.14	10.580	280.000	4.045	10.640		6.595	
NO.15	20.000	300.000	6.625	11.113		4.488	
NO.16	20.000	320.000	6.805	11.538		4.725	
KA 1-2	0.632	320.632	6.665	11.542		4.857	
NO.17	19.368	340.000	6.035	11.893		5.858	
+15.000							
NO.18	20.000	360.000	6.035	12.200		6.165	12.640
KE 2-1	15.077	375.077	6.035	12.395		6.360	
NO.19	4.923	380.000	6.025	12.453		6.428	
NO.20	20.000	400.000	6.335	12.650		6.315	
NO.21	20.000	420.000	6.045	12.793		6.748	
+10.000							
NO.22	20.000	440.000	6.235	12.880		6.645	i=0.300% L=285.000
NO.23	20.000	460.000	6.035	12.940		6.905	
NO.24	20.000	480.000	5.975	13.000		7.025	
NO.25	20.000	500.000	6.055	13.060		7.005	
NO.26	20.000	520.000	5.995	13.120		7.125	
NO.27	20.000	540.000	5.975	13.180		7.205	
NO.28	20.000	560.000	5.955	13.240		7.285	
NO.29	20.000	580.000	6.035	13.300		7.265	
NO.30	20.000	600.000	6.015	13.360		7.345	

曲率：
R=∞ L=0
L=51.212 A=130
L=218.208 R=330
IP = IP-1
IA = 46-46-40
CL = 320.632
L=51.212 A=130
R=∞ L=0
A=140 L=54.444
R=360 L=326.584

片勾配 すりつけ図：
2.000 2.000 NO.14+0.000
2.000 NO.14+6.622
2.000 NO.14+10.293
5.000 NO.2+1.212
1/117 1/117 1/117 1/225
5.000 NO.13+9.420
2.000 NO.15+2.248
2.000 NO.17+2.248
5.000 NO.18+5.077
1/175 1/160 1/308 1/337 1/308 1/160 1/337 1/175

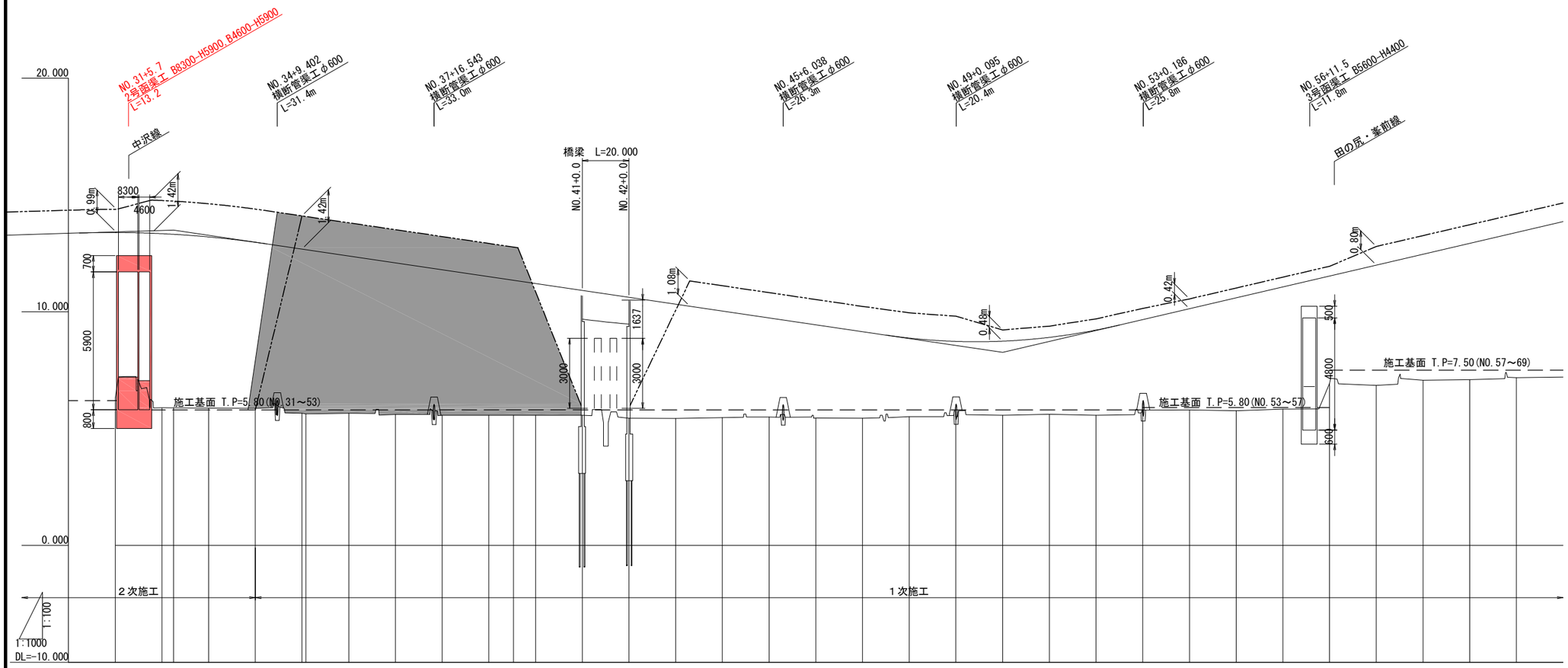
実　施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良縦断図(1)		
縮尺	V=1:100 H=1:1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	4 / 55

地盤改良縦断図(2)

V=1: 100
H=1:1000



測点	単距離	累加距離	地盤高	計画高	切土高	盛土高
NO.31	20.000	620.000	6.315	13.395		7.080
NO.32 +5.000	20.000 5.000	640.000 645.000	5.895 5.890	13.344 13.318		7.449 7.428
NO.33	15.000	660.000	5.875	13.205		7.330
NO.34	20.000	680.000	5.865	12.977		7.112
NO.35 KEE 2-1	20.000 1.660	700.000 701.660	5.655 5.635	12.685 12.661		7.030 7.026
NO.36	18.340	720.000	5.655	12.391		6.736
NO.37	20.000	740.000	5.605	12.096		6.491
NO.38	20.000	760.000	5.575	11.802		6.227
NO.39	20.000	780.000	5.575	11.508		5.933
KAE 2-1	10.549	790.549	5.575	11.352		5.777
NO.40	9.451	800.000	5.575	11.213		5.638
NO.41	20.000	820.000	5.575	10.919		5.344
NO.42	20.000	840.000	5.445	10.624		5.179
NO.43	20.000	860.000	5.435	10.330		4.895
NO.44	20.000	880.000	5.475	10.036		4.561
NO.45	20.000	900.000	5.495	9.741		4.246
NO.46	20.000	920.000	5.455	9.447		3.992
NO.47	20.000	940.000	5.445	9.152		3.707
NO.48	20.000	960.000	5.515	8.877		3.362
NO.49	20.000	980.000	5.515	8.735		3.220
NO.50	20.000	1000.000	5.575	8.744		3.169
NO.51	20.000	1020.000	5.615	8.906		3.291
NO.52	20.000	1040.000	5.575	9.220		3.645
NO.53	20.000	1060.000	5.795	9.667		3.872
NO.54	20.000	1080.000	5.805	10.133		4.328
NO.55	20.000	1100.000	5.765	10.599		4.834
NO.56	20.000	1120.000	5.835	11.065		5.230
NO.57	20.000	1140.000	6.935	11.531		4.596
NO.58	20.000	1160.000	6.855	11.997		5.142
NO.59	20.000	1180.000	7.075	12.463		5.388
NO.60	20.000	1200.000	7.095	12.929		5.834
NO.61	20.000	1220.000	7.185	13.395		6.210

勾配: 13.495 / i=1.472% L=355.000 / 8.269

曲率: A=200 L=88.889 / IP = IP 2 IA = 90-34-11 CL = 1379.556 / R=1800 L=709.639

縦断勾配: 1/912 / 1/474 / NO.35+1.660 / 5.000

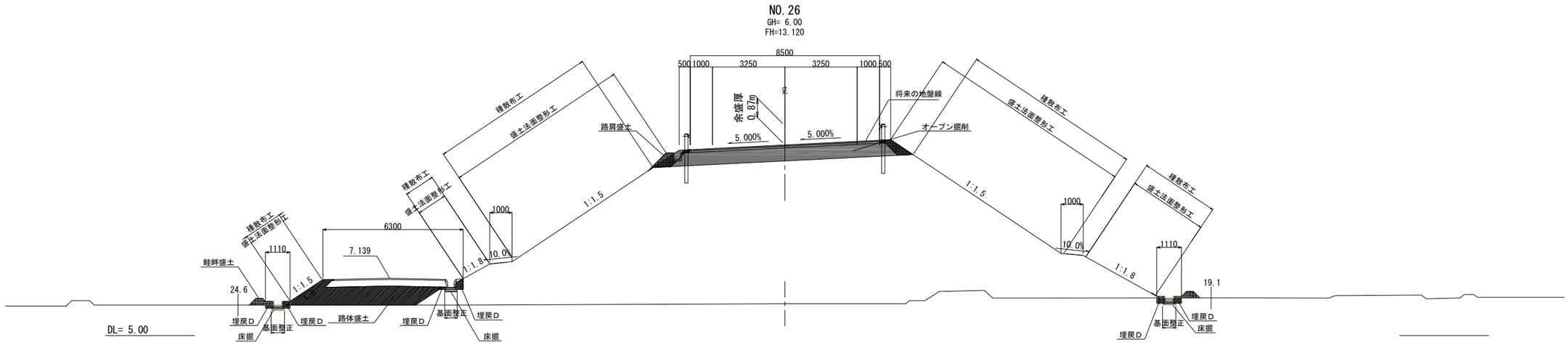
実　施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

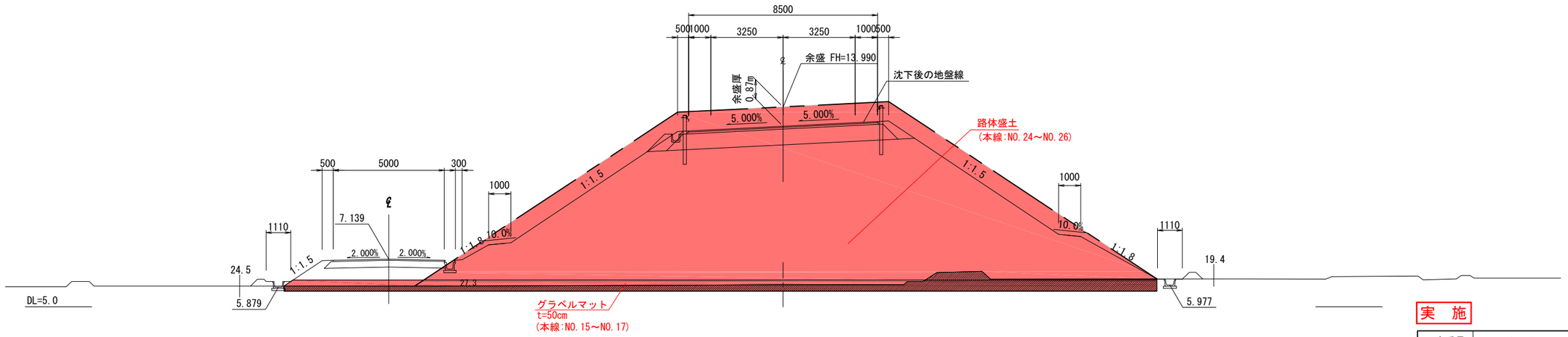
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良縦断図(2)		
縮尺	V=1:100 H=1:1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	5 / 55

土工区分図　S=1:100

道路改良時（沈下後）



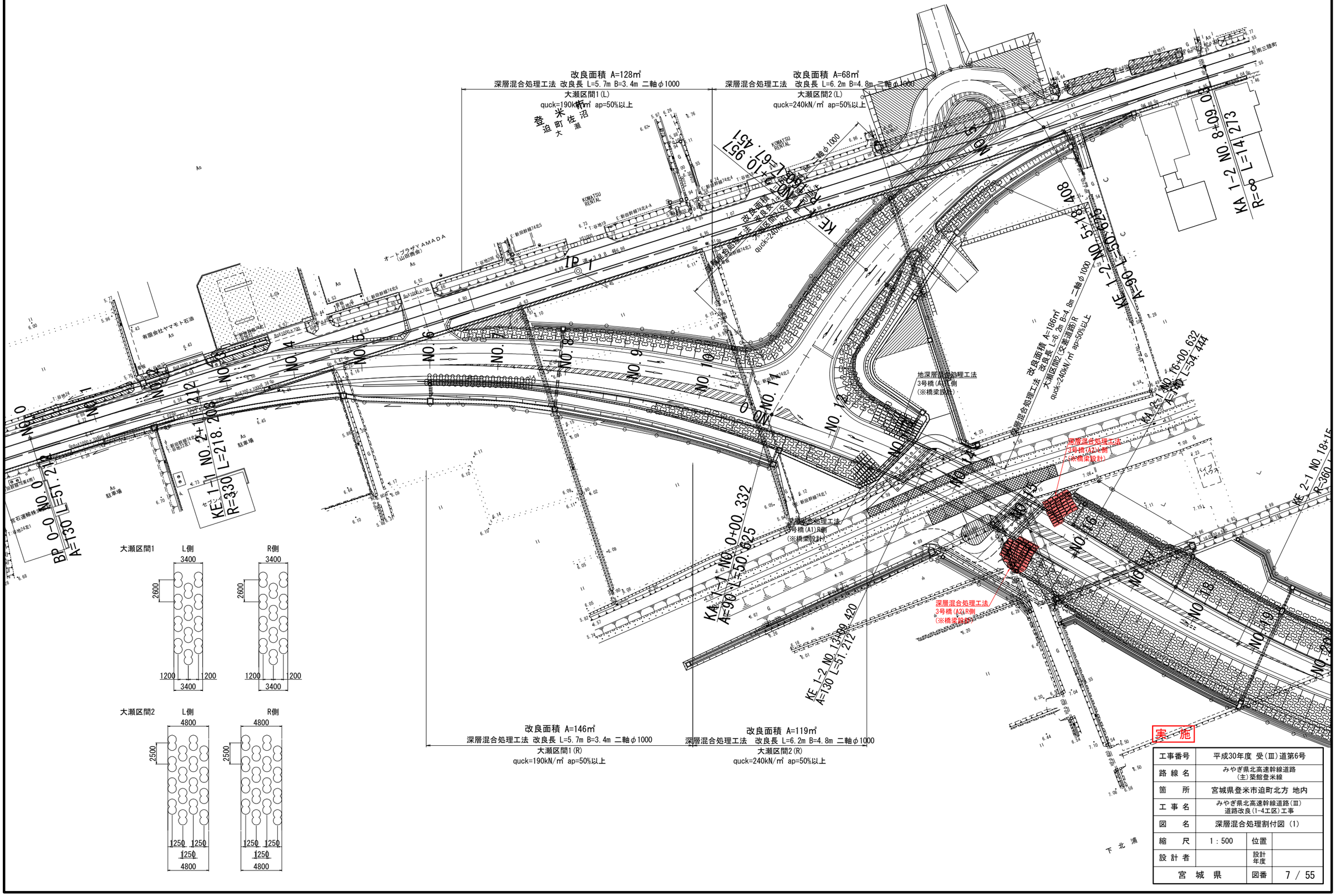
地盤改良施工時



実　施

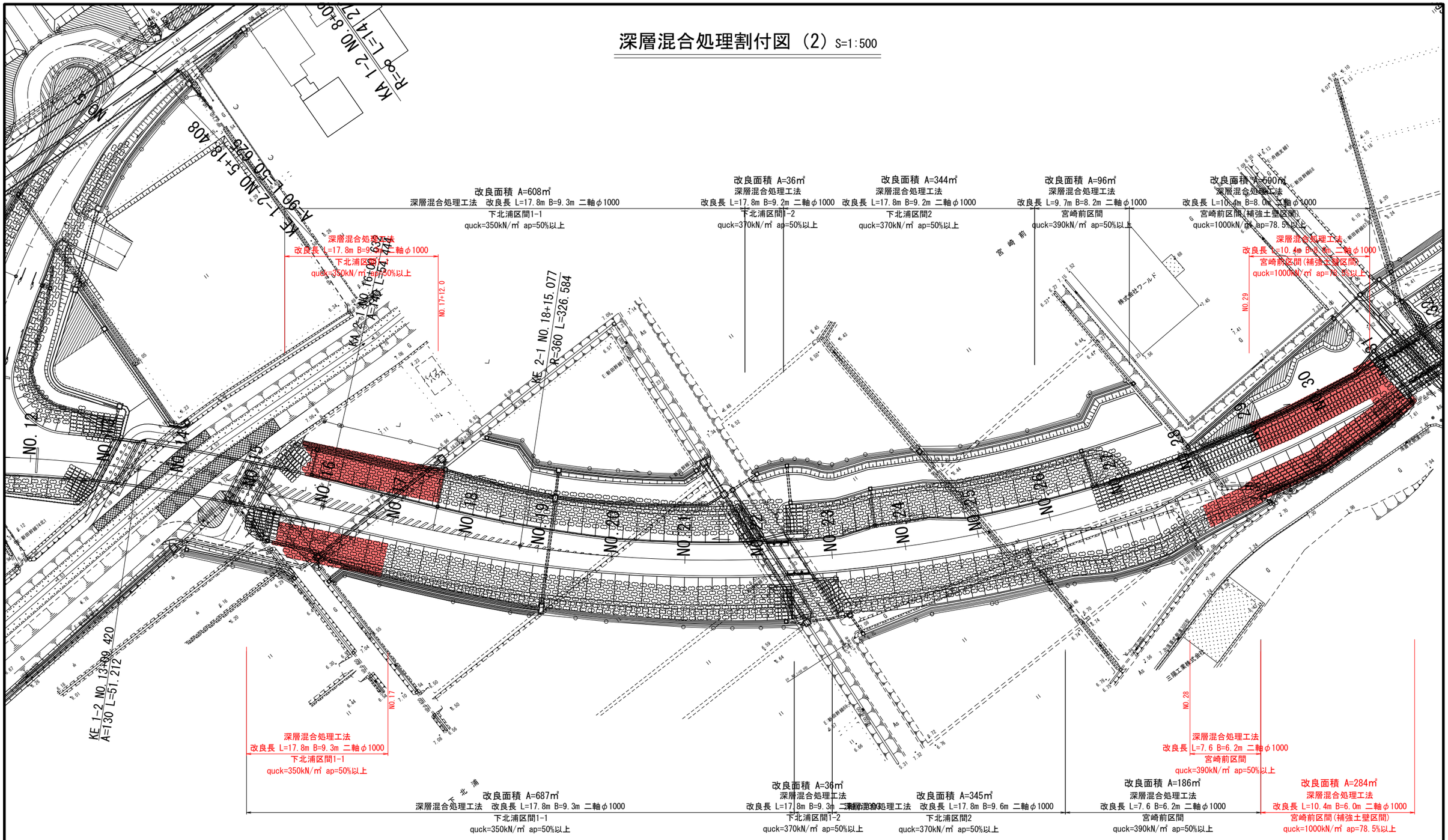
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	土工区分図		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	6 / 55

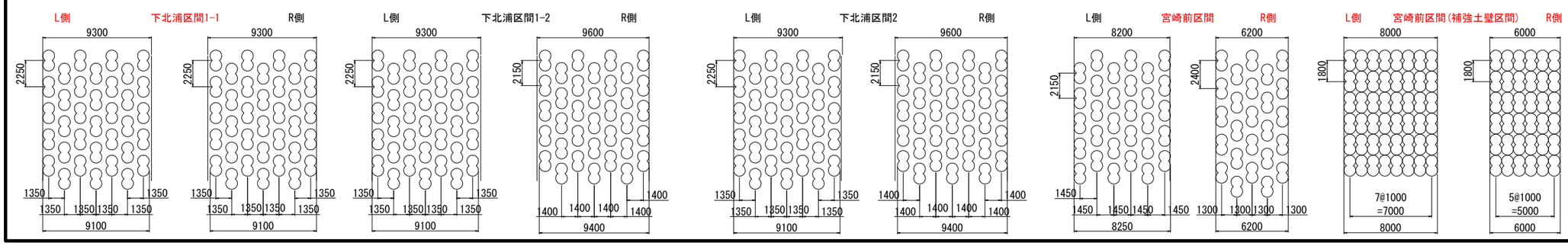
深層混合処理割付図（1）S=1:500



工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	深層混合処理割付図 (1)		
縮尺	1：500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	7 / 55

深層混合処理割付図（2）S=1:500

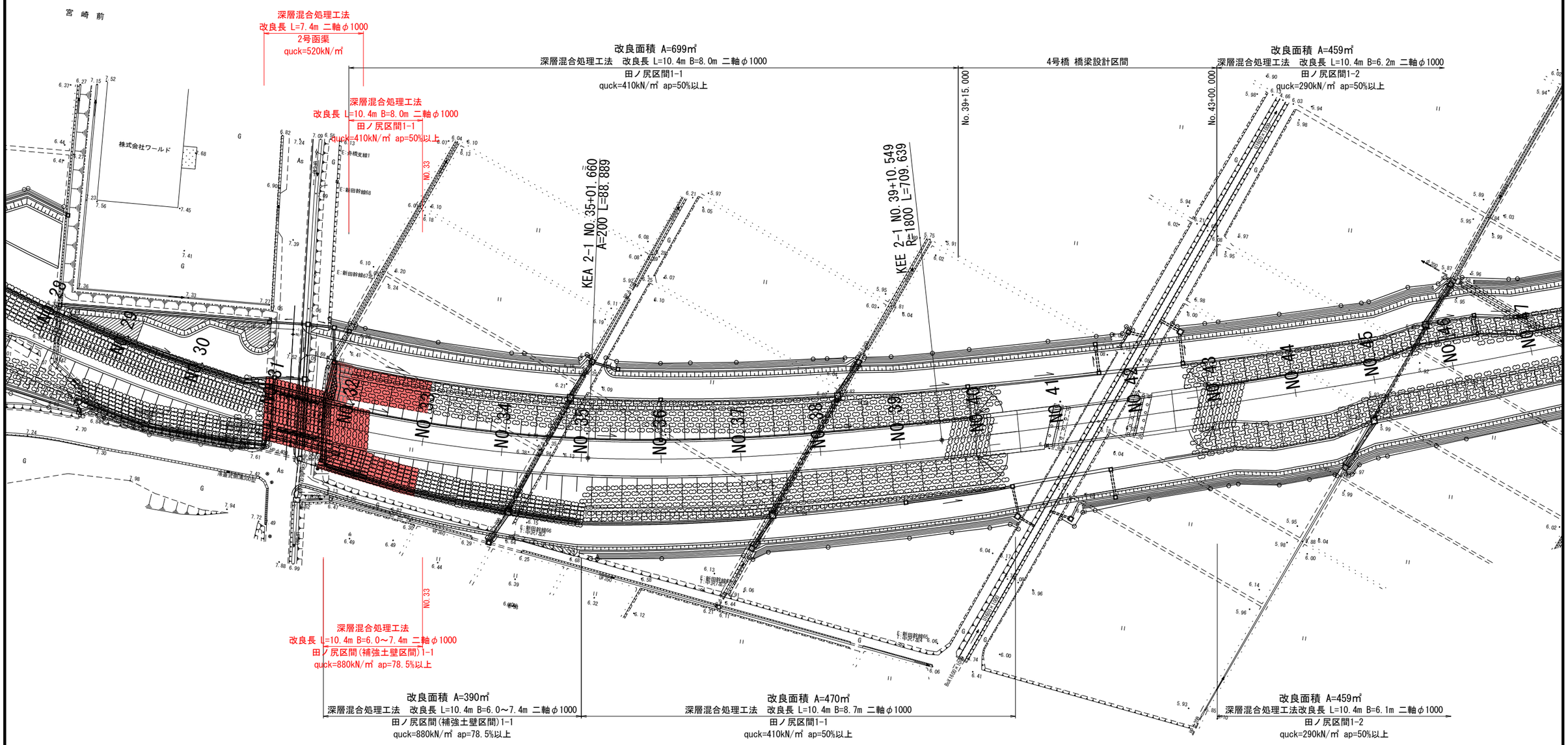




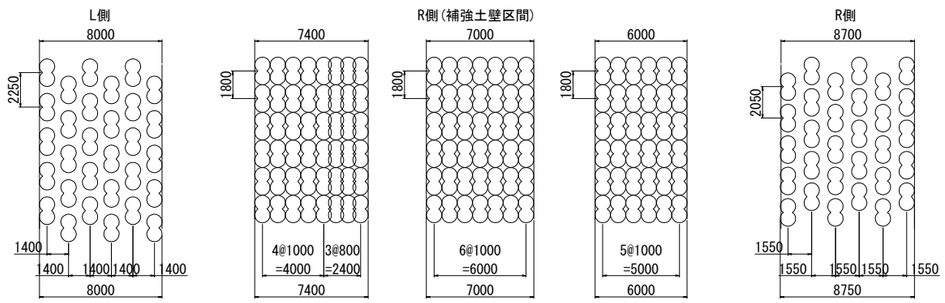
実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	深層混合処理割付図 (2)		
縮尺	1：500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	8 / 55

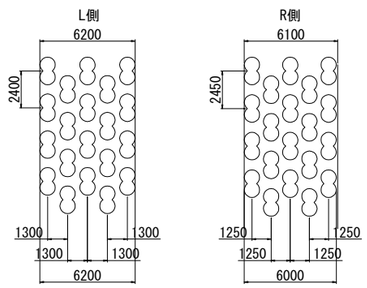
深層混合処理割付図（3）S=1:500



田ノ尻区1-1間



田ノ尻区1-2間

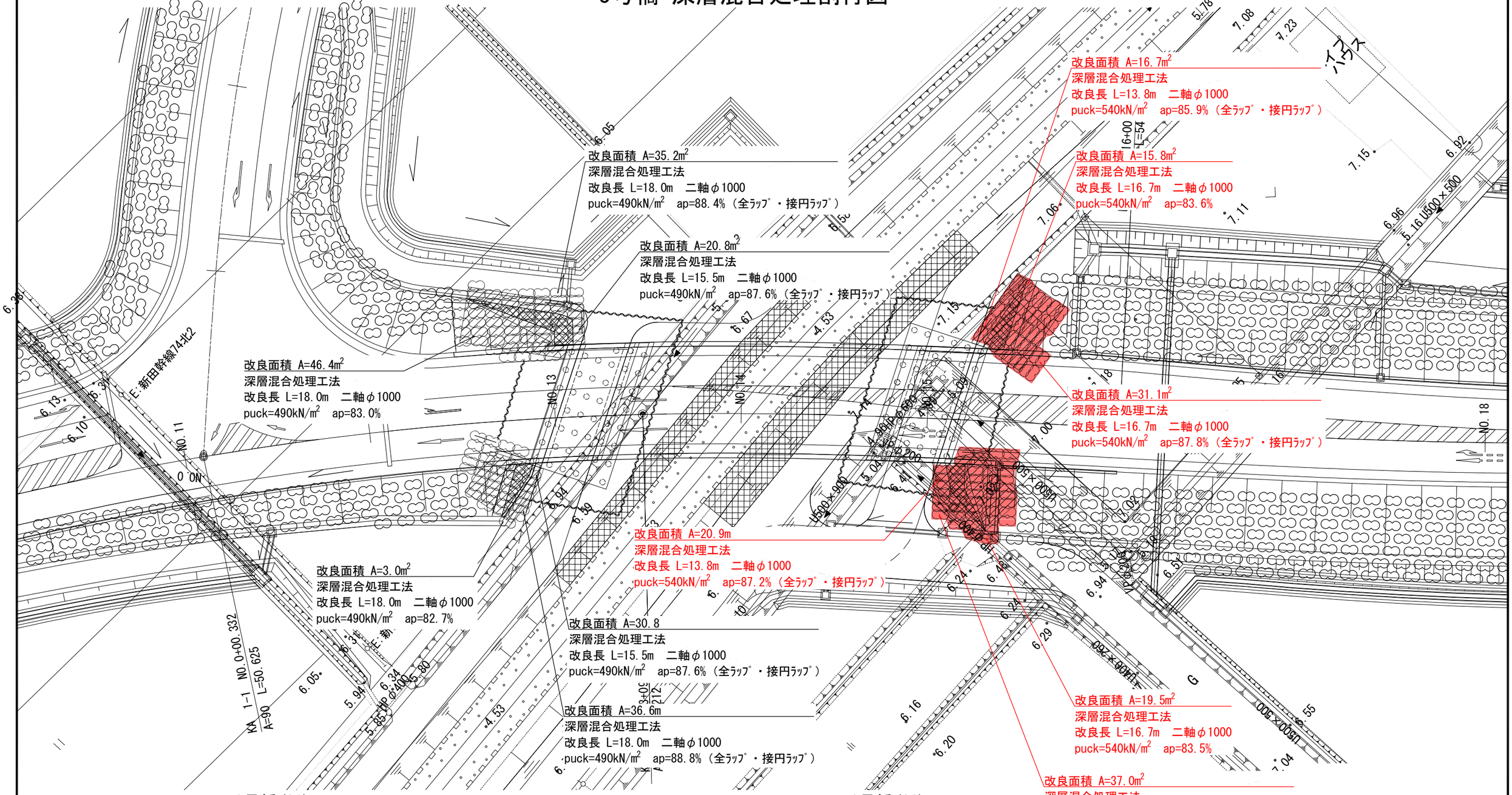


※No.39+15.00～No.43の改良工は橋梁設計で実施。

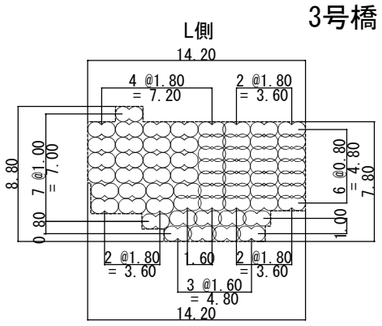
実　施

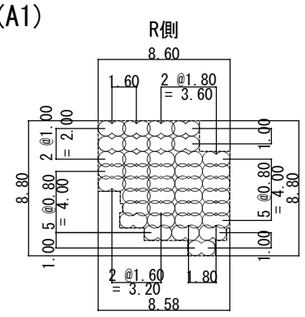
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	深層混合処理割付図 (3)		
縮尺	1：500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	9 / 55

3号橋 深層混合処理割付図



3号橋(A1)

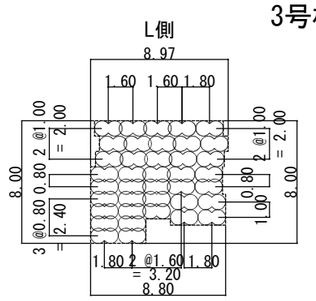


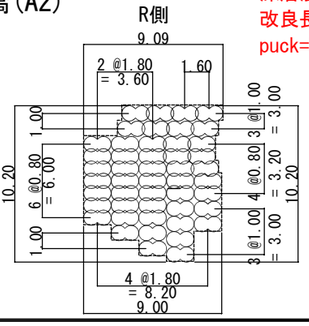


《凡例》3号橋(A1)

- L=18.0m
- L=18.0m（仮設土留め兼用／土留壁側）
- L=15.5m（仮設土留め兼用／掘削側）

3号橋(A2)





《凡例》3号橋(A2)

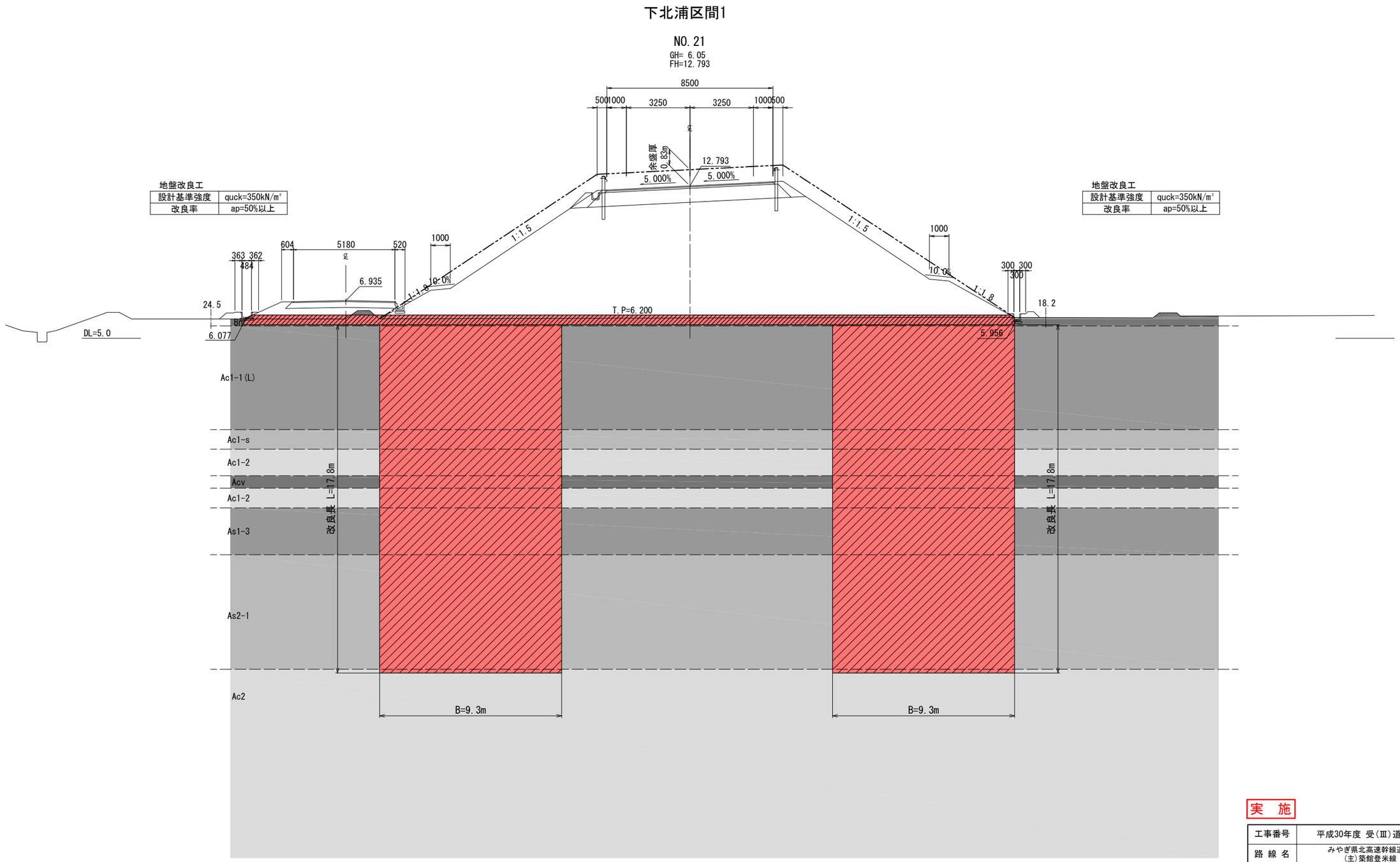
- L=16.7m
- L=16.7m（仮設土留め兼用／土留壁側）
- L=13.8m（仮設土留め兼用／掘削側）

実　施

[3号橋]

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(I-4工区)工事		
図名	3号橋 深層混合処理割付図		
縮尺	S=1:200	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	10 / 55

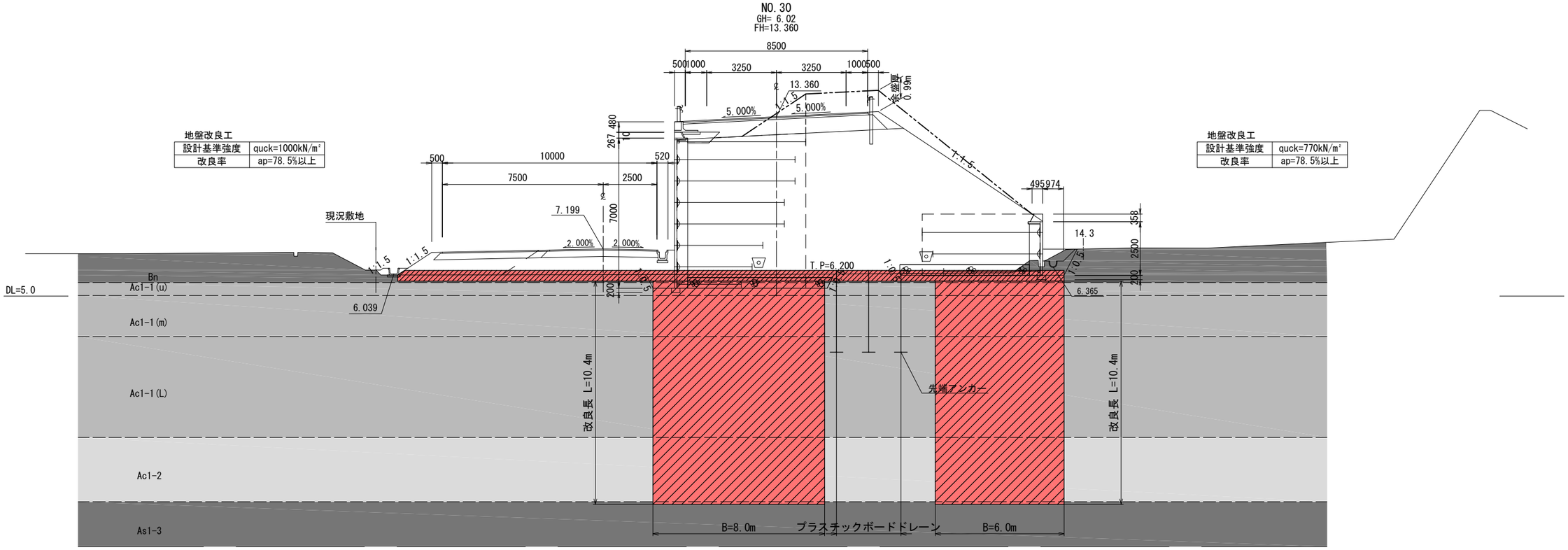
地盤改良標準断面図（2）
下北浦区間1（深層混合）

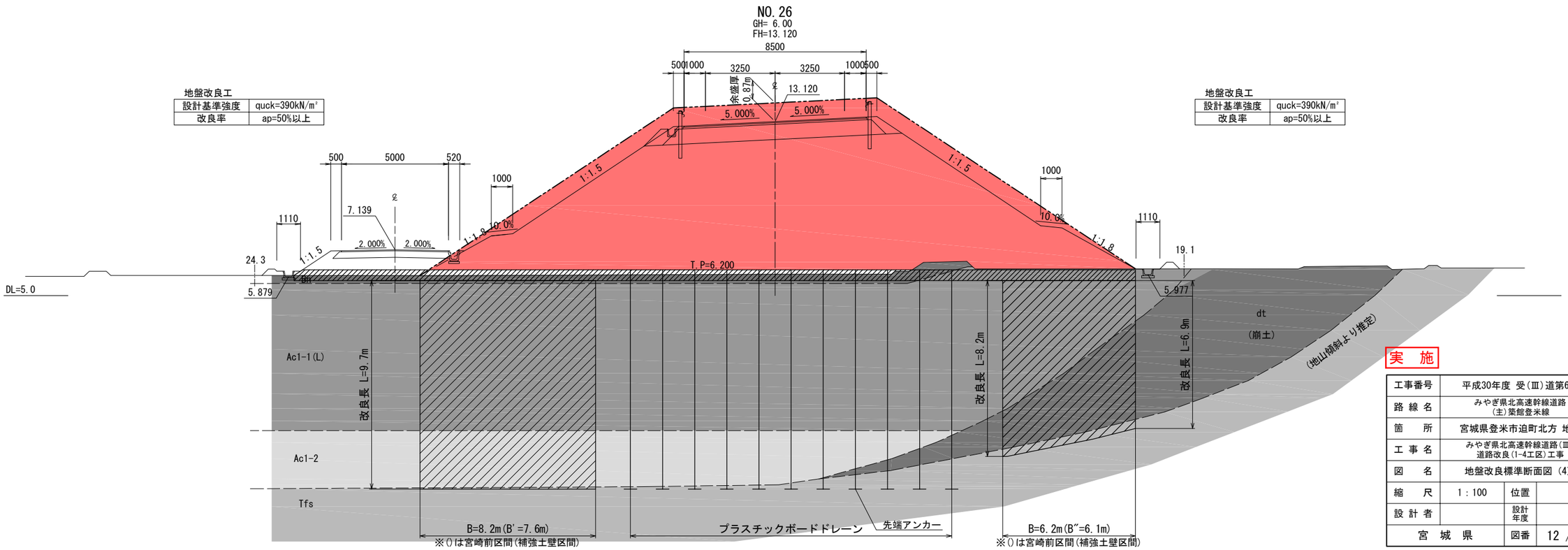


実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇　　所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図　　名	地盤改良標準断面図（2）		
縮　　尺	1：100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮　城　県		図番	11 / 55

地盤改良標準断面図（4）
宮崎前区間及び補強土壁区間（深層混合）



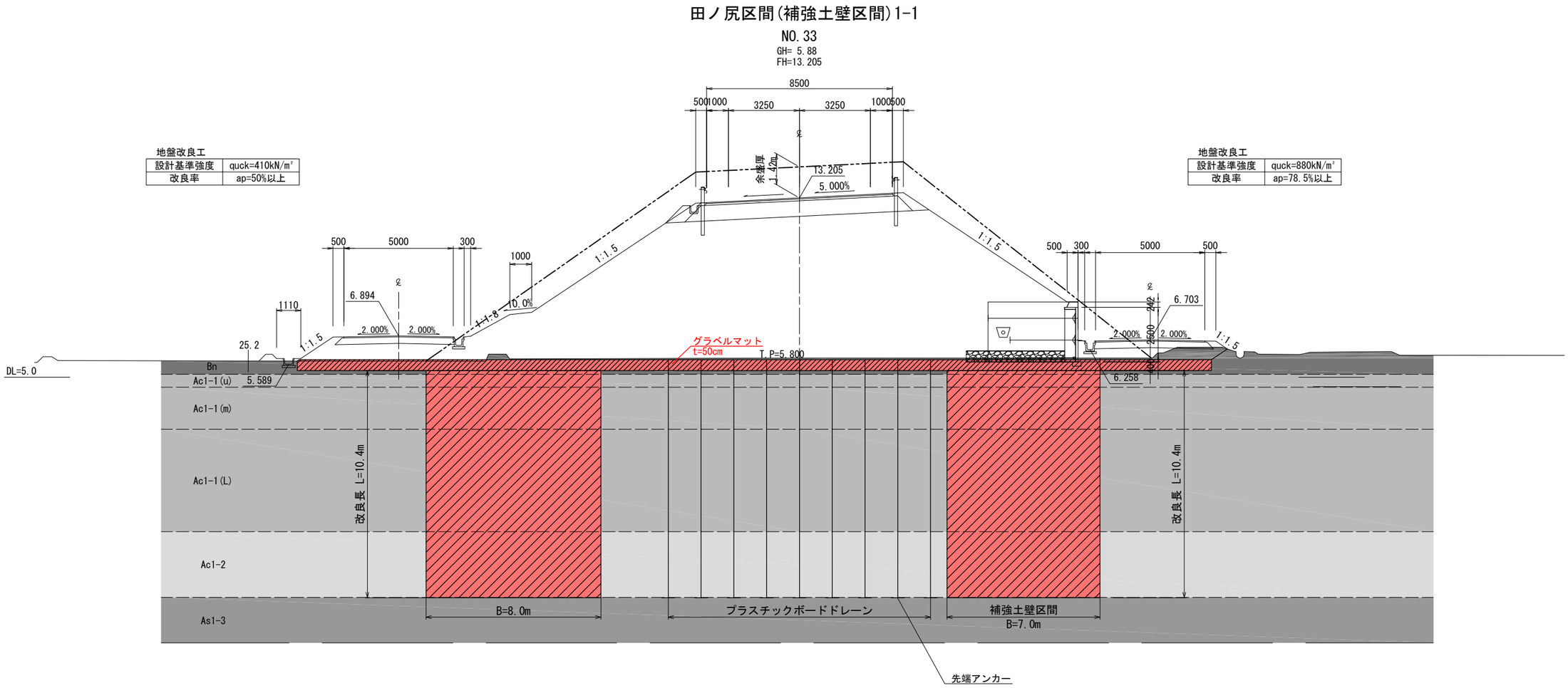


実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良標準断面図 (4)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	12 / 55

地盤改良標準断面図 (5)

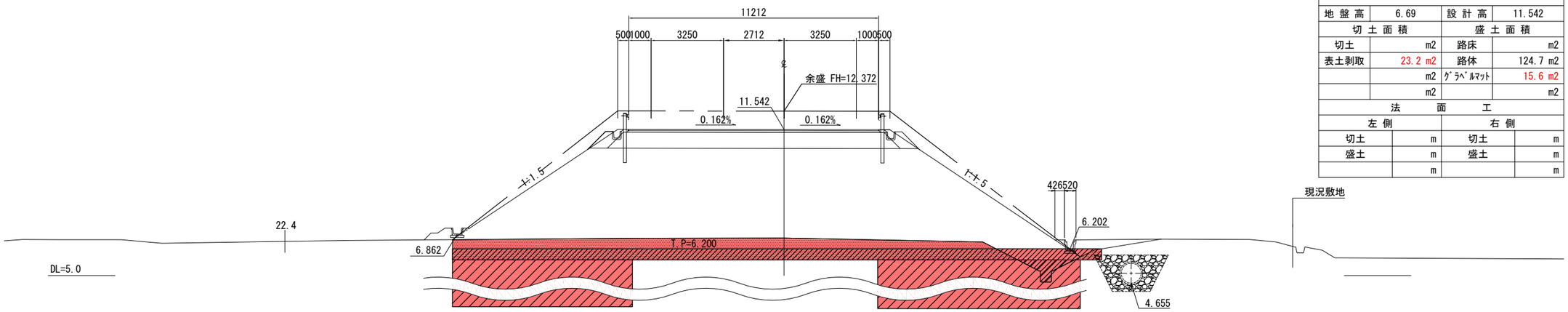
田ノ尻区間(補強土壁区間)1-1 (深層混合)



実 施

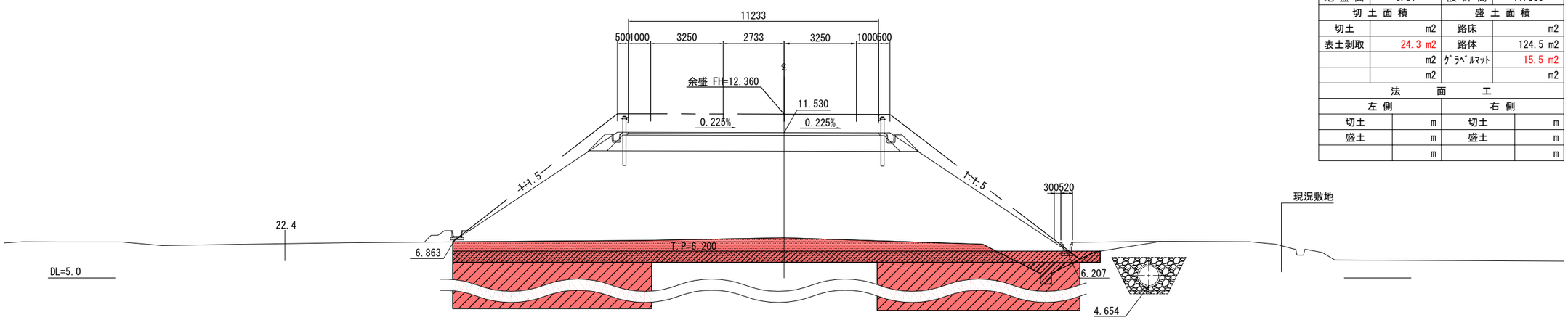
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良標準断面図 (5)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	13 / 55

NO.16+00.632
GH= 6.69
FH=11.542



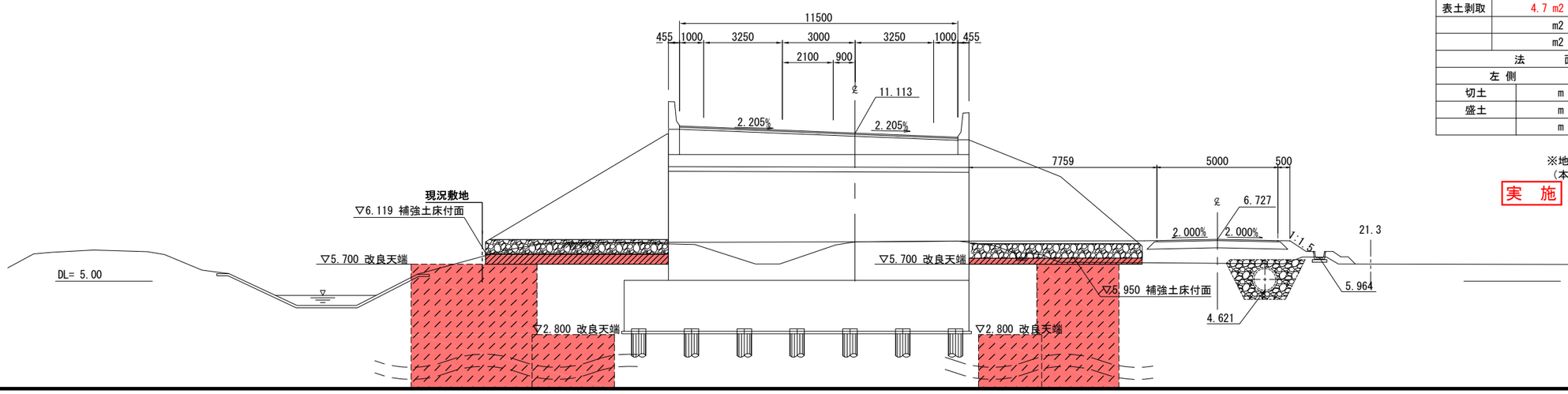
NO.16+00.633			
地盤高	6.69	設計高	11.542
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	23.2 m2	路体	124.7 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	15.6 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.16
GH= 6.81
FH=11.530



NO.16			
地盤高	6.81	設計高	11.530
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	24.3 m2	路体	124.5 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	15.5 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.15
GH= 6.63
FH=11.113



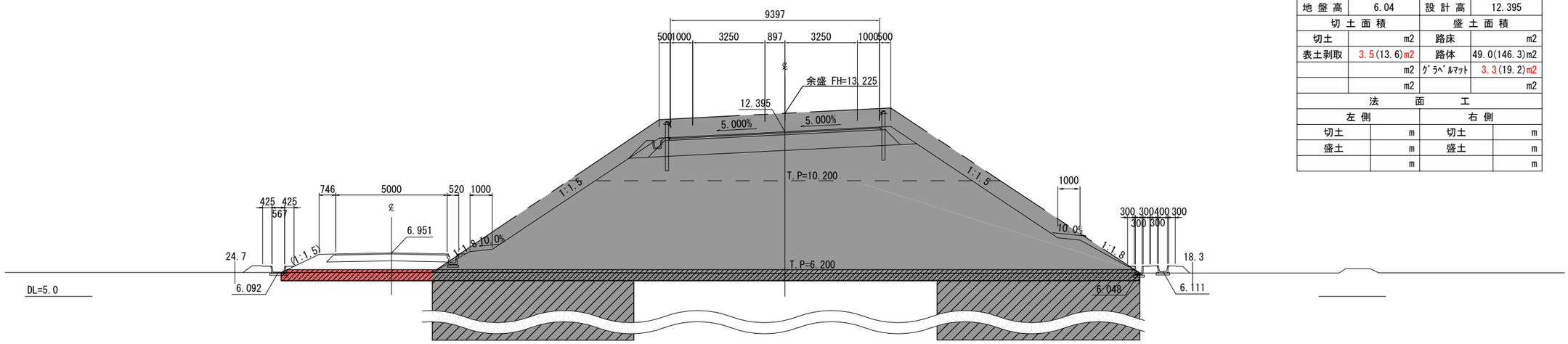
NO.15			
地盤高	6.63	設計高	11.113
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	4.7 m2	路体	0.0 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	5.5 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

実　施

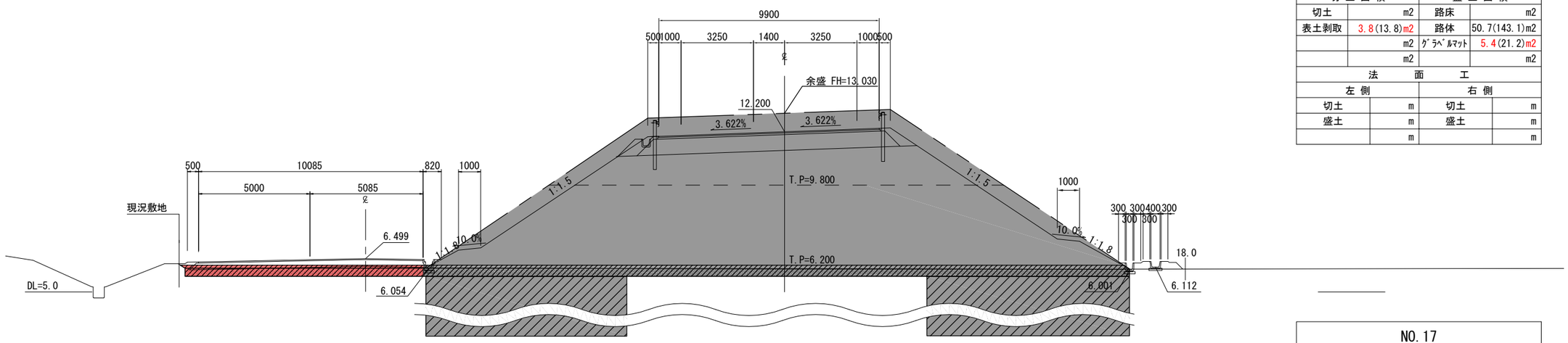
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良横断図(5)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	14 / 55

NO.18+15.077
GH= 6.04
FH=12.395



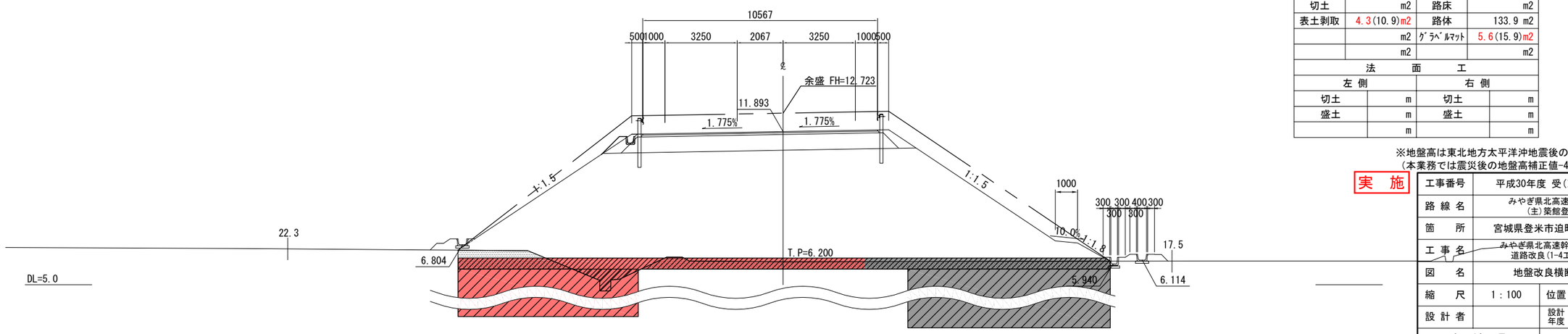
NO.18+15.078			
地盤高	6.04	設計高	12.395
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	3.5(13.6)m2	路体	49.0(146.3)m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	3.3(19.2)m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.18
GH= 6.04
FH=12.200



NO.18			
地盤高	6.04	設計高	12.200
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	3.8(13.8)m2	路体	50.7(143.1)m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	5.4(21.2)m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.17
GH= 6.04
FH=11.893



NO.17			
地盤高	6.04	設計高	11.893
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	4.3(10.9)m2	路体	133.9 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	5.6(15.9)m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

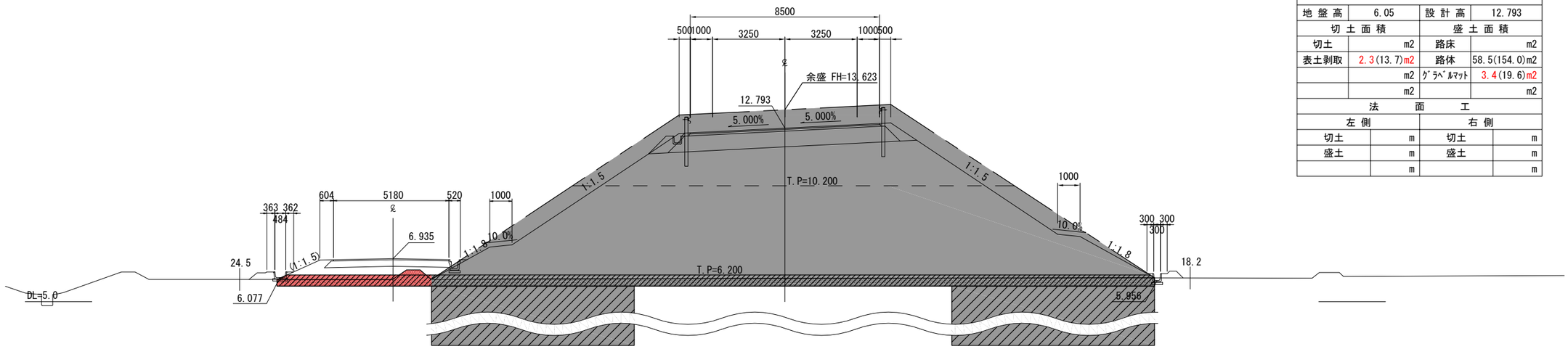
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良横断図(6)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	15 / 55

NO.21

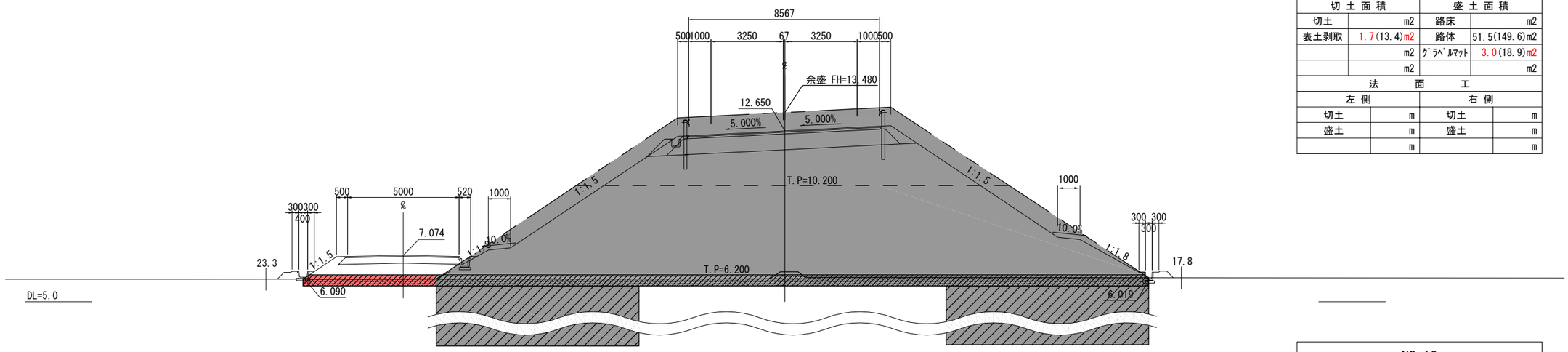
GH= 6.05
FH=12.793



NO.21			
地盤高	6.05	設計高	12.793
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	2.3(13.7)m2	路体	58.5(154.0)m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	3.4(19.6)m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.20

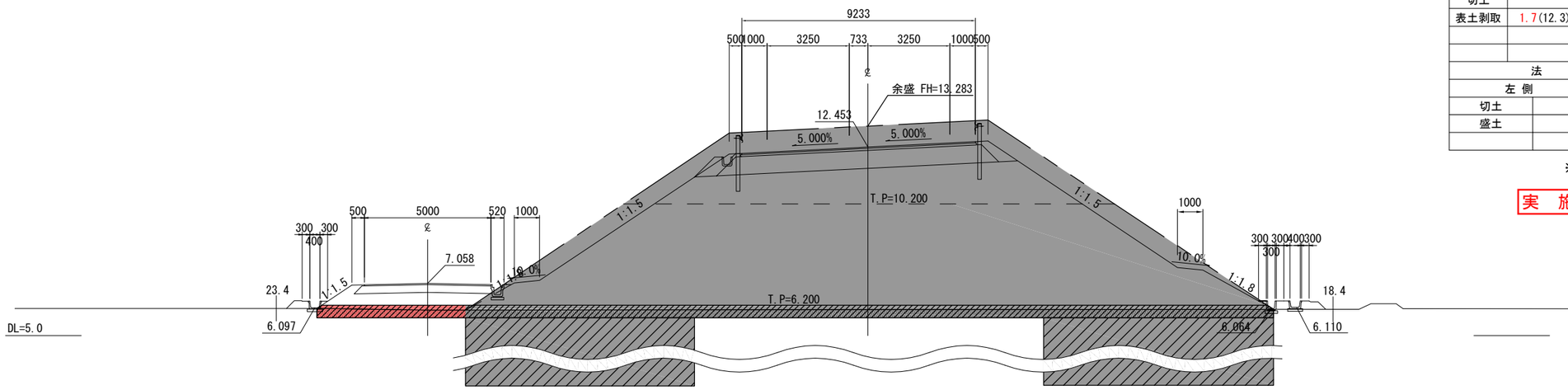
GH= 6.34
FH=12.650



NO.20			
地盤高	6.34	設計高	12.650
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	1.7(13.4)m2	路体	51.5(149.6)m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	3.0(18.9)m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.19

GH= 6.03
FH=12.453



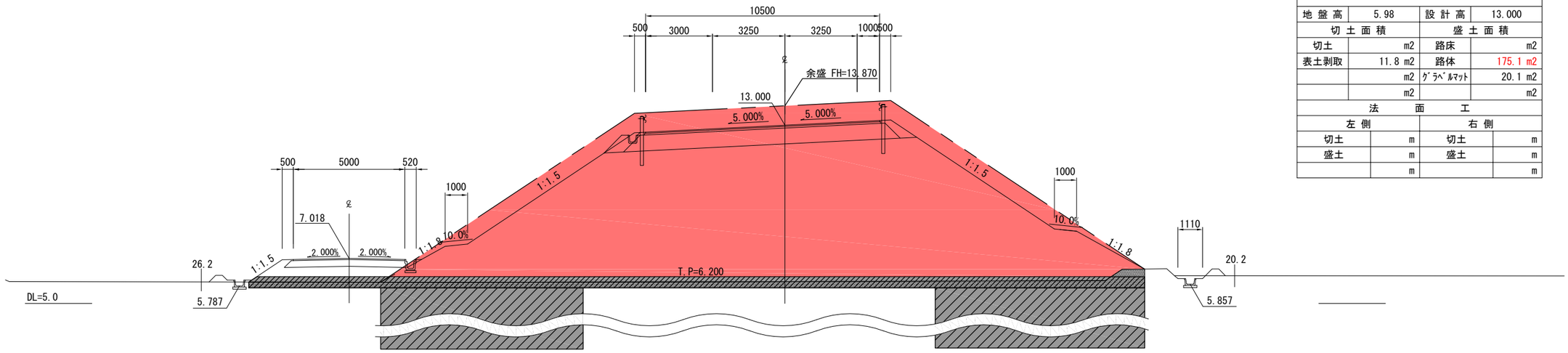
NO.19			
地盤高	6.03	設計高	12.453
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	1.7(12.3)m2	路体	49.5(147.3)m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	2.9(18.9)m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

実　施

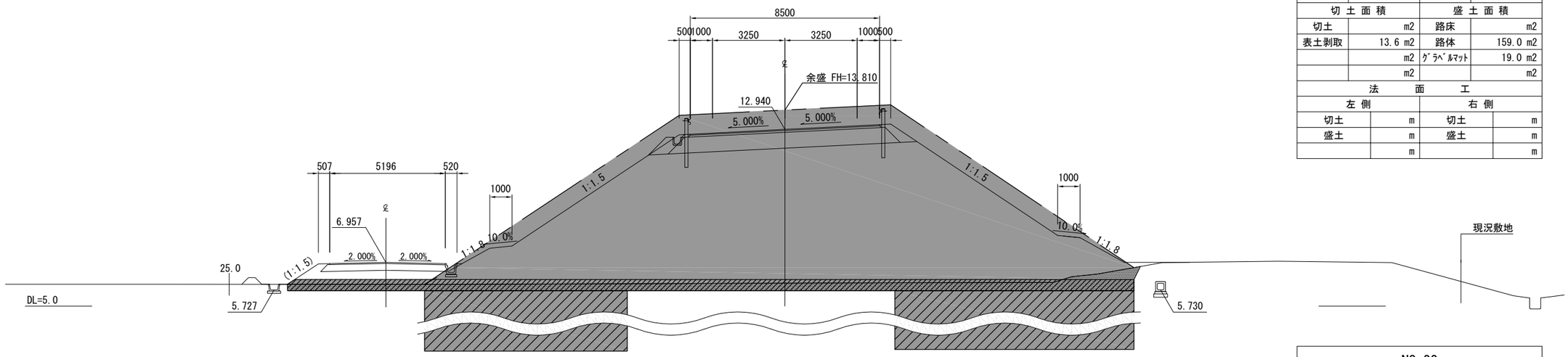
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良横断図(7)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	16 / 55

NO.24
GH= 5.98
FH=13.000



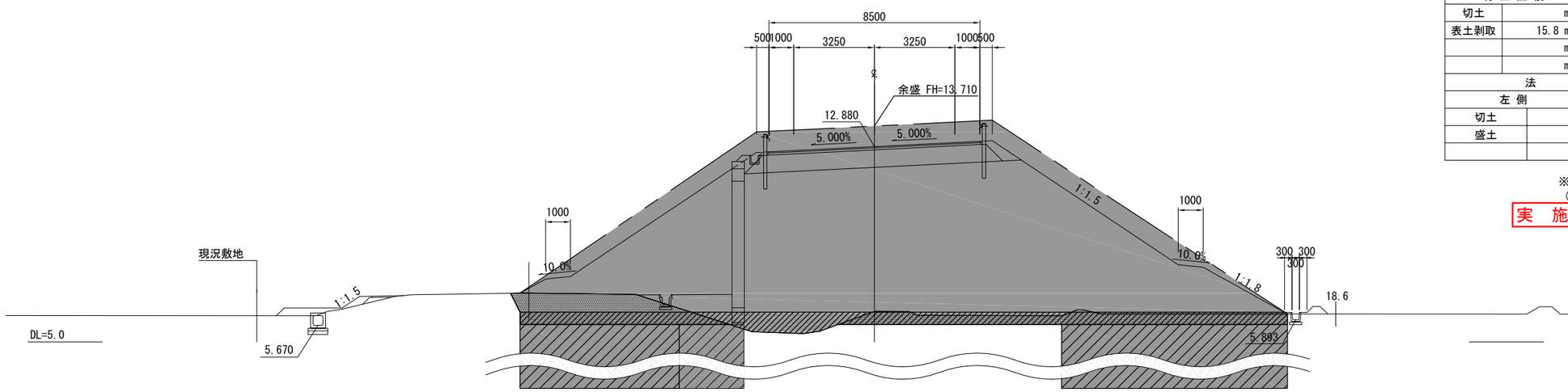
NO.24			
地盤高	5.98	設計高	13.000
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	11.8 m2	路体	175.1 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	20.1 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.23
GH= 6.04
FH=12.940



NO.23			
地盤高	6.04	設計高	12.940
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	13.6 m2	路体	159.0 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	19.0 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.22
GH= 6.24
FH=12.880



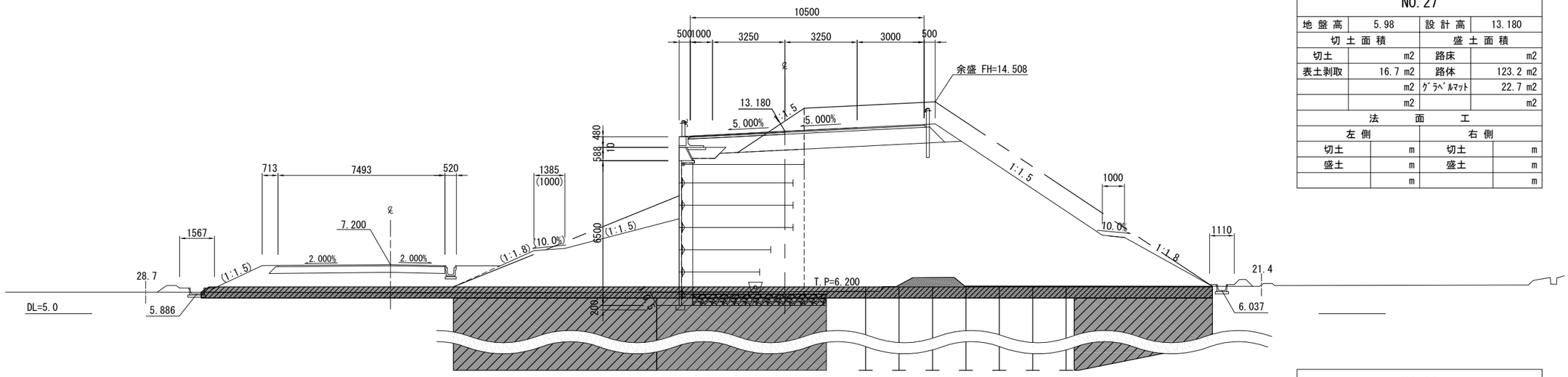
NO.22			
地盤高	6.24	設計高	12.880
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	15.8 m2	路体	155.5 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	16.6 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

実　施

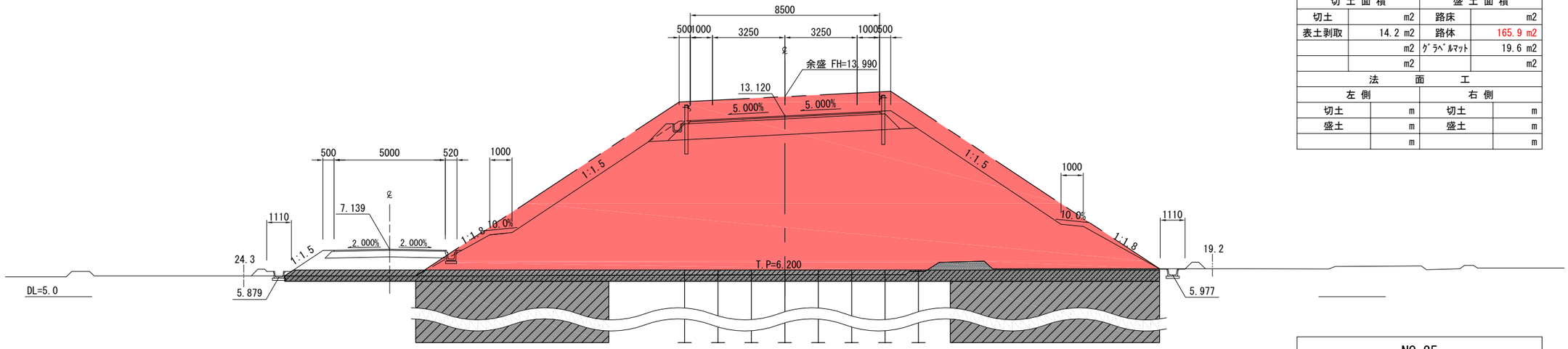
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良横断図(8)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	17 / 55

NO.27
GH= 5.98
FH=13.180



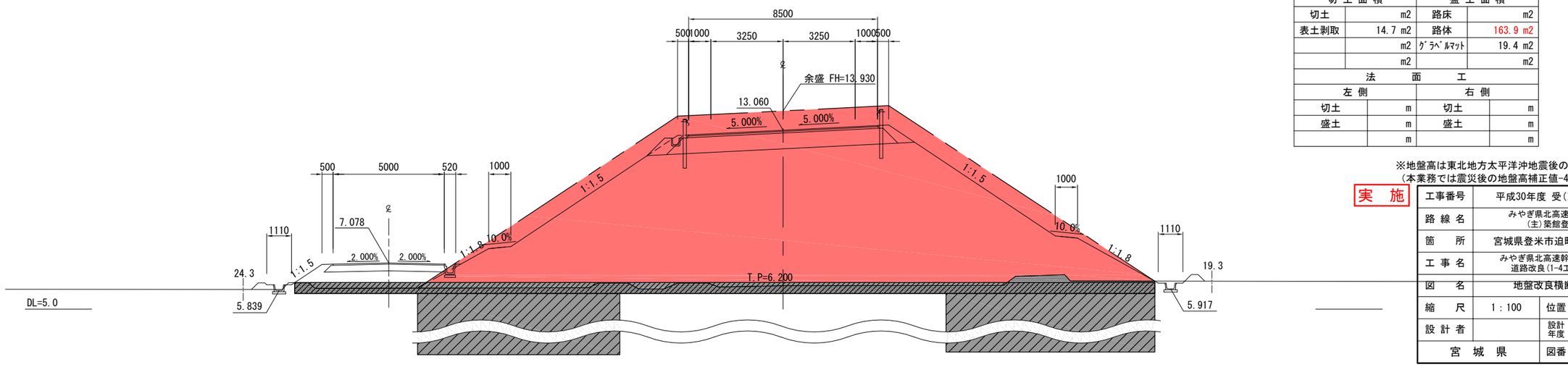
NO.27			
地盤高	5.98	設計高	13.180
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	16.7 m2	路体	123.2 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	22.7 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.26
GH= 6.00
FH=13.120



NO.26			
地盤高	6.00	設計高	13.120
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	14.2 m2	路体	165.9 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	19.6 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.25
GH= 6.06
FH=13.060

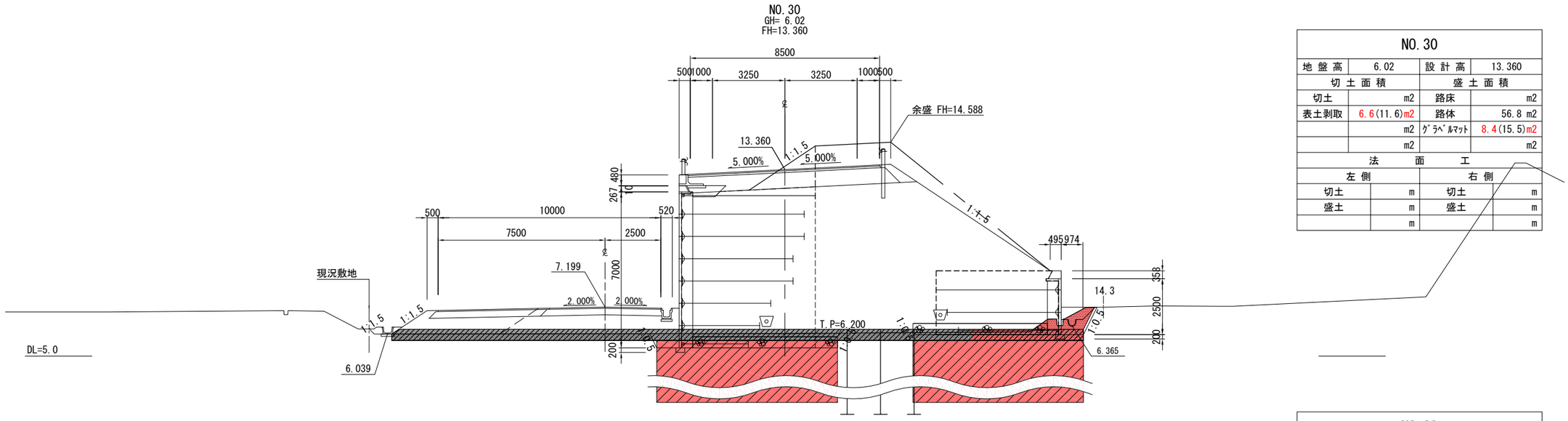


NO.25			
地盤高	6.06	設計高	13.060
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	14.7 m2	路体	163.9 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	19.4 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

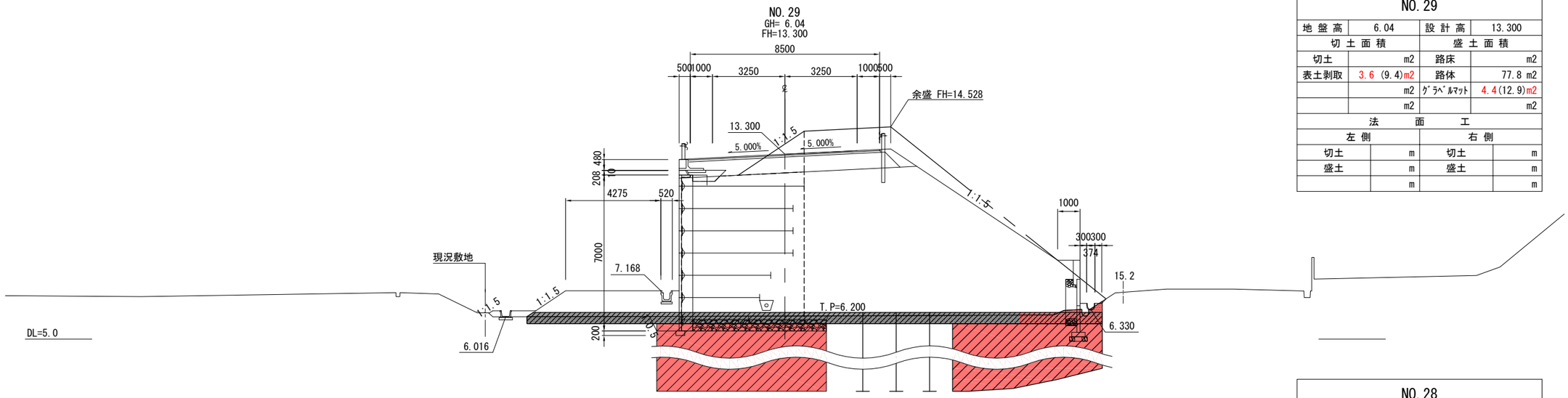
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

実　施

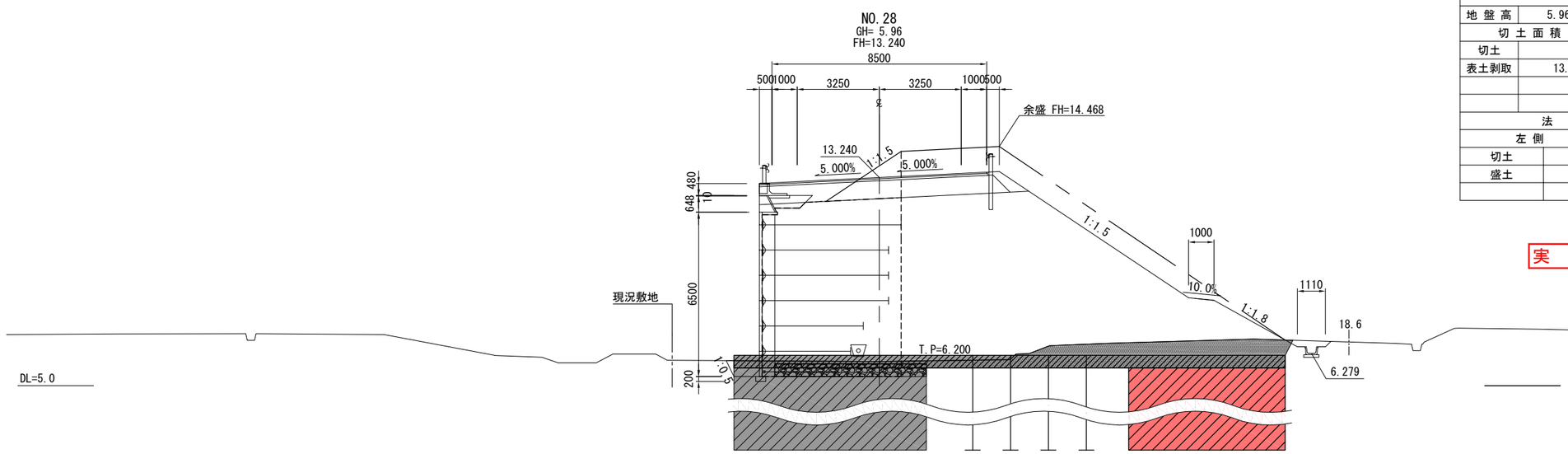
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良横断図(9)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	18 / 55



NO.30			
地盤高	6.02	設計高	13.360
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	6.6(11.6)m2	路体	56.8 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	8.4(15.5)m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m



NO.29			
地盤高	6.04	設計高	13.300
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	3.6 (9.4)m2	路体	77.8 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	4.4(12.9)m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

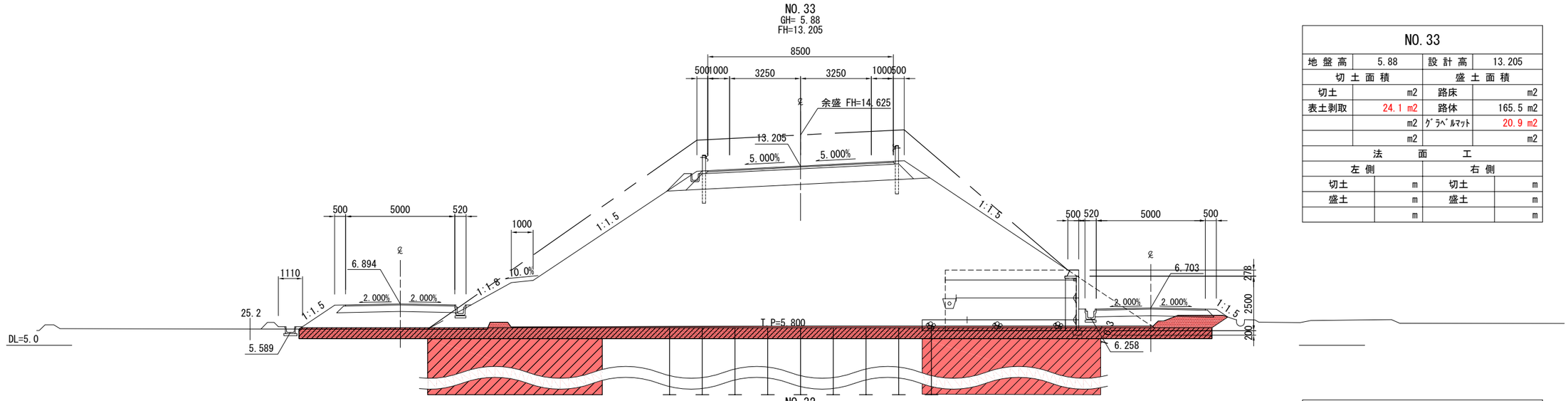


NO.28			
地盤高	5.96	設計高	13.240
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	13.8 m2	路体	84.8 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	10.9 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

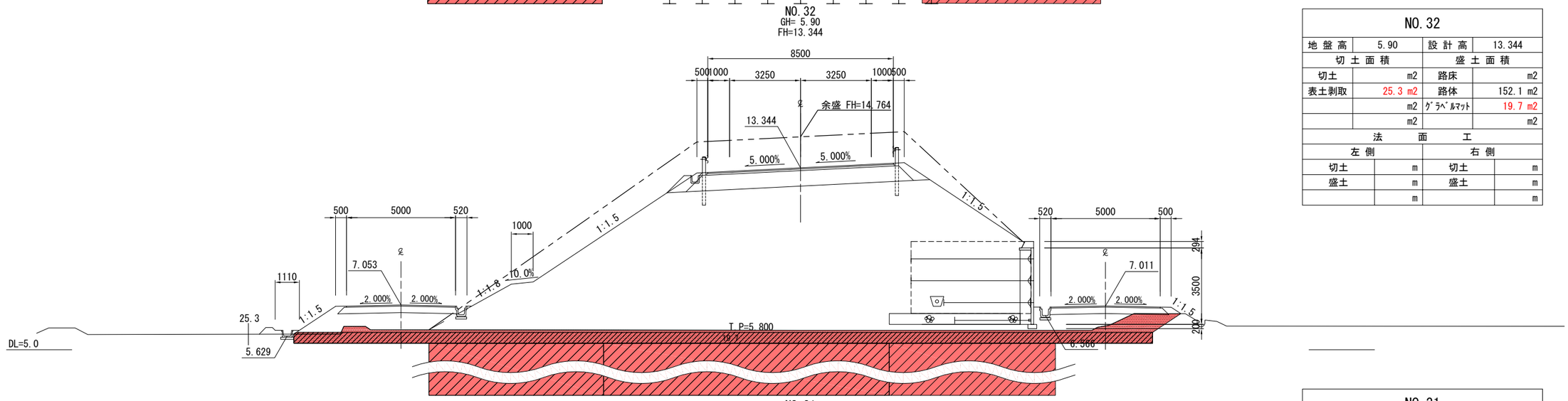
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実　施

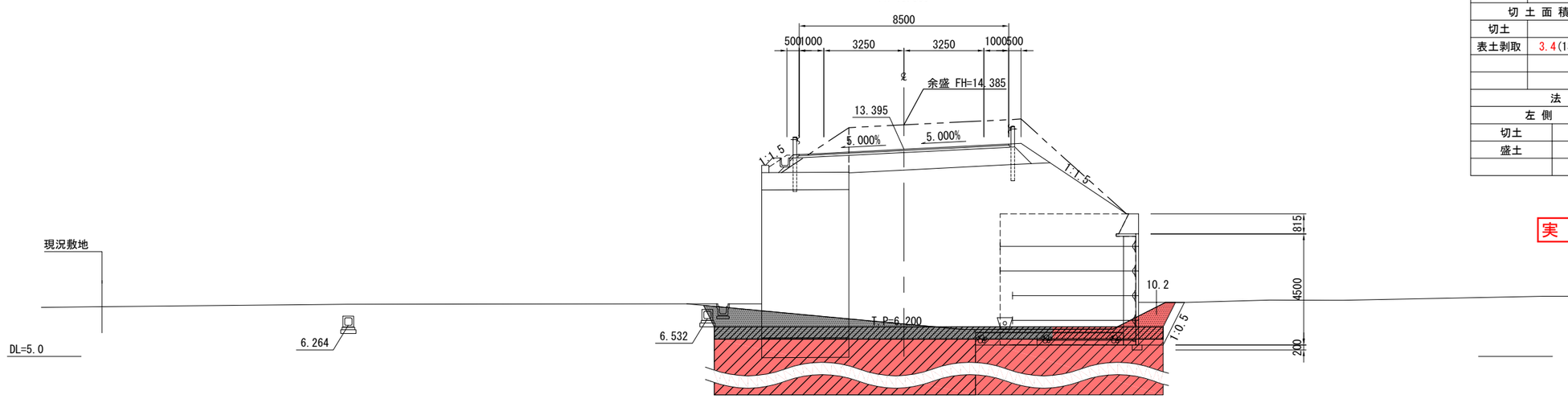
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良横断図(10)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	19 / 55



NO.33			
地盤高	5.88	設計高	13.205
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	24.1 m2	路体	165.5 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	20.9 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m



NO.32			
地盤高	5.90	設計高	13.344
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	25.3 m2	路体	152.1 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	19.7 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m



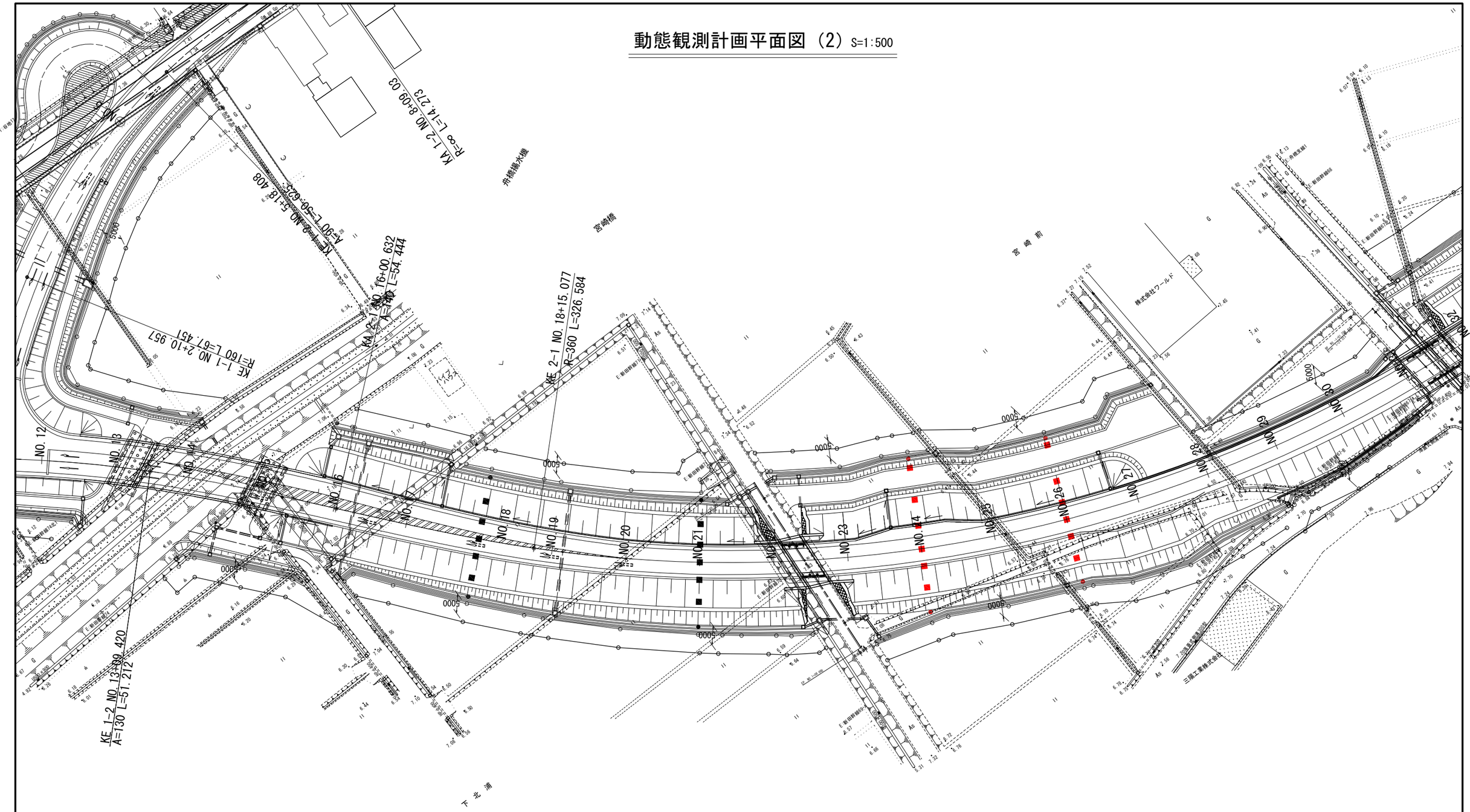
NO.31			
地盤高	6.32	設計高	13.395
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	3.4(13.5)m2	路体	64.4 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	2.3 (9.1)m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	地盤改良横断図(11)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	20 / 55

動態観測計画平面図（2）S=1:500



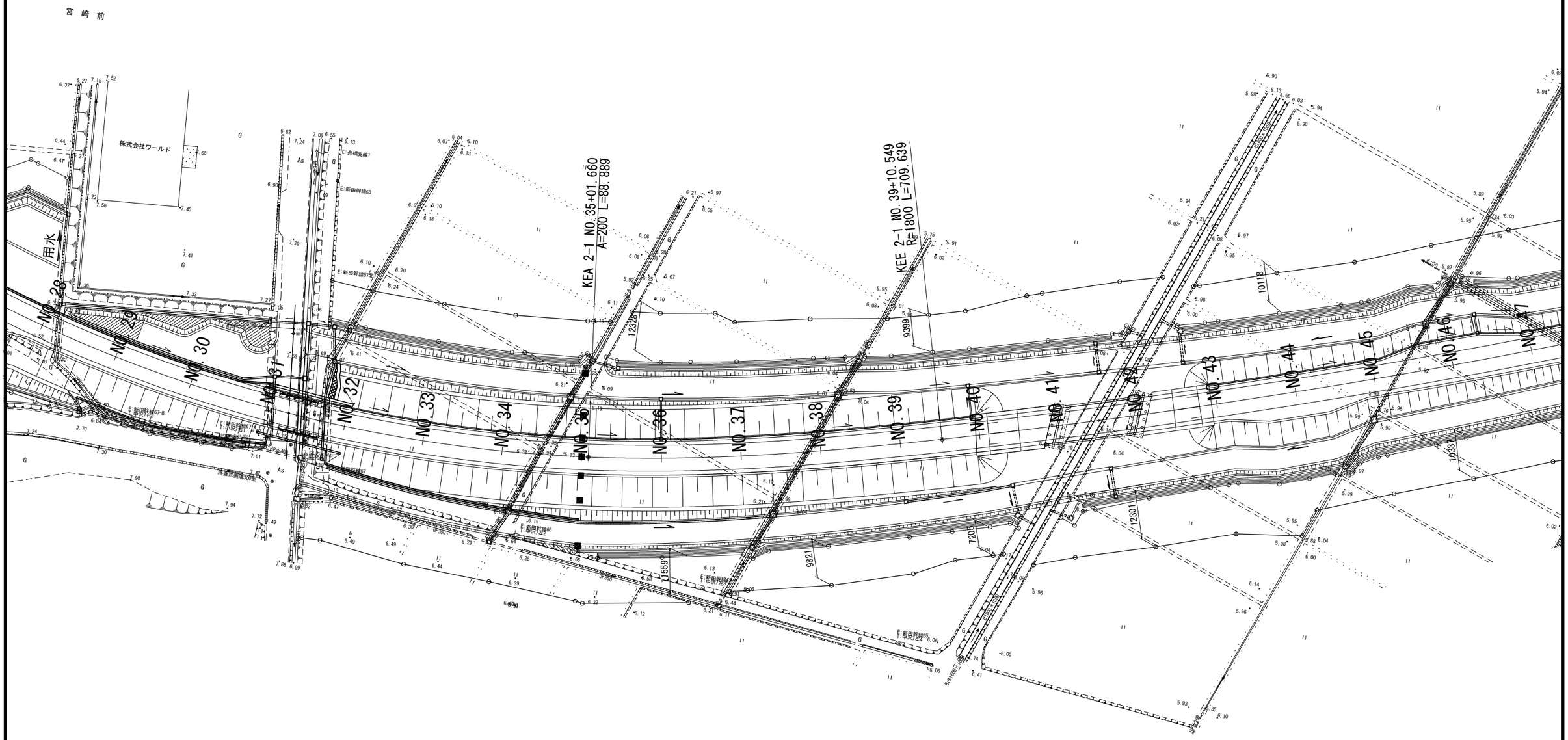
凡例

- ■：沈下板
- ●：変位杭
- ⊶⊷：借地境界位置

実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	動態観測計画平面図（2）		
縮尺	1：500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	21 / 55

動態観測計画平面図（3）S=1:500



凡例

■：沈下板
●：変位杭
⊶：借地境界位置

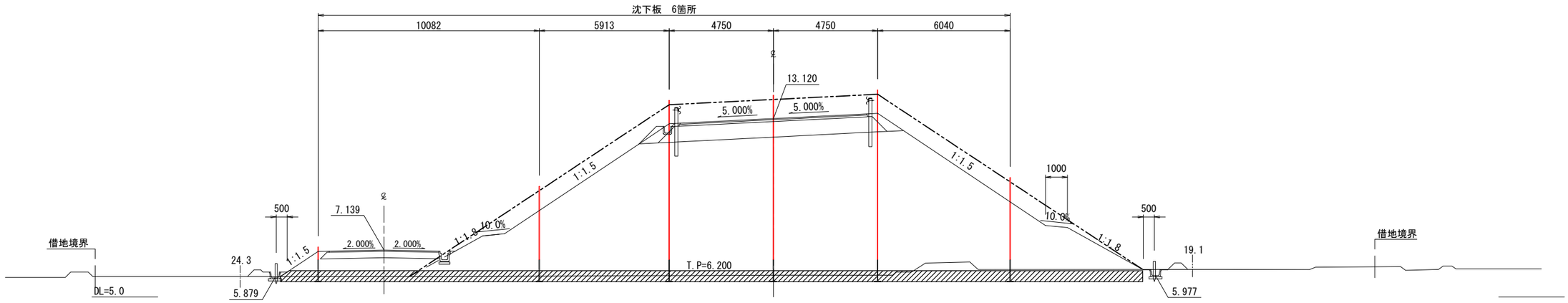
実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	動態観測計画平面図（3）		
縮尺	1：500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	22 / 55

動態観測計画 標準断面図（3）
下北浦区間2（沈下板・変位杭設置図）

下北浦区間2

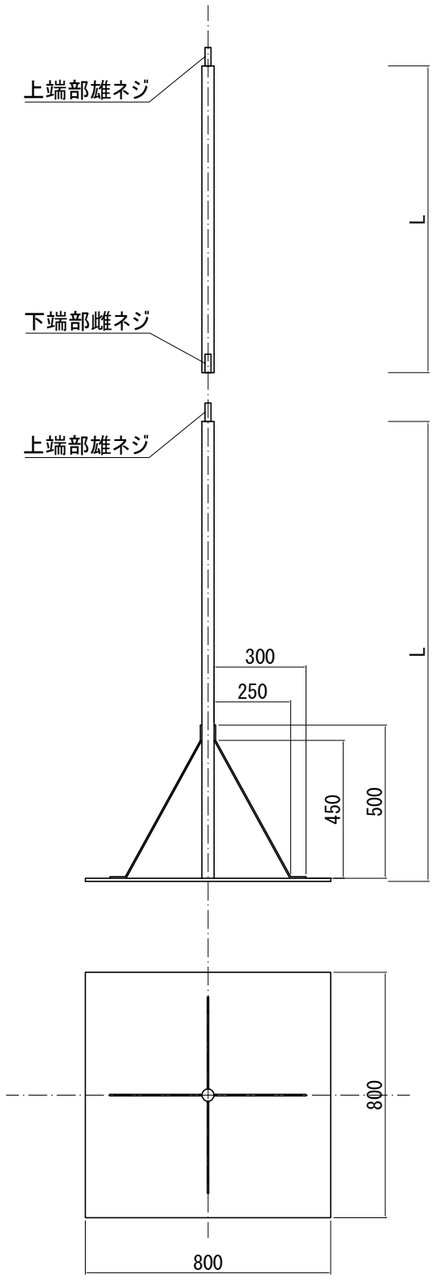
NO.26
GH= 6.00
FH=13.120



実 施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図 名	動態観測計画 標準断面図（3）		
縮 尺	1：100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	23 / 55

沈下板詳細図　S=1:20



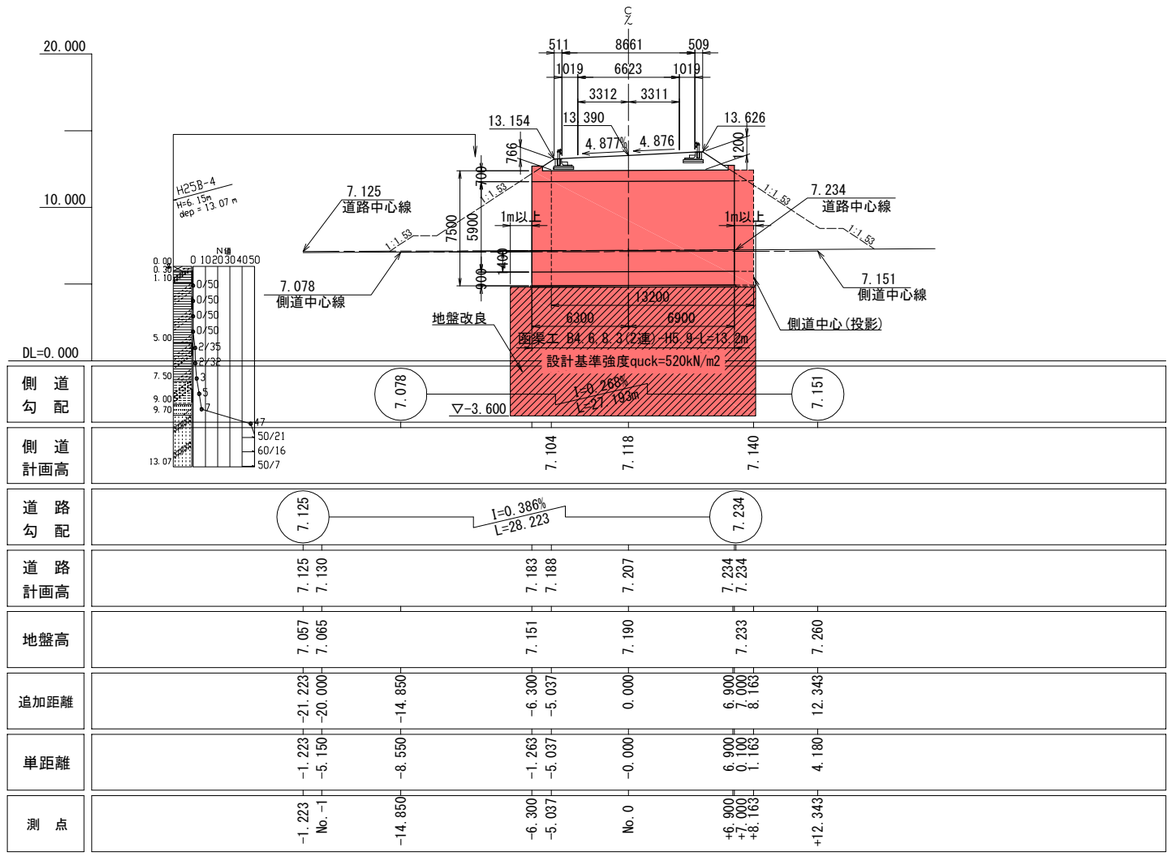
実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇　　所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図　　名	沈下板詳細図		
縮　　尺	1：200	位置	
設 計 者		設計 年度	
宮　城　県		図番	24 / 55

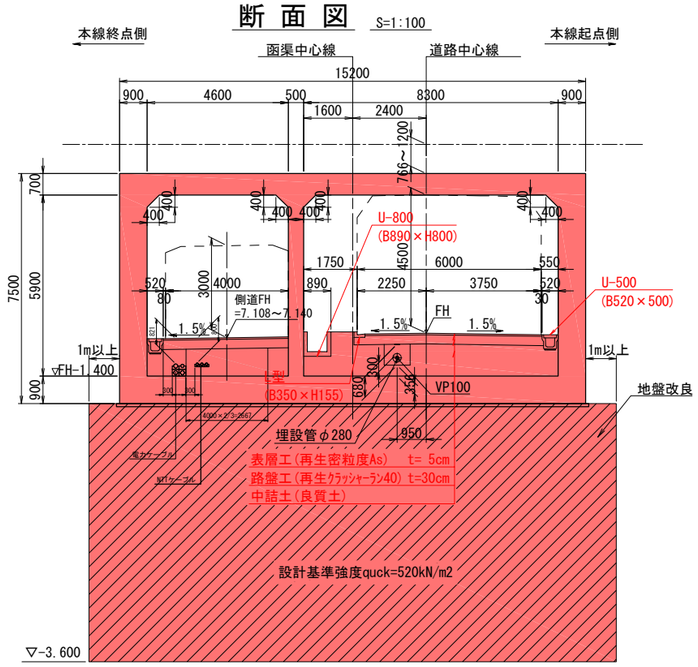
２号函渠工一般図

(NO.31+5.68)

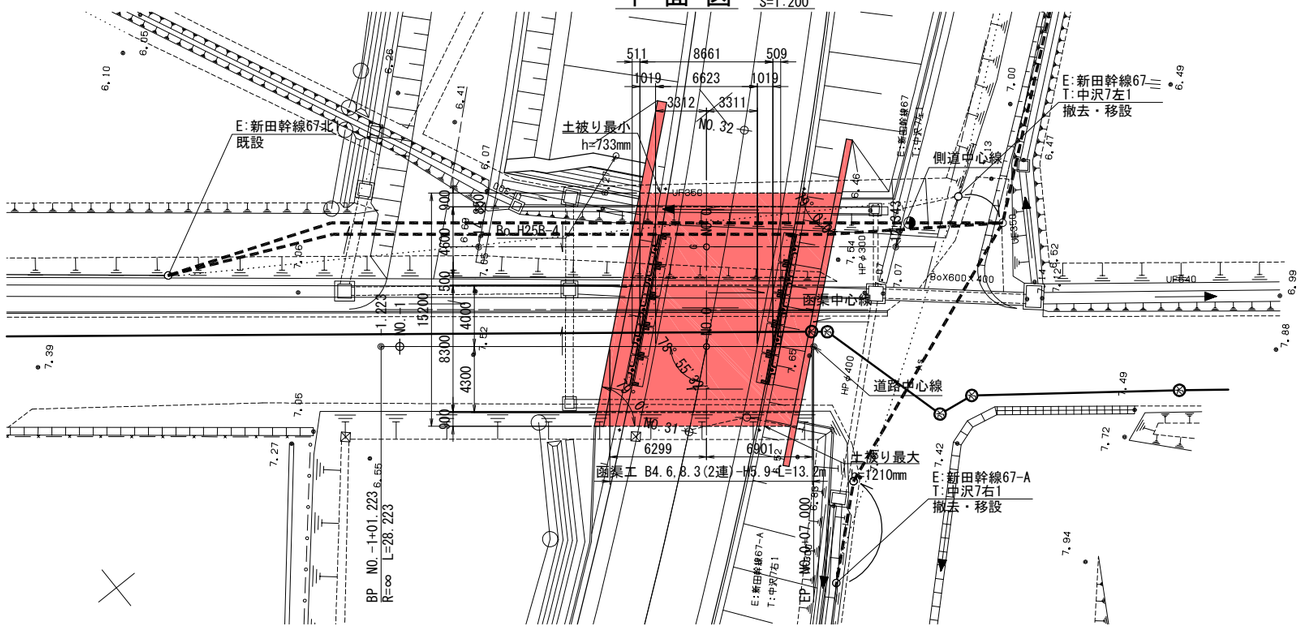
側 面 図 S=1:200



断 面 図 S=1:100



平 面 図 S=1:200



※ 図中の電柱移設箇所については、
関係機関と協議の上決定する事。

設 計 条 件

形 式	場所打ち2連ボックスカルバート	
基礎地盤対策工	圧密促進併用プレロード工法 深層混合処理工法	
内 空 幅	B = 4.600 m , 8.300m (2連)	
内 空 高	H = 5.900 m	
土 被 り	最 大	1.2 m
	最 小	0.7 m
鉛 直 荷 重	土 圧	土被り
	活 荷 重	T-25
	鉛直土圧係数	α=1.0
水 平 荷 重	土 圧	静止土圧
	静止土圧係数	K0=0.5
単位体積重量	土 砂	19.0 kN/m3
	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	24.5 kN/m3
	As舗装	22.5 kN/m3
衝 撃 係 数	4.0 m ≧ h i=0.3 4.0 m ≦ h i=0	
温 度 変 化	考慮しない	
地 震 荷 重	考慮する	
特殊荷重（雪）	考慮しない	
剛 域	考慮する	
本 線 交 差 角	θ=78° 55′ 32″	
端 部 斜 角	θ=79° 00′ 00″	
準 拠 指 針 等	土木構造物設計ﾏﾆｭｱﾙ(案)H11.11 道路土工(ｶﾙﾊﾞｰﾄ工指針)H22.3	

材 料 強 度

コンクリート		
設計基準強度		24 N/mm2
許容曲げ圧縮応力度		8.0(6.0)N/mm2
許容せん断応力度		0.23 N/mm2
許容付着応力度		1.6 N/mm2
粗骨材最大寸法		25 mm
鉄 筋 (SD345)		
降伏点引張応力度		345 N/mm2
許容引張応力度	一般の部材	180 N/mm2
	水中・地下水位以下	160 N/mm2

※（ ）内数値はハンチを設けない隅角部の許容値を示す。

実 施

NO.31+5.68

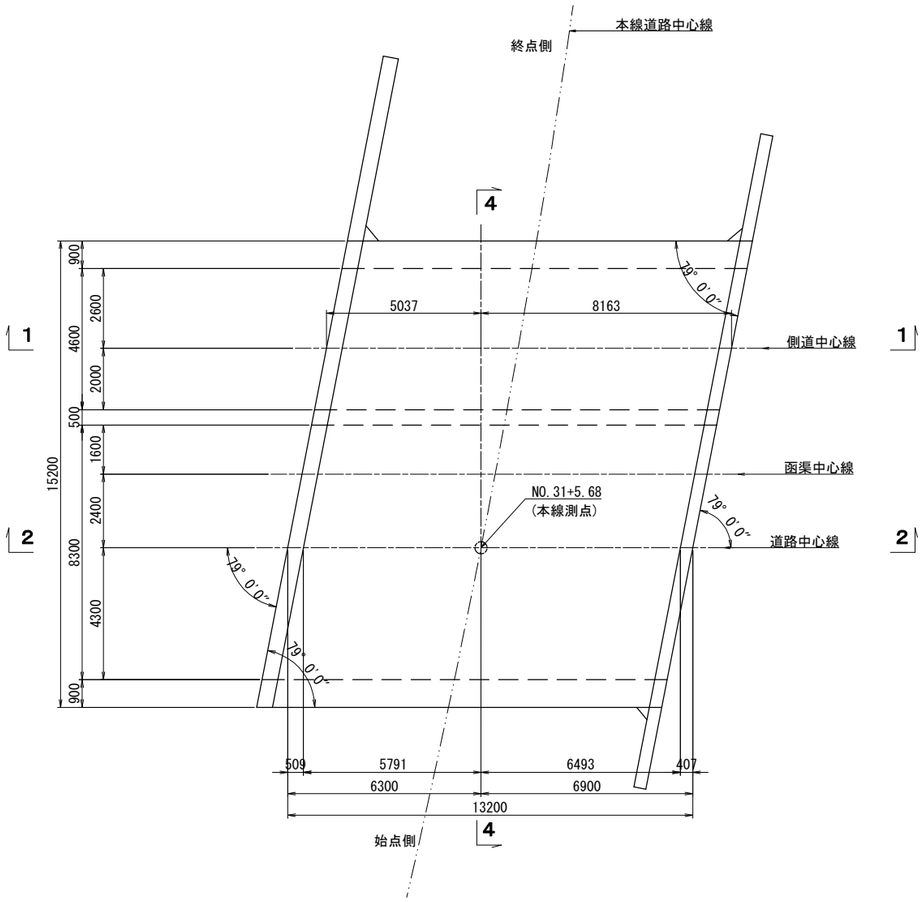
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図 名	２号函渠工一般図(NO.31+5.68)		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	25 / 55

2号函渠工構造図(1) S=1:100

(NO.31+5.68)

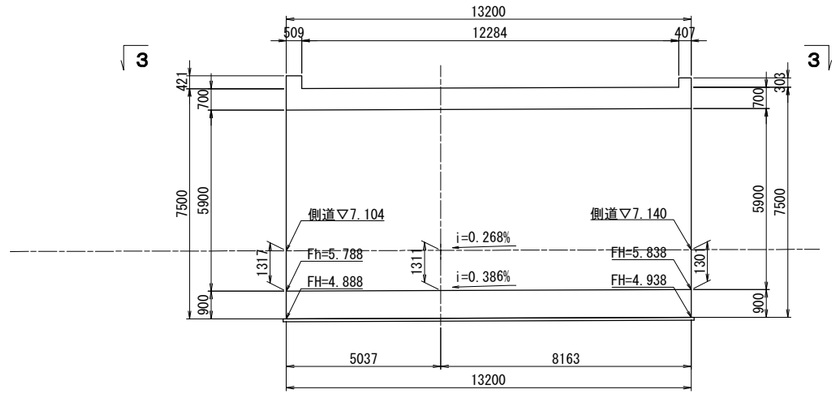
平面図

(3－3)

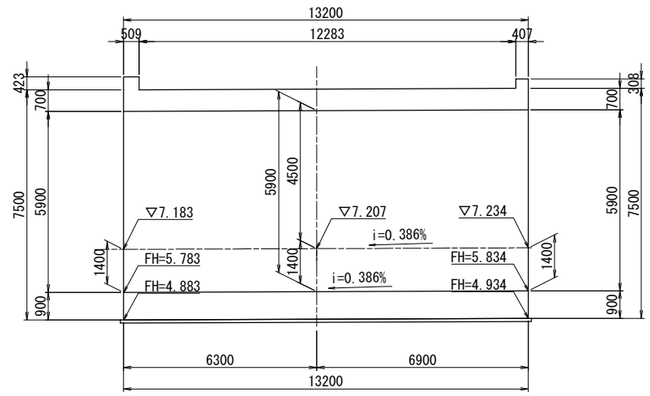


側面図

(1－1)

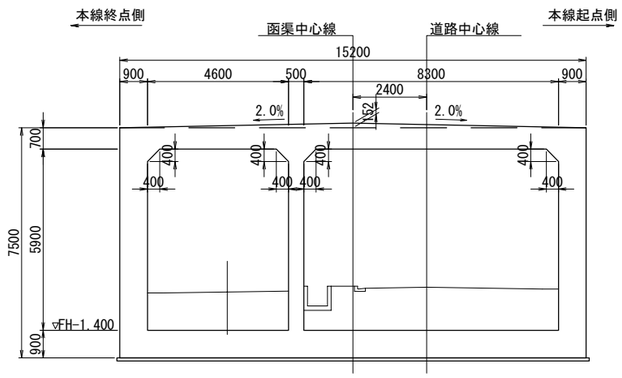


(2－2)



断面図

(4－4)



※ 図中の電柱移設箇所については、
関係機関と協議の上決定する事。

実　施

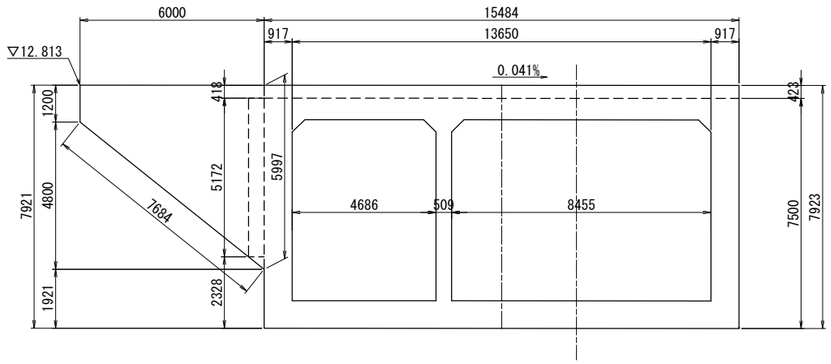
NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工構造図(1)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	26 / 55

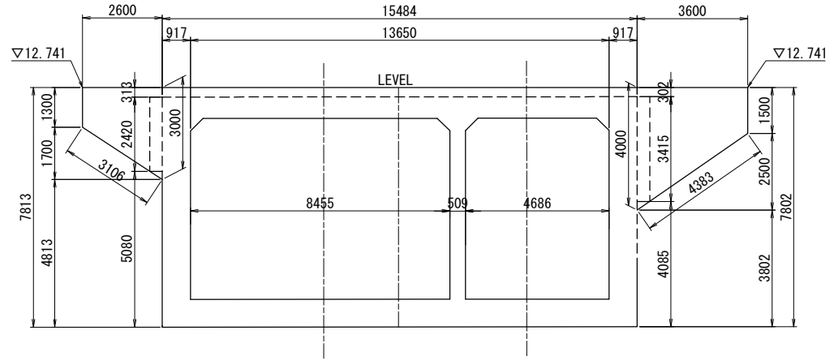
2号函渠工構造図(2) S=1:100

(NO.31+5.68)

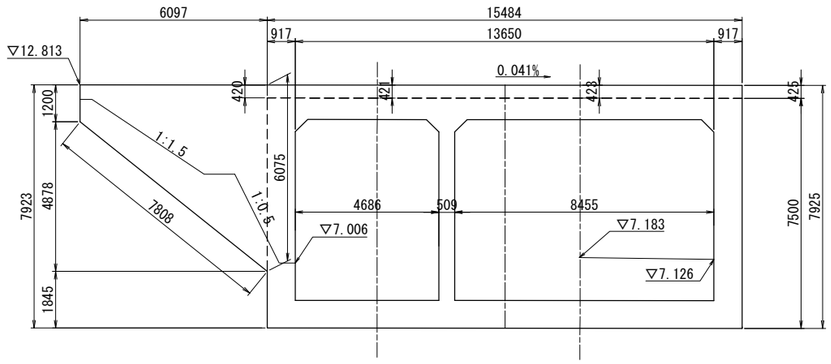
本線左口 翼壁背面図
（A－A）



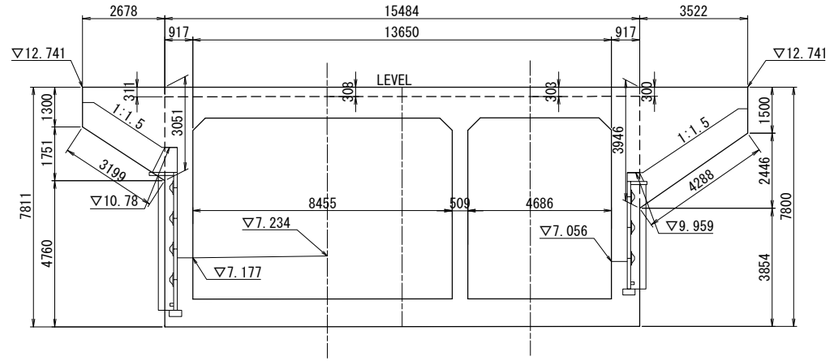
本線右口 翼壁背面図
（C－C）

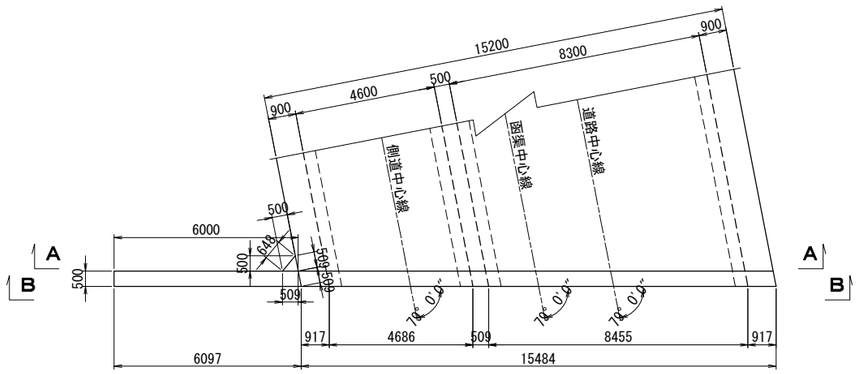


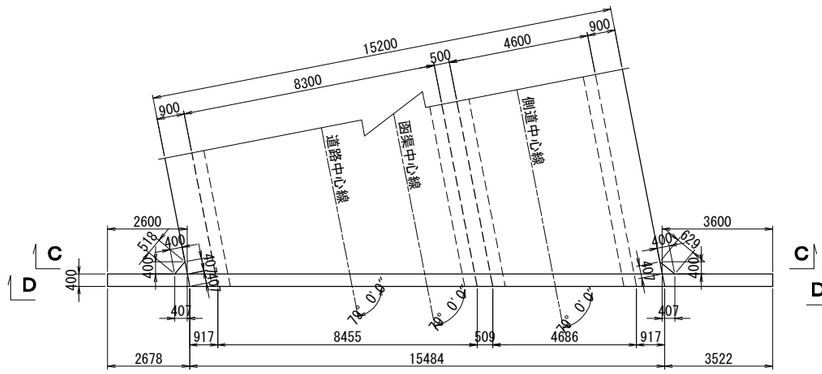
本線左口 翼壁正面図
（B－B）



本線右口 翼壁正面図
（D－D）







※ 図中の電柱移設箇所については、
関係機関と協議の上決定する事。

実　施

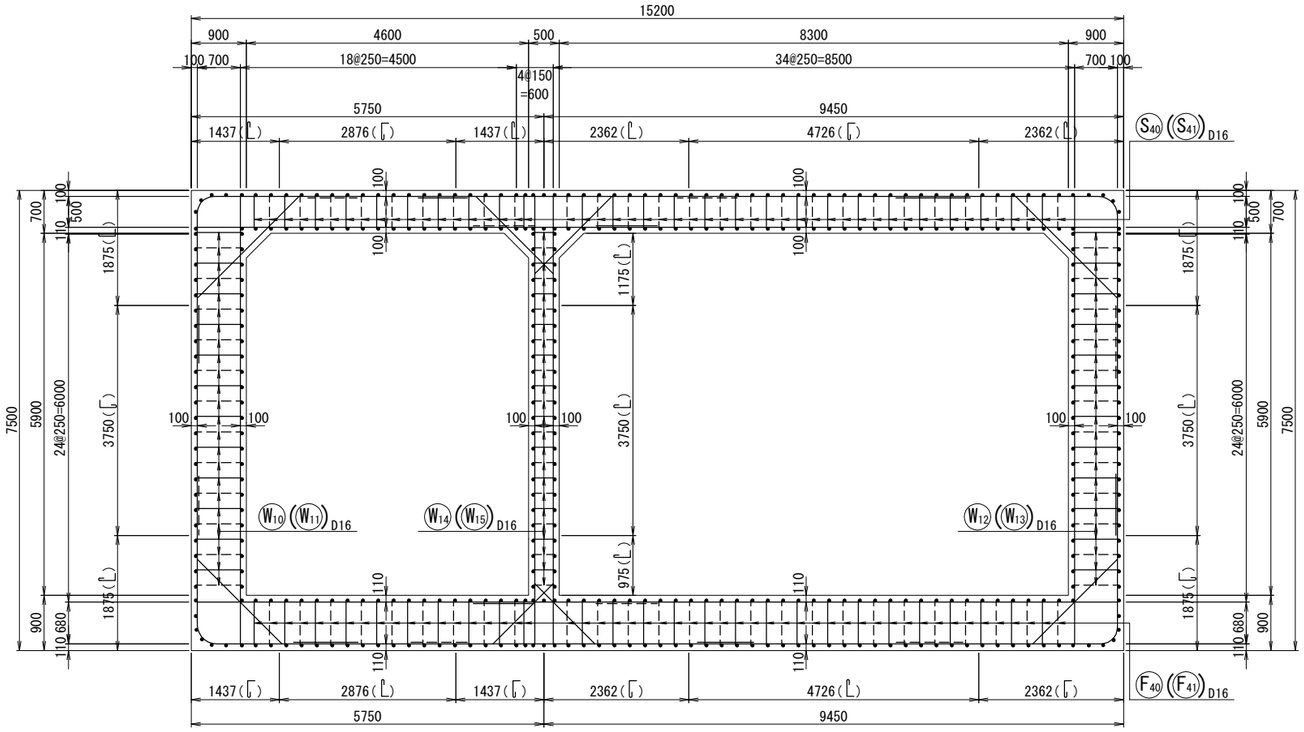
NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやざ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやざ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工構造図(2)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	27 / 55

2号函渠工配筋図(1) S=1:50

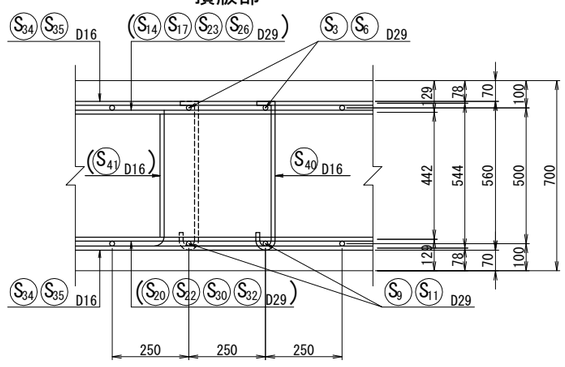
(本体工1/9)

断面図

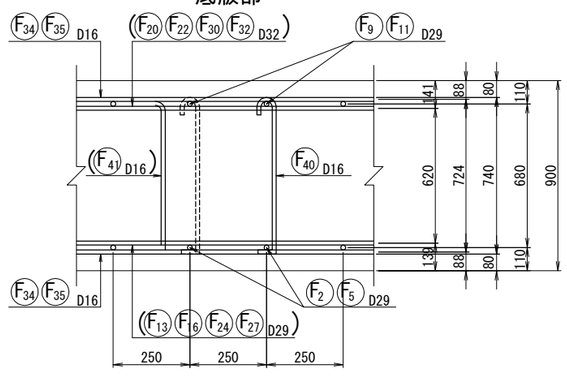


組立図

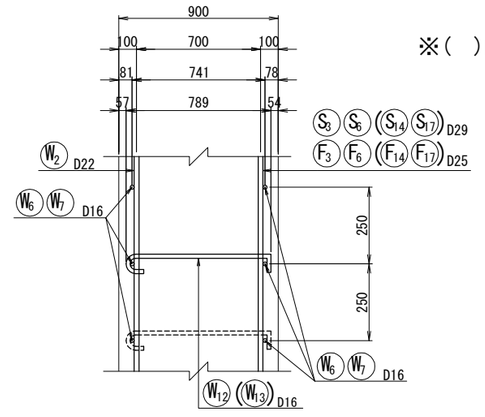
頂版部



底版部



側壁部



※(　)内は斜角部

実　施

NO. 31+5. 68

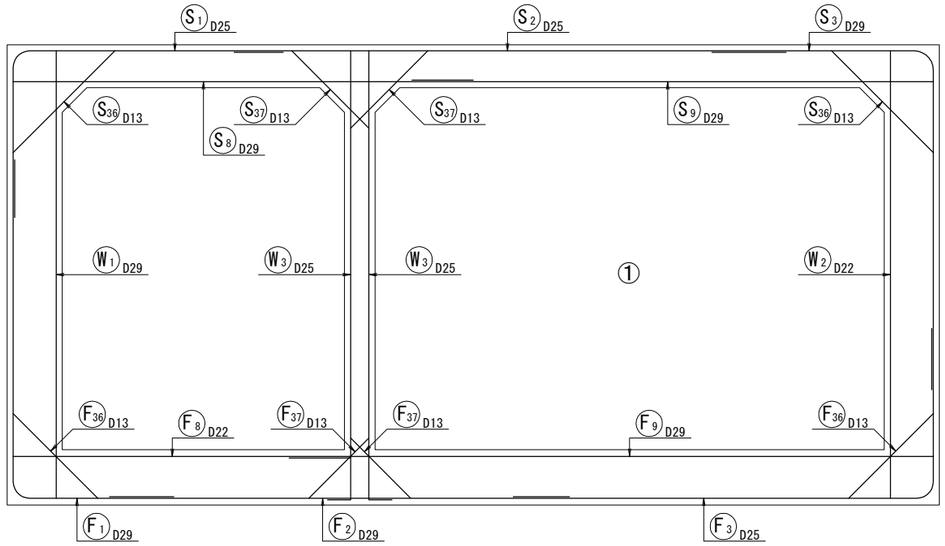
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(1)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	28 / 55

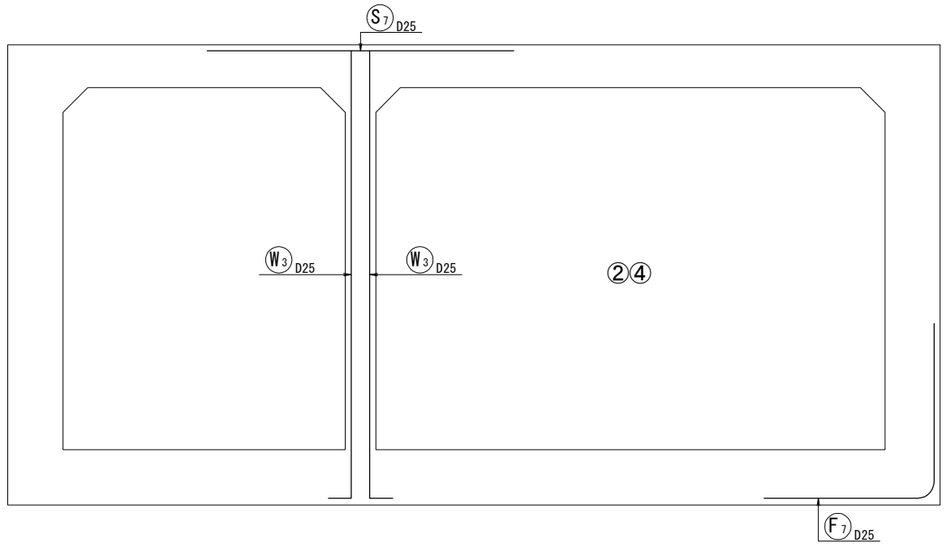
2号函渠工配筋図(2) S=1:50

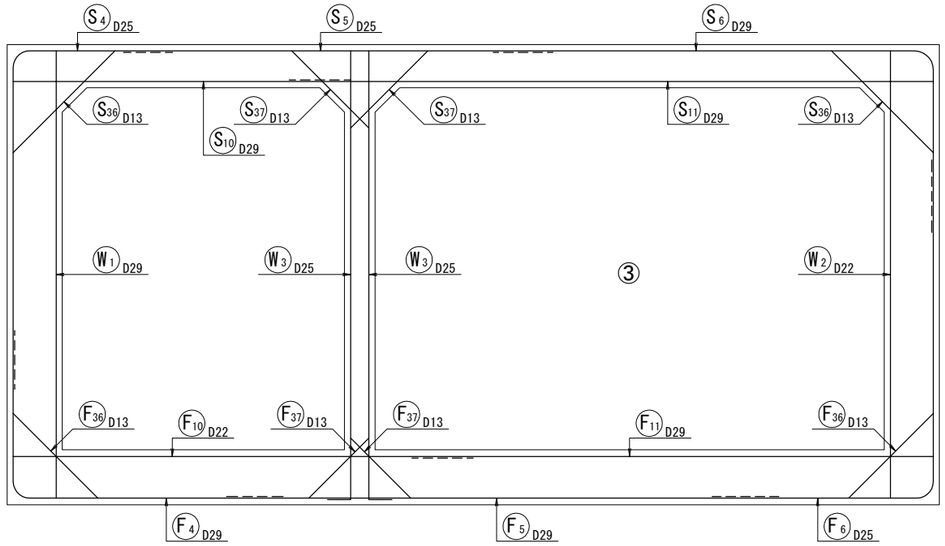
(本体工2/9)

主鉄筋組立図

標準部(@125)







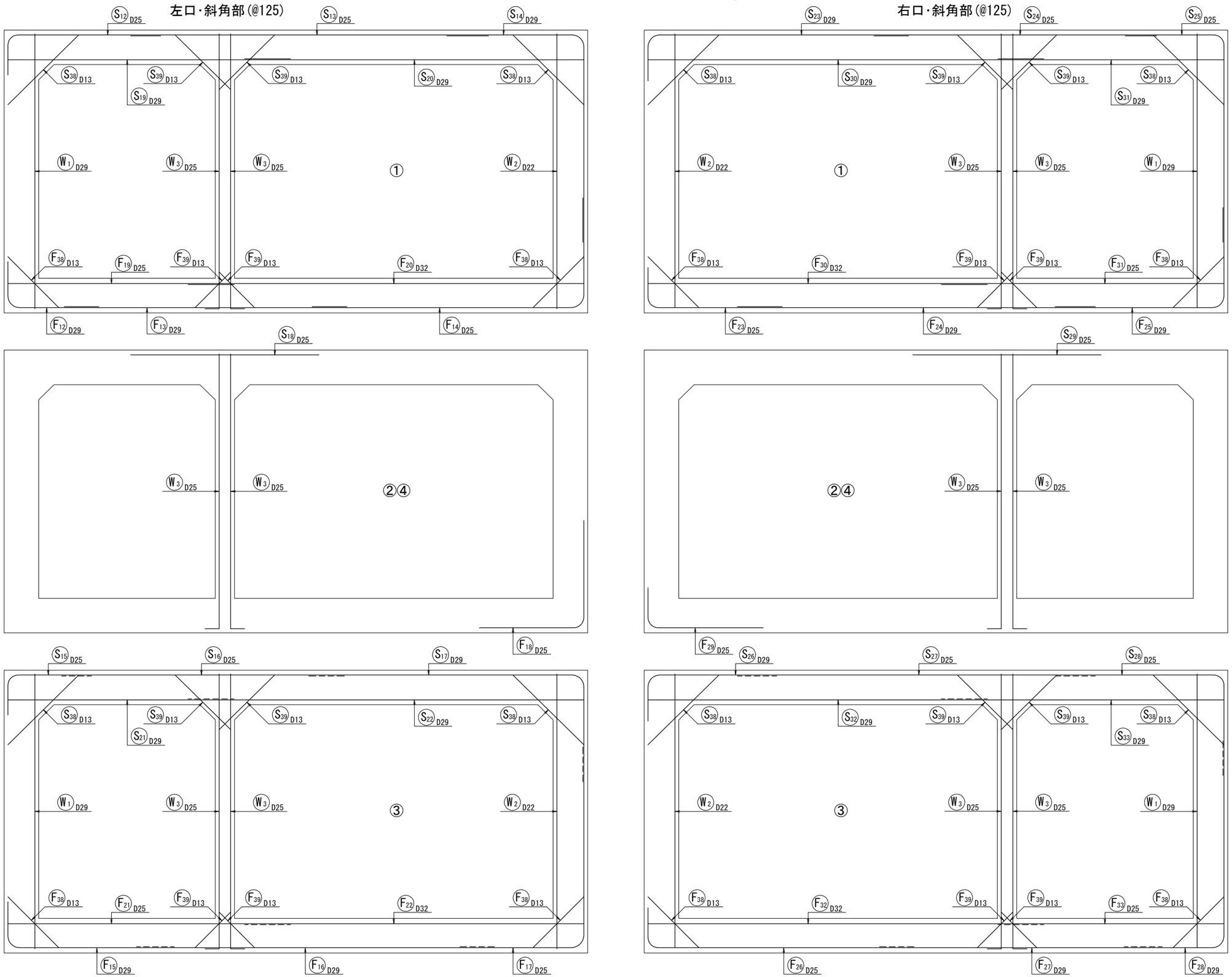
実　施

NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(2)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	29 / 55

2号函渠工配筋図(3) S=1:50

(本体工3/9)



実　施

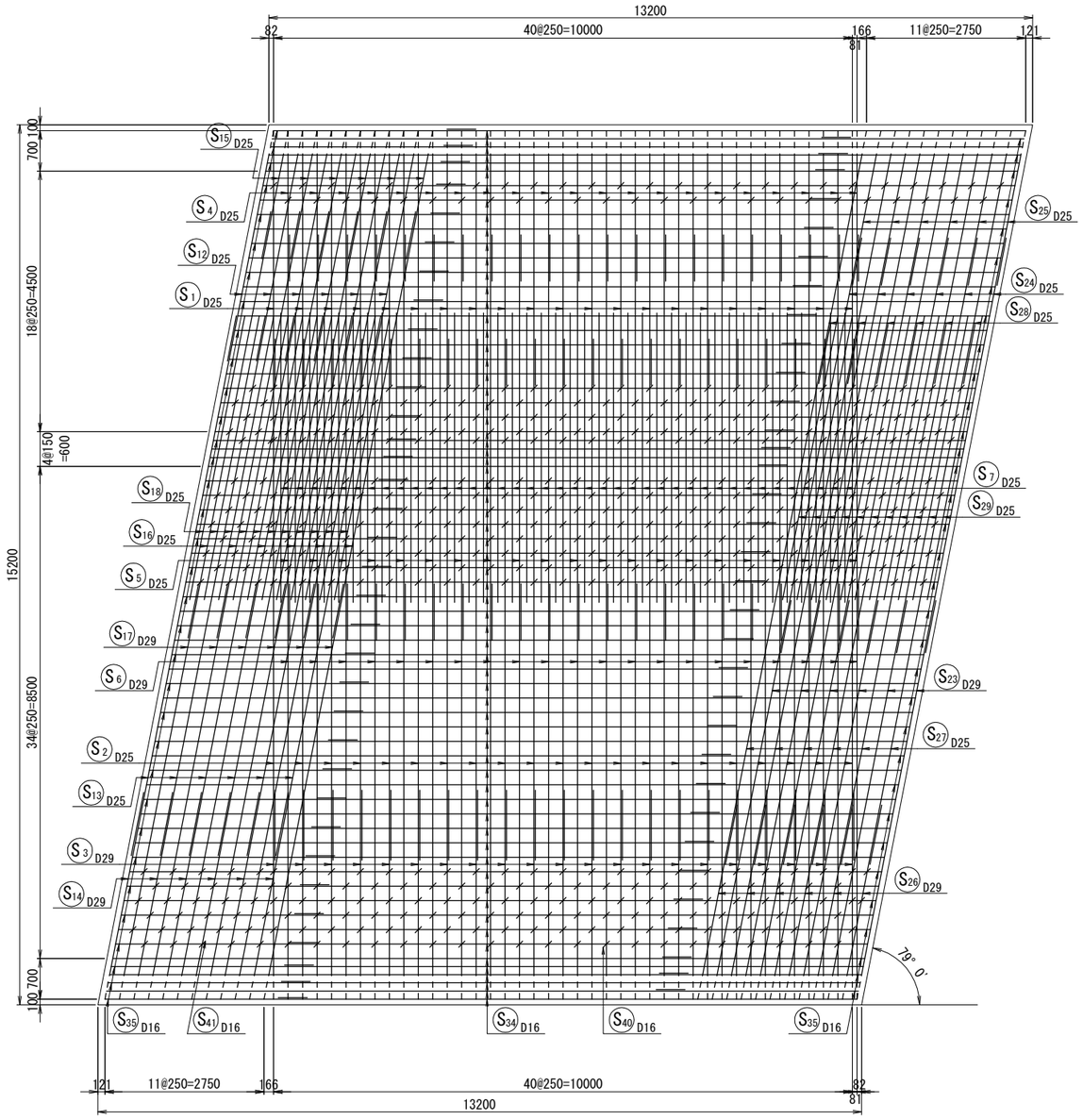
NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(3)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	30 / 55

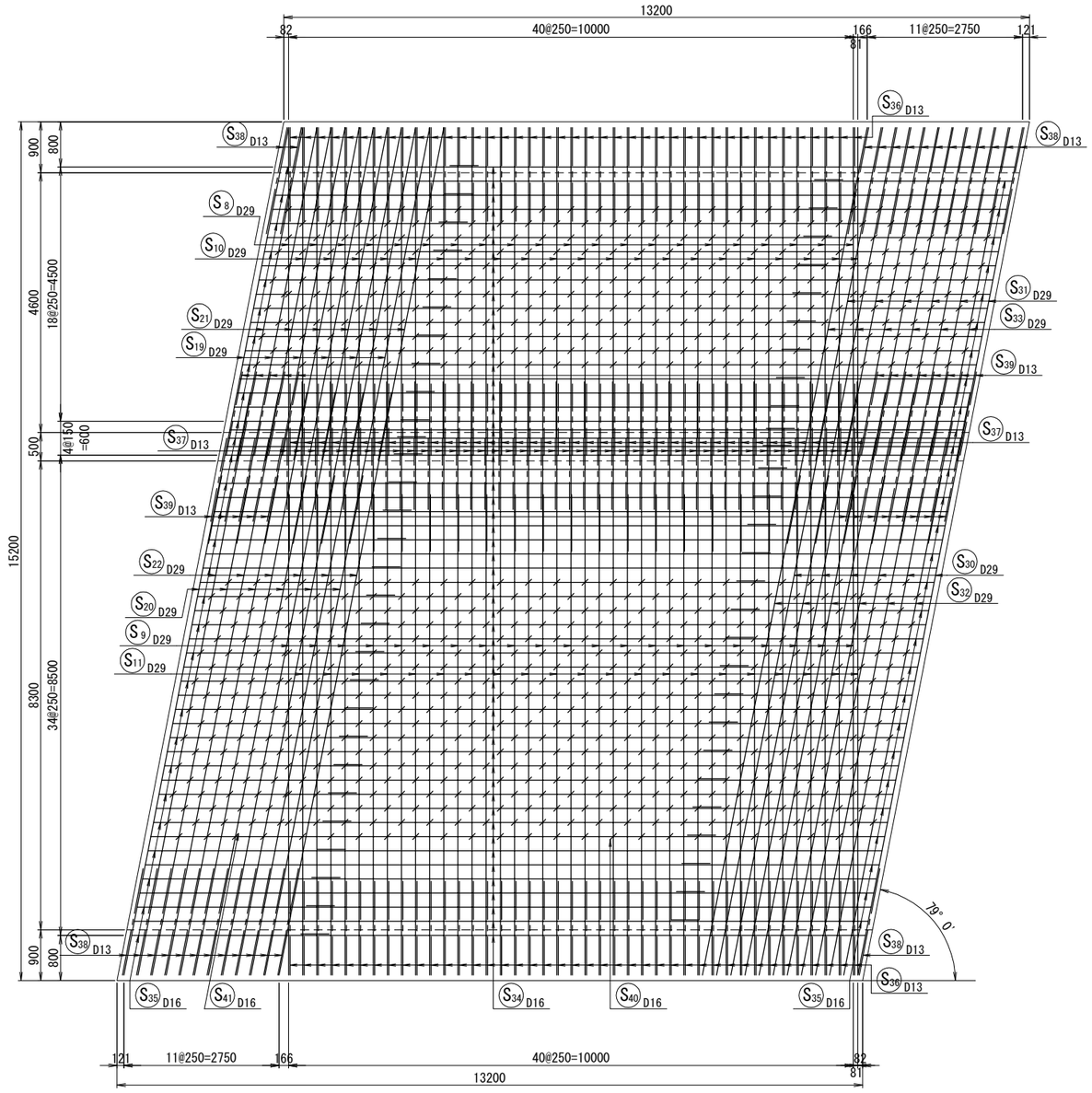
2号函渠工配筋図(4) S=1:50

(本体工4/9)

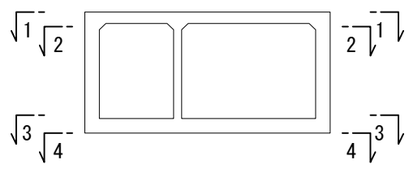
頂版上面 (1-1)



頂版下面 (2-2)



位 置 図



実 施

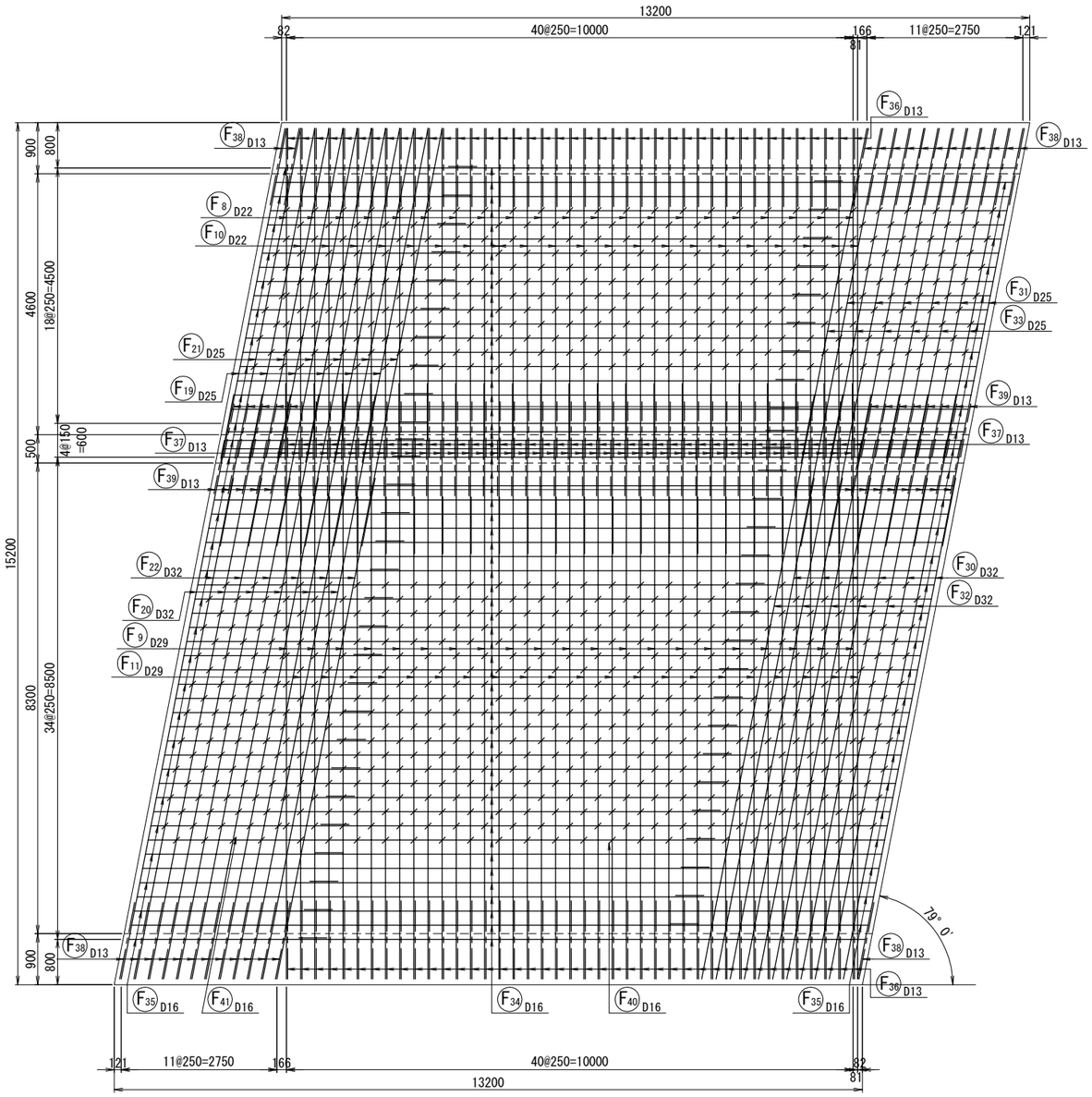
NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(4)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	31 / 55

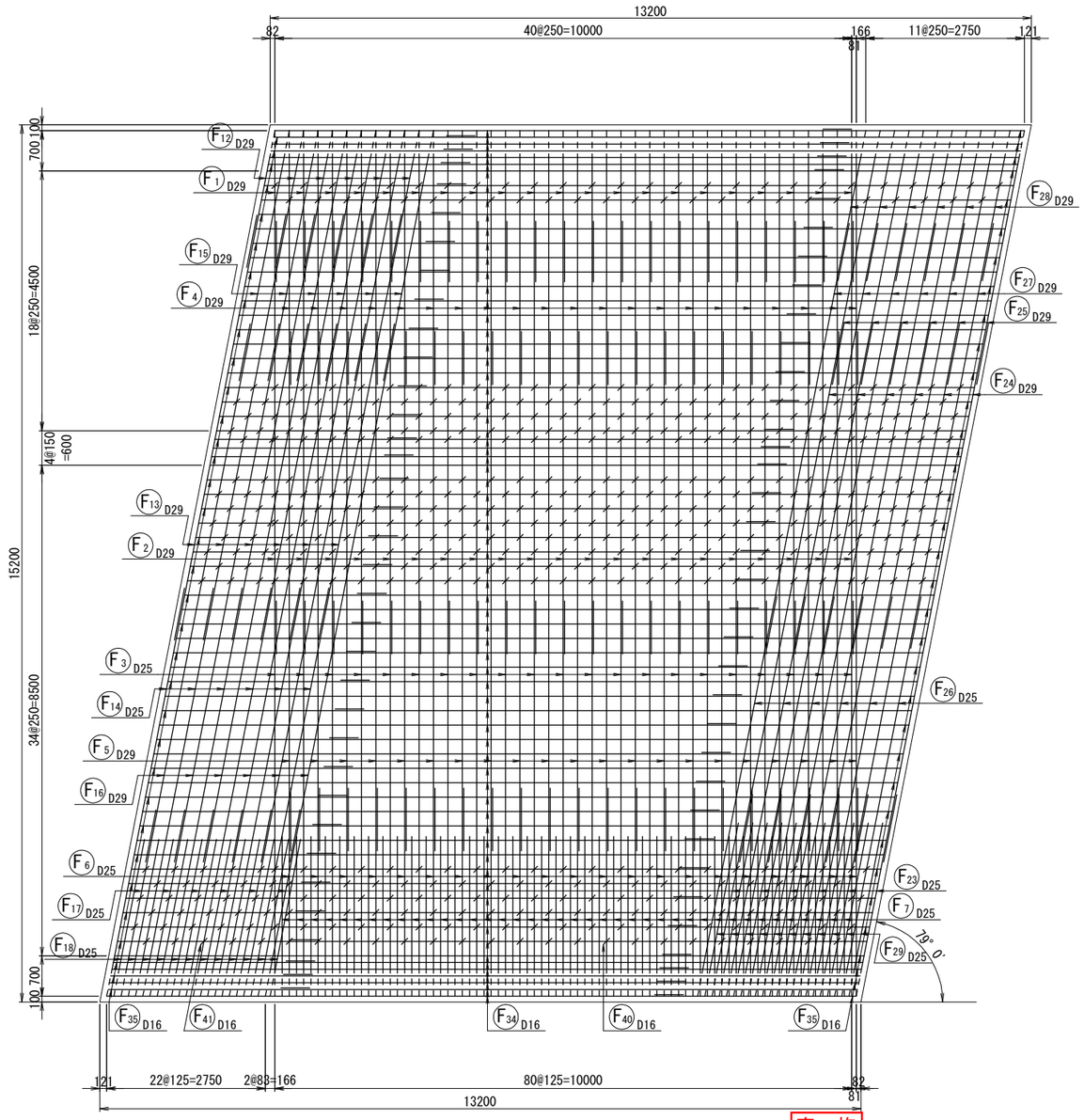
2号函渠工配筋図(5) S=1:50

(本体工5/9)

底版上面 (3-3)



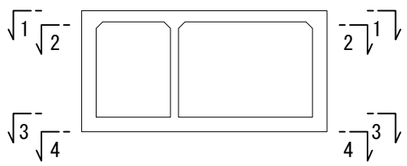
底版下面 (4-4)



実 施

NO. 31+5.68

位 置 図

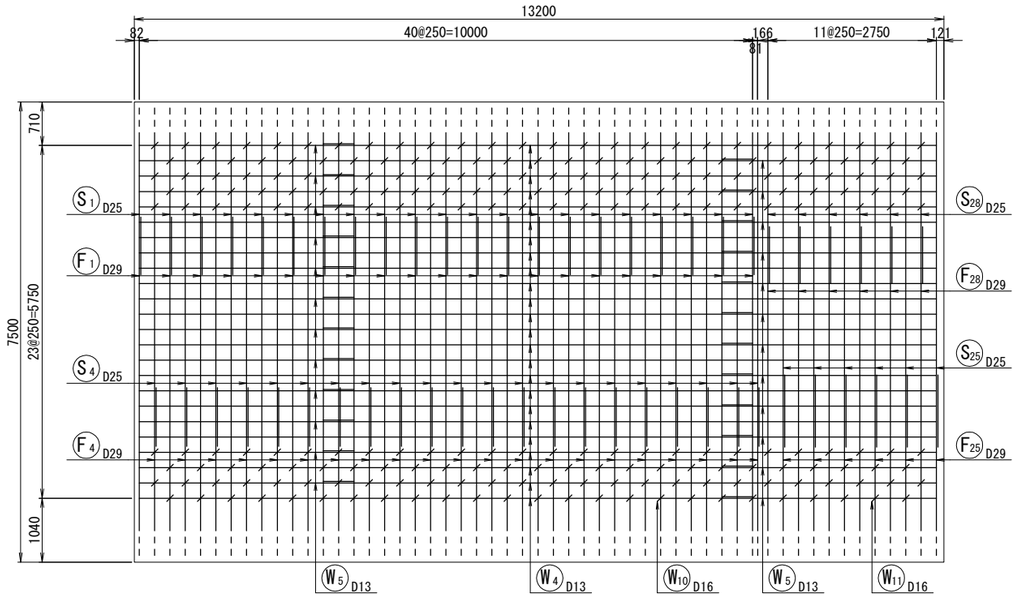


工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(5)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	32 / 55

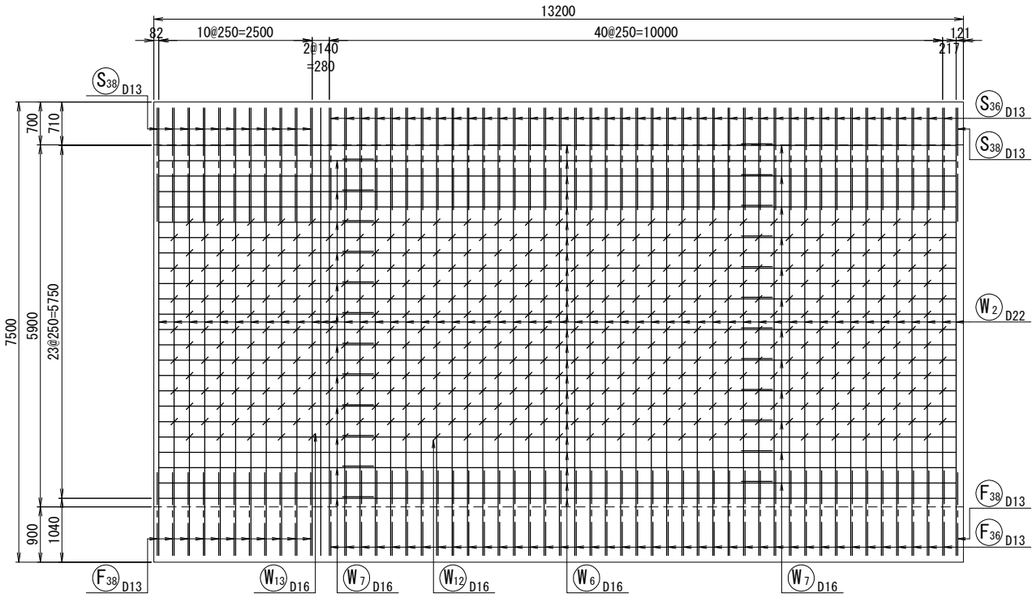
2号函渠工配筋図(6) S=1:50

(本体工6/9)

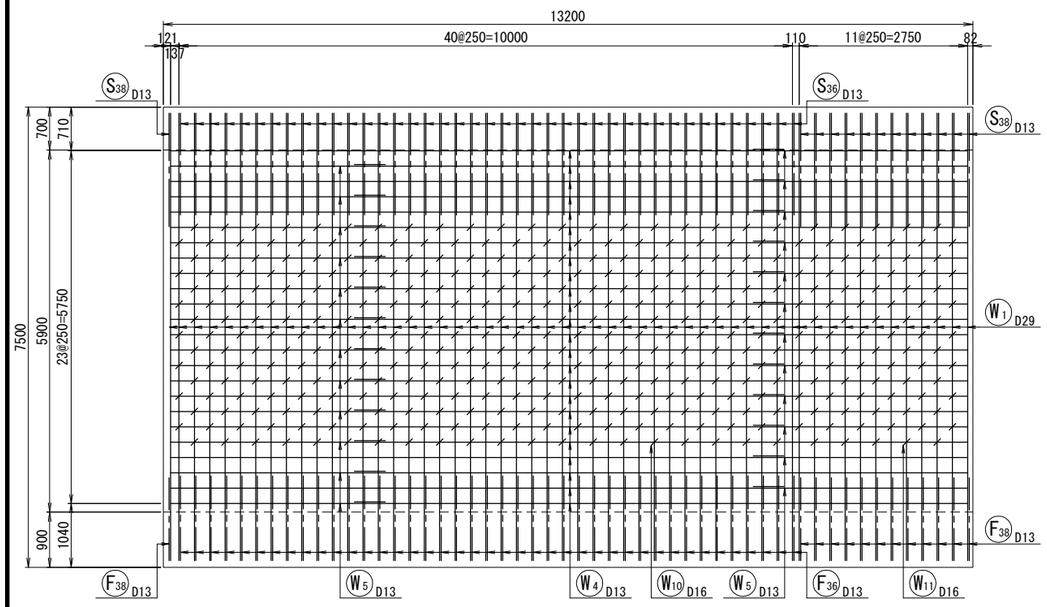
側壁外面 (5-5)



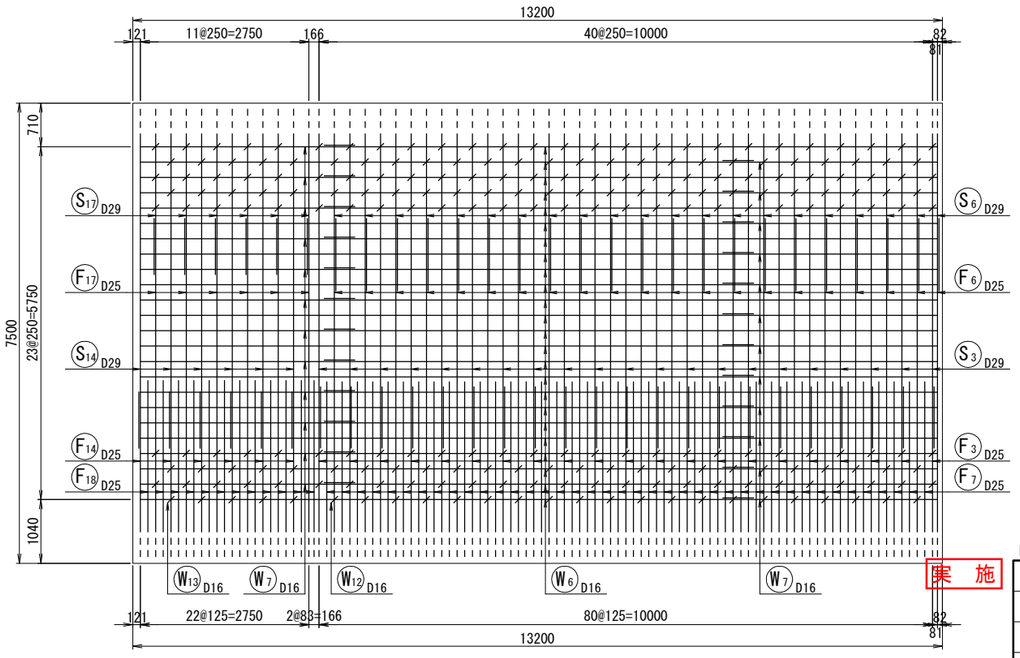
側壁内面 (7-7)



側壁内面 (6-6)

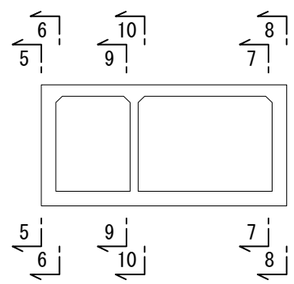


側壁外面 (8-8)



実　施

位置図



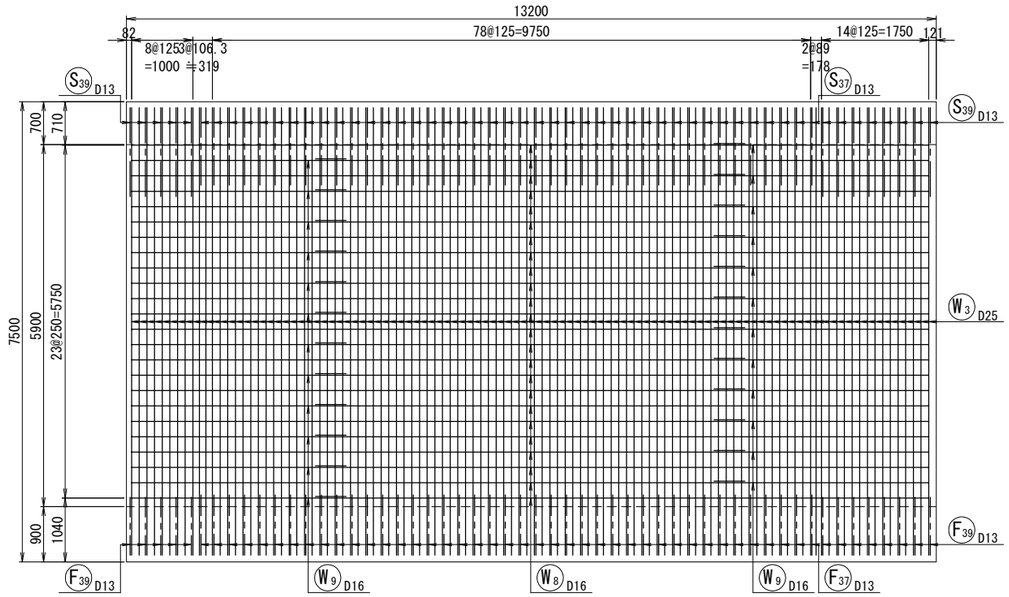
NO. 31+5. 68

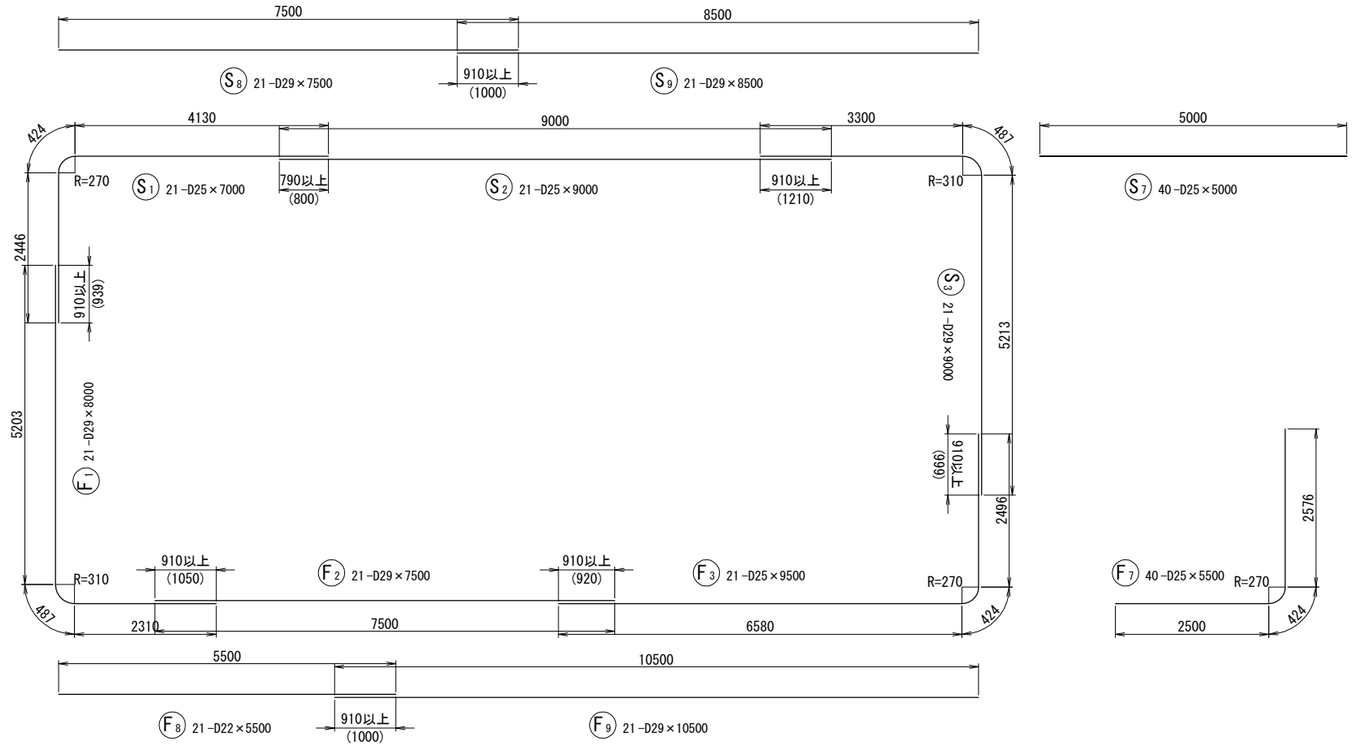
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(6)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	33 / 55

2号函渠工配筋図(7) S=1:50

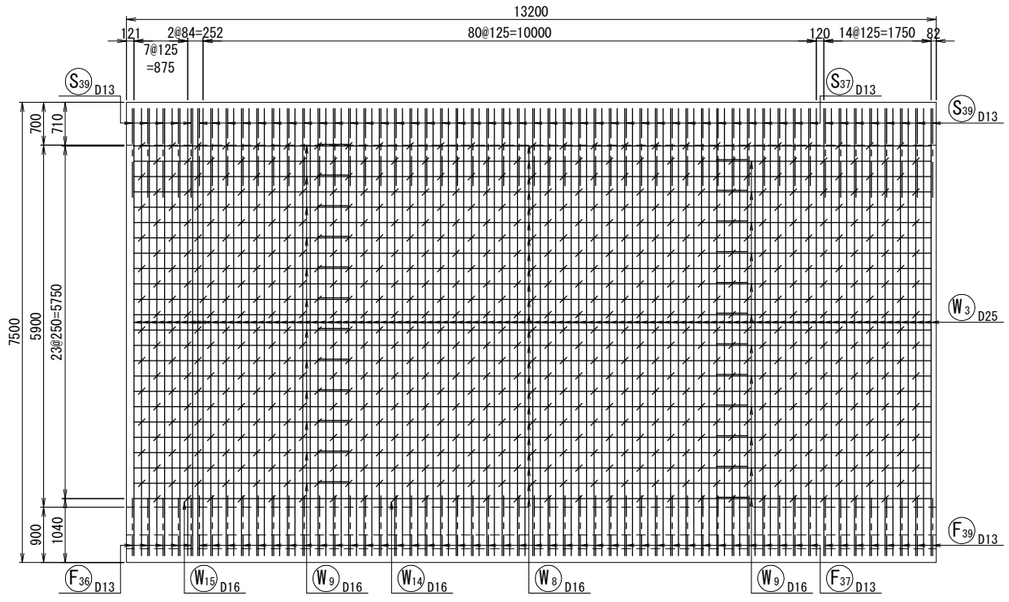
(本体工7/9)

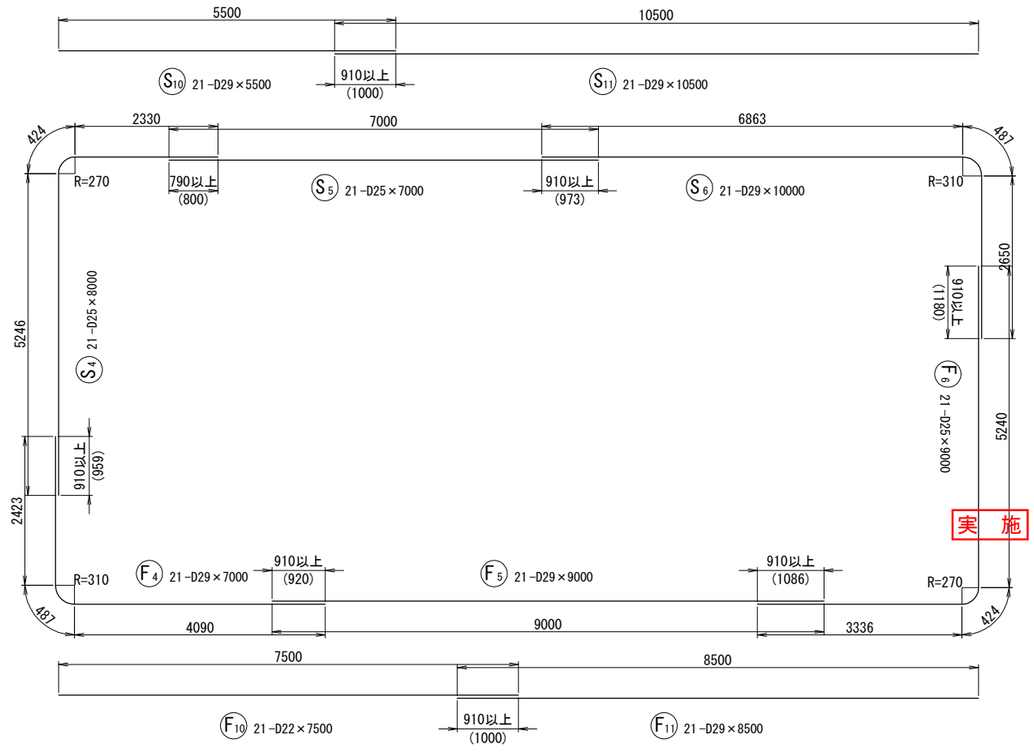
中壁 (9-9)





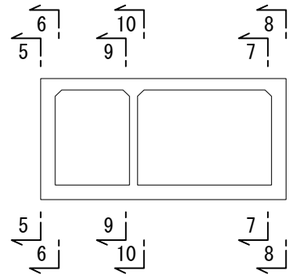
中壁 (10-10)





実 施

位置図

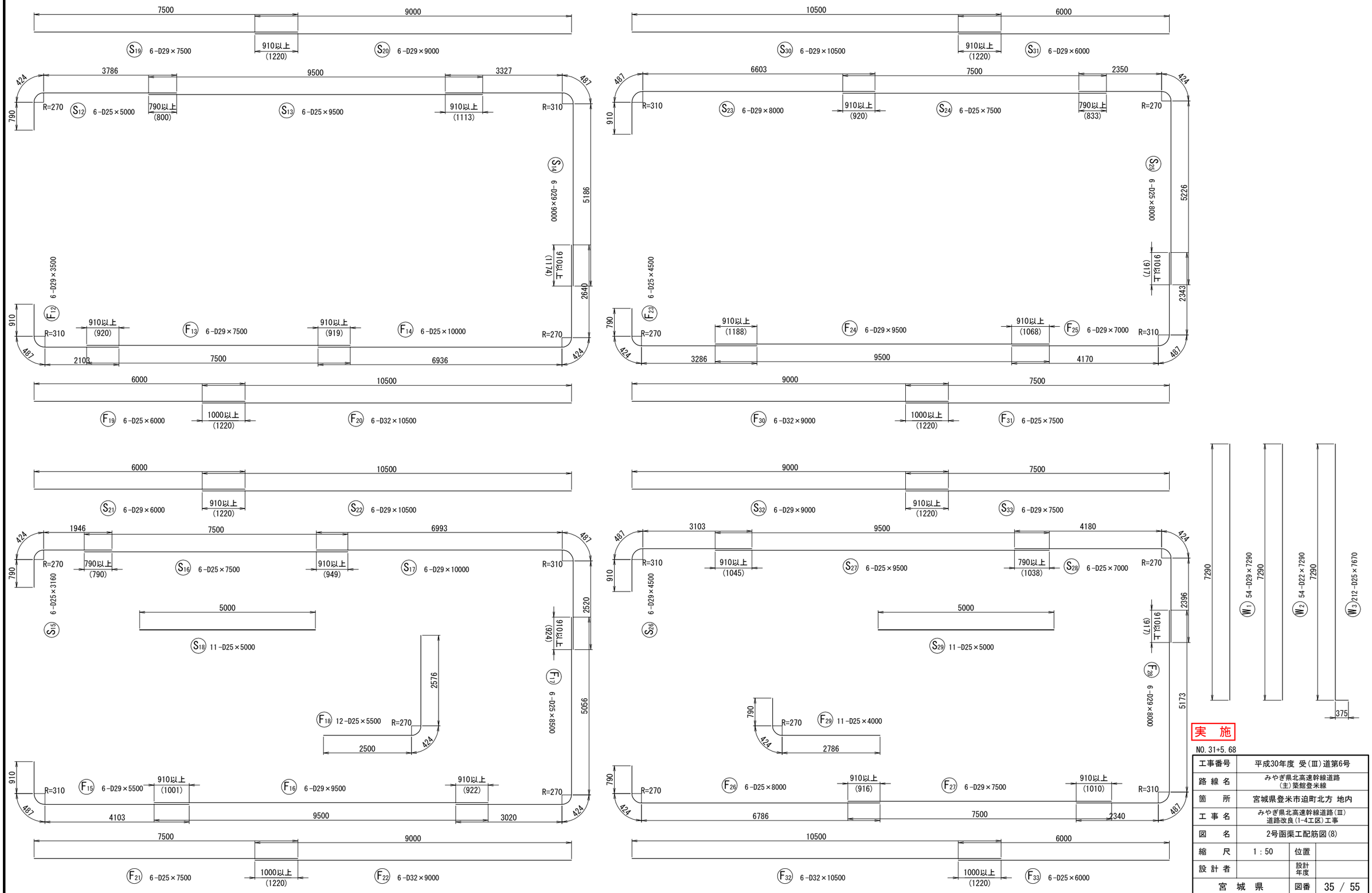


NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(I-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(7)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	34 / 55

2号函渠工配筋図(8) S=1:50

(本体工8/9)



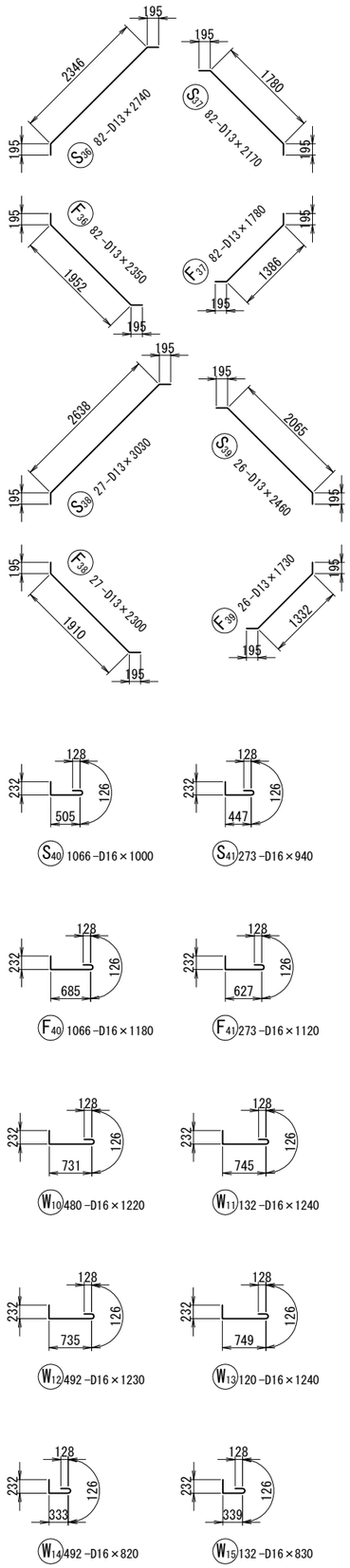
実　施

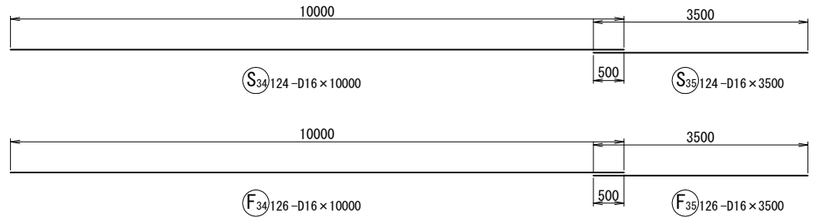
NO. 31+5. 68

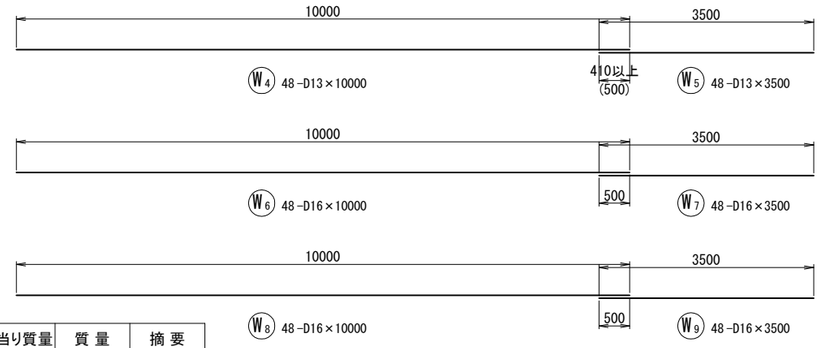
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(8)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	35 / 55

2号函渠工配筋図(9) S=1:50

(本体工9/9)







鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S 1	D25	7000	21	3.98	27.86	585	
2	D25	9000	21	3.98	35.82	752	
3	D29	9000	21	5.04	45.36	953	
4	D25	8000	21	3.98	31.84	669	
5	D25	7000	21	3.98	27.86	585	
6	D29	10000	21	5.04	50.40	1058	
7	D25	5000	40	3.98	19.90	796	
8	D29	7500	21	5.04	37.80	794	
9	D29	8500	21	5.04	42.84	900	
10	D29	5500	21	5.04	27.72	582	
11	D29	10500	21	5.04	52.92	1111	
12	D25	5000	6	3.98	19.90	119	
13	D25	9500	6	3.98	37.81	227	
14	D29	9000	6	5.04	45.36	272	
15	D25	3160	6	3.98	12.58	75	
16	D25	7500	6	3.98	29.85	179	
17	D29	10000	6	5.04	50.40	302	
18	D25	5000	11	3.98	19.90	219	
19	D29	7500	6	5.04	37.80	227	
20	D29	9000	6	5.04	45.36	272	
21	D29	6000	6	5.04	30.24	181	
22	D29	10500	6	5.04	52.92	318	
23	D29	8000	6	5.04	40.32	242	
24	D25	7500	6	3.98	29.85	179	
25	D25	8000	6	3.98	31.84	191	
26	D29	4500	6	5.04	22.68	136	
27	D25	9500	6	3.98	37.81	227	
28	D25	7000	6	3.98	27.86	167	
29	D25	5000	11	3.98	19.90	219	
30	D29	10500	6	5.04	52.92	318	
31	D29	6000	6	5.04	30.24	181	
32	D29	9000	6	5.04	45.36	272	
33	D29	7500	6	5.04	37.80	227	
34	D16	10000	124	1.56	15.60	1934	
35	D16	3500	124	1.56	5.46	677	
36	D13	2740	82	0.995	2.73	224	
37	D13	2170	82	0.995	2.16	177	
38	D13	3030	27	0.995	3.01	81	
39	D13	2460	26	0.995	2.45	64	
40	D16	1000	1066	1.56	1.56	1663	
41	D16	940	273	1.56	1.47	401	

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
F 1	D29	8000	21	5.04	40.32	847	
2	D29	7500	21	5.04	37.80	794	
3	D25	9500	21	3.98	37.81	794	
4	D29	7000	21	5.04	35.28	741	
5	D29	9000	21	5.04	45.36	953	
6	D25	9000	21	3.98	35.82	752	
7	D25	5500	40	3.98	21.89	876	
8	D22	5500	21	3.04	16.72	351	
9	D29	10500	21	5.04	52.92	1111	
10	D22	7500	21	3.04	22.80	479	
11	D29	8500	21	5.04	42.84	900	
12	D29	3500	6	5.04	17.64	106	
13	D29	7500	6	5.04	37.80	227	
14	D25	10000	6	3.98	39.80	239	
15	D29	5500	6	5.04	27.72	166	
16	D29	9500	6	5.04	47.88	287	
17	D25	8500	6	3.98	33.83	203	
18	D25	5500	12	3.98	21.89	263	
19	D25	6000	6	3.98	23.88	143	
20	D32	10500	6	6.23	65.42	393	
21	D25	7500	6	3.98	29.85	179	
22	D32	9000	6	6.23	56.07	336	
23	D25	4500	6	3.98	17.91	107	
24	D29	9500	6	5.04	47.88	287	
25	D29	7000	6	5.04	35.28	212	
26	D25	8000	6	3.98	31.84	191	
27	D29	7500	6	5.04	37.80	227	
28	D29	8000	6	5.04	40.32	242	
29	D25	4000	11	3.98	15.92	175	
30	D32	9000	6	6.23	56.07	336	
31	D25	7500	6	3.98	29.85	179	
32	D32	10500	6	6.23	65.42	393	
33	D25	6000	6	3.98	23.88	143	
34	D16	10000	126	1.56	15.60	1966	
35	D16	3500	126	1.56	5.46	688	
36	D13	2350	82	0.995	2.34	192	
37	D13	1780	82	0.995	1.77	145	
38	D13	2300	27	0.995	2.29	62	
39	D13	1730	26	0.995	1.72	45	
40	D16	1180	1066	1.56	1.84	1961	
41	D16	1120	273	1.56	1.75	478	

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
W 1	D29	7290	54	5.04	36.74	1984	
2	D22	7290	54	3.04	22.16	1197	
3	D25	7670	212	3.98	30.53	6472	
4	D13	10000	48	0.995	9.95	478	
5	D13	3500	48	0.995	3.48	167	
6	D16	10000	48	1.56	15.60	749	
7	D16	3500	48	1.56	5.46	262	
8	D16	10000	48	1.56	15.60	749	
9	D16	3500	48	1.56	5.46	262	
10	D16	1220	480	1.56	1.90	912	
11	D16	1240	132	1.56	1.93	255	
12	D16	1230	492	1.56	1.92	945	
13	D16	1240	120	1.56	1.93	232	
14	D16	820	492	1.56	1.28	630	
15	D16	830	132	1.56	1.29	170	

	D32	1458 kg
	D29	17430 kg
	D25	15905 kg
	D22	2027 kg
	D16	14934 kg
	D13	1635 kg
(SD345)	合計	53389 kg

実 施

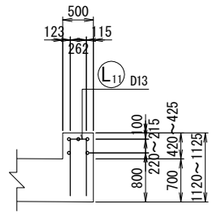
NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(9)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	36 / 55

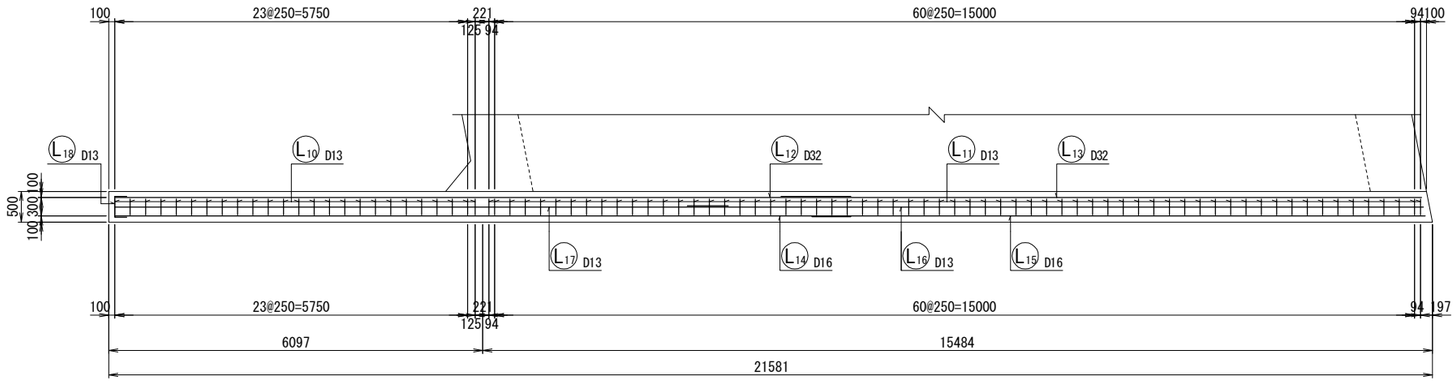
2号函渠工配筋図(10) S=1:50

(左口翼壁1/3)

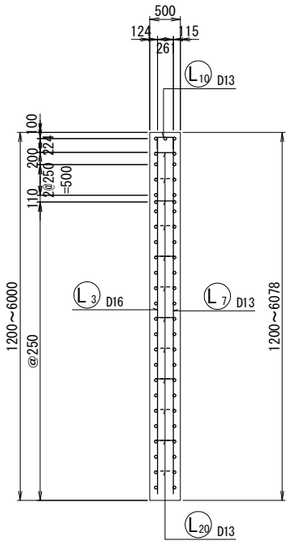
土留壁断面図(6-6)



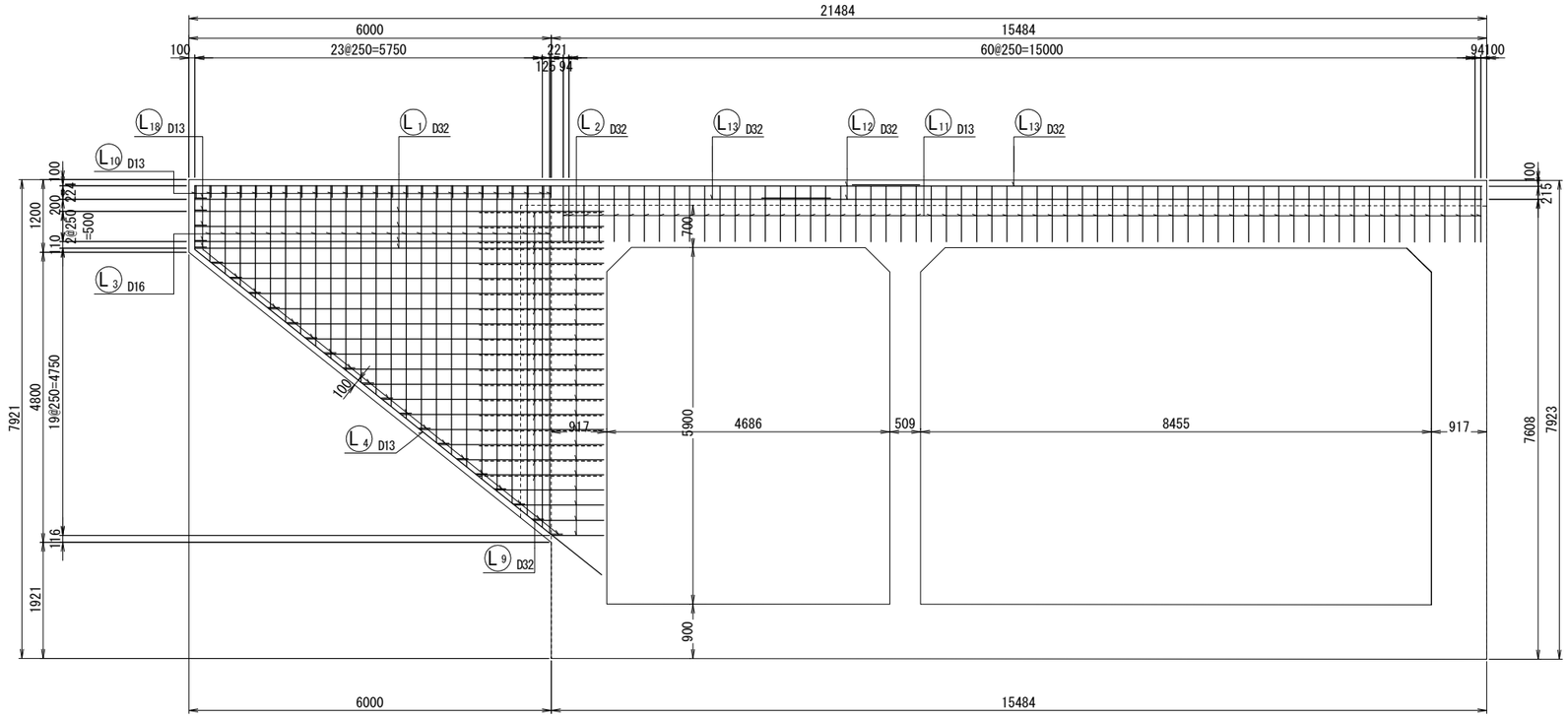
天端平面図(3-3)



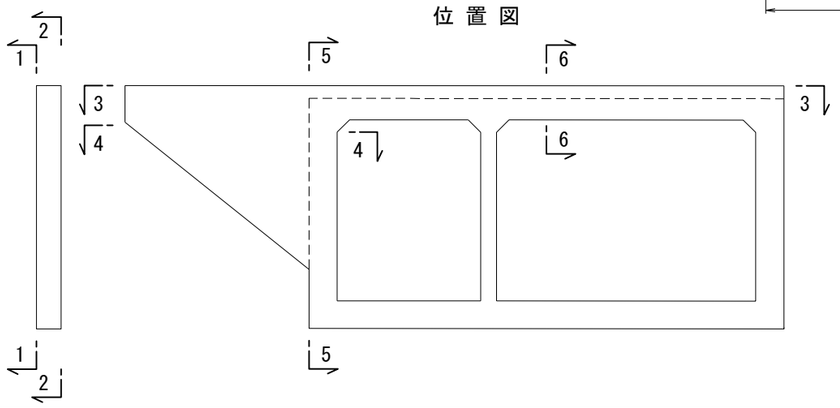
左翼壁断面図(5-5)



背面側正面図(1-1)



位置図



実　施

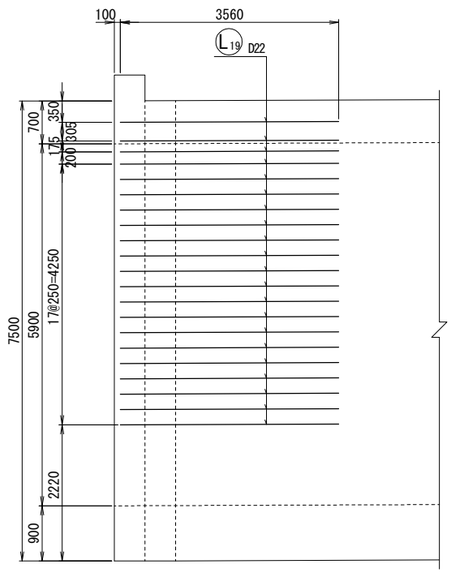
NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(10)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	37 / 55

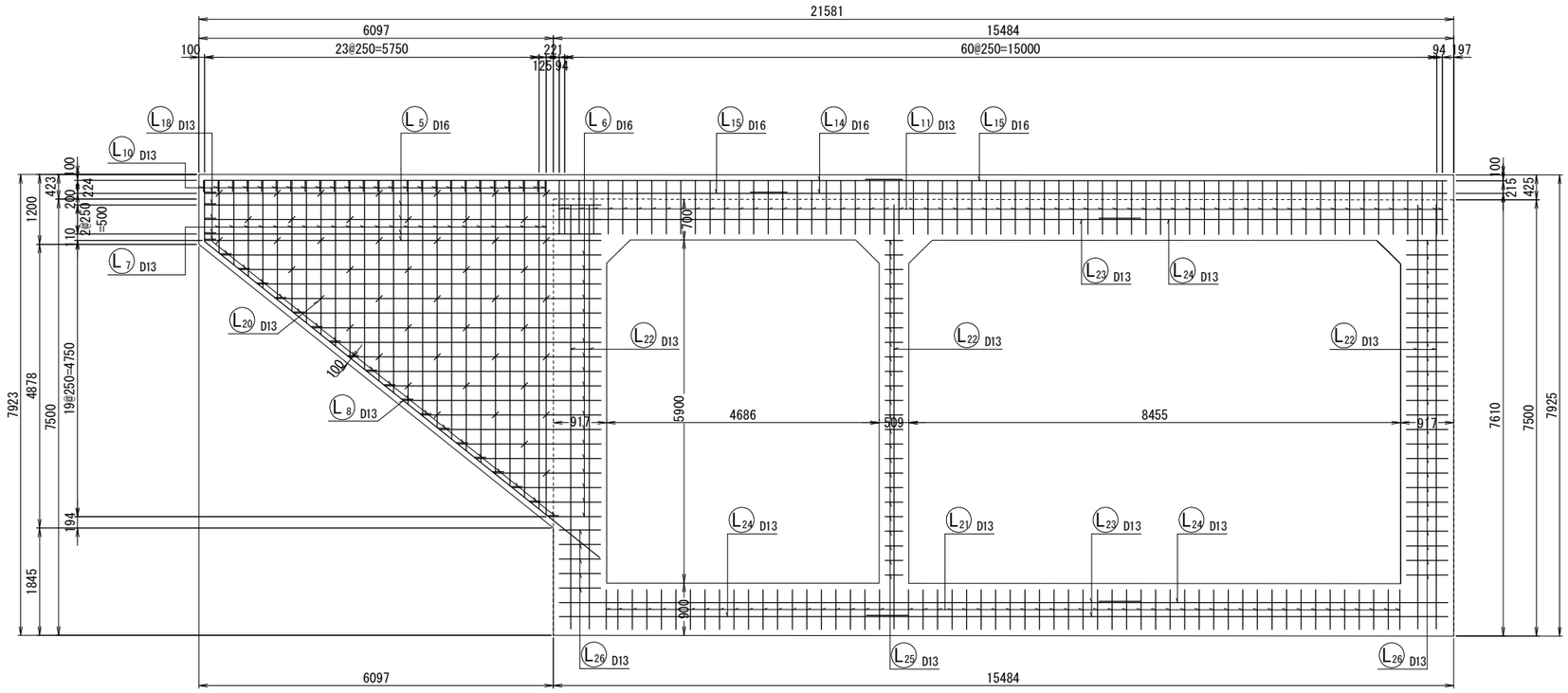
2号函渠工配筋図(11) S=1:50

(左口翼壁2/3)

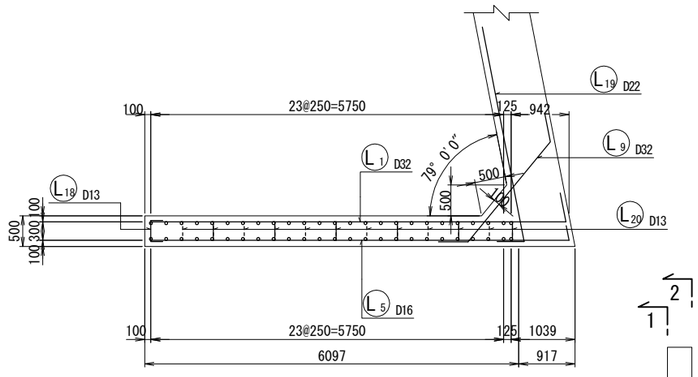
左補強筋側面図



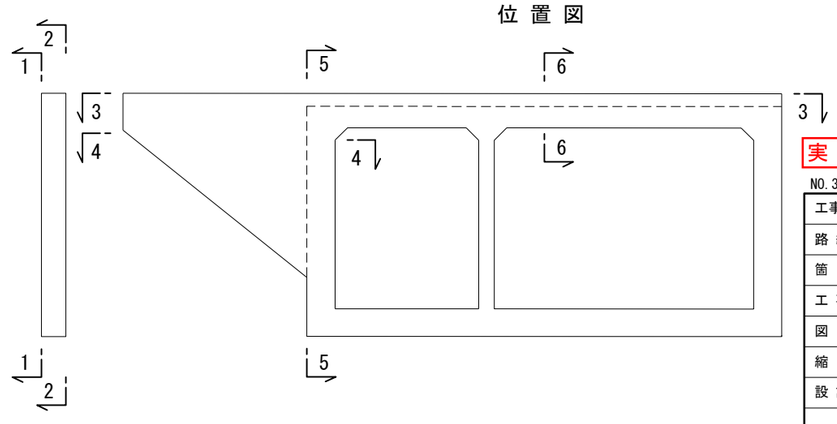
前面側正面図(2-2)



左翼壁平断面図(4-4)



位置図



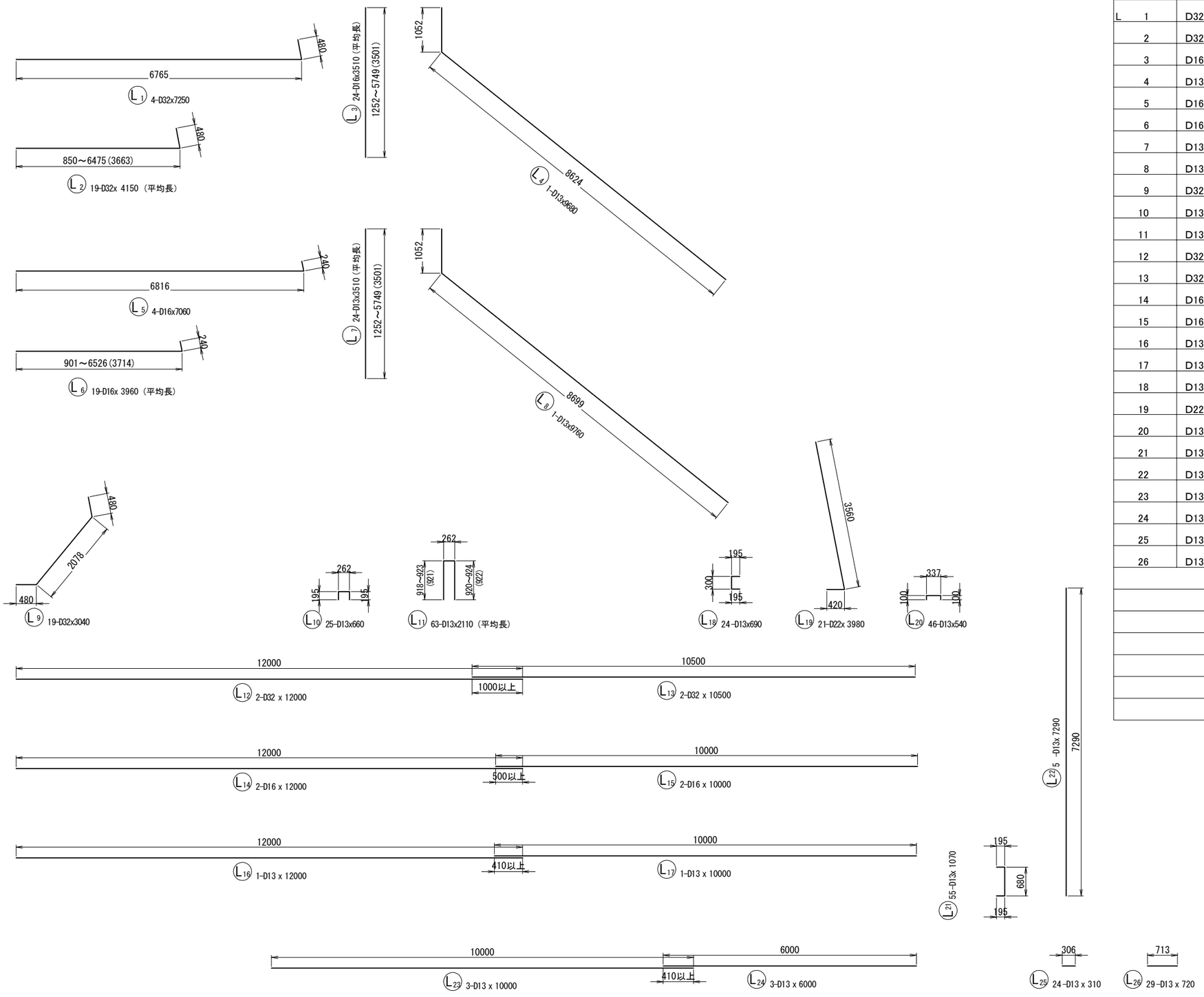
実　施

NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(11)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	38 / 55

2号函渠工配筋図(12) S=1:50

(左口翼壁3/3)



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
L 1	D32	7250	4	6.23	45.17	181	
2	D32	4150	19	6.23	25.85	491	(平均長)
3	D16	3510	24	1.56	5.48	132	(平均長)
4	D13	9680	1	0.995	9.63	10	
5	D16	7060	4	1.56	11.01	44	
6	D16	3960	19	1.56	6.18	117	(平均長)
7	D13	3510	24	0.995	3.49	84	(平均長)
8	D13	9760	1	0.995	9.71	10	
9	D32	3040	19	6.23	18.94	360	
10	D13	660	25	0.995	0.66	17	
11	D13	2110	63	0.995	2.10	132	(平均長)
12	D32	12000	2	6.23	74.76	150	
13	D32	10500	2	6.23	65.42	131	
14	D16	12000	2	1.56	18.72	37	
15	D16	10000	2	1.56	15.60	31	
16	D13	12000	1	0.995	11.94	12	
17	D13	10000	1	0.995	9.95	10	
18	D13	690	24	0.995	0.69	17	
19	D22	3980	21	3.04	12.10	254	
20	D13	540	46	0.995	0.54	25	
21	D13	1070	55	0.995	1.06	58	
22	D13	7290	5	0.995	7.25	36	
23	D13	10000	3	0.995	9.95	30	
24	D13	6000	3	0.995	5.97	18	
25	D13	310	24	0.995	0.31	7	
26	D13	720	29	0.995	0.72	21	
				D32	1313	kg	
				D22	254	kg	
				D16	361	kg	
				D13	487	kg	
			(SD345)	合計	2415	kg	

実　施

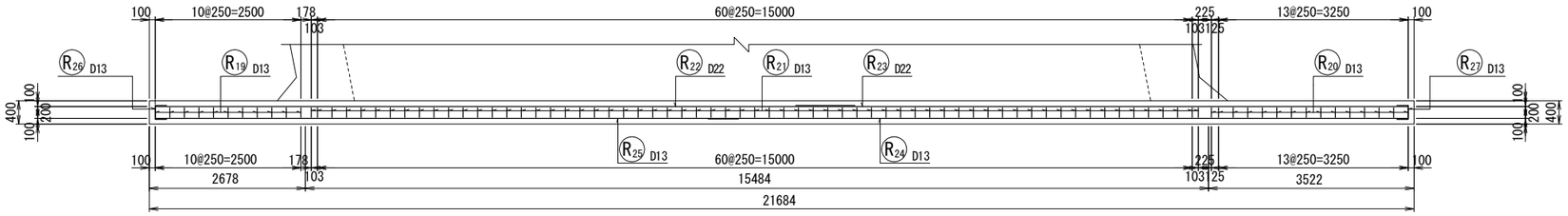
NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(12)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	39 / 55

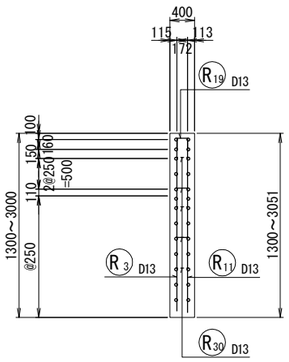
2号函渠工配筋図(13) S=1:50

(右口翼壁1/3)

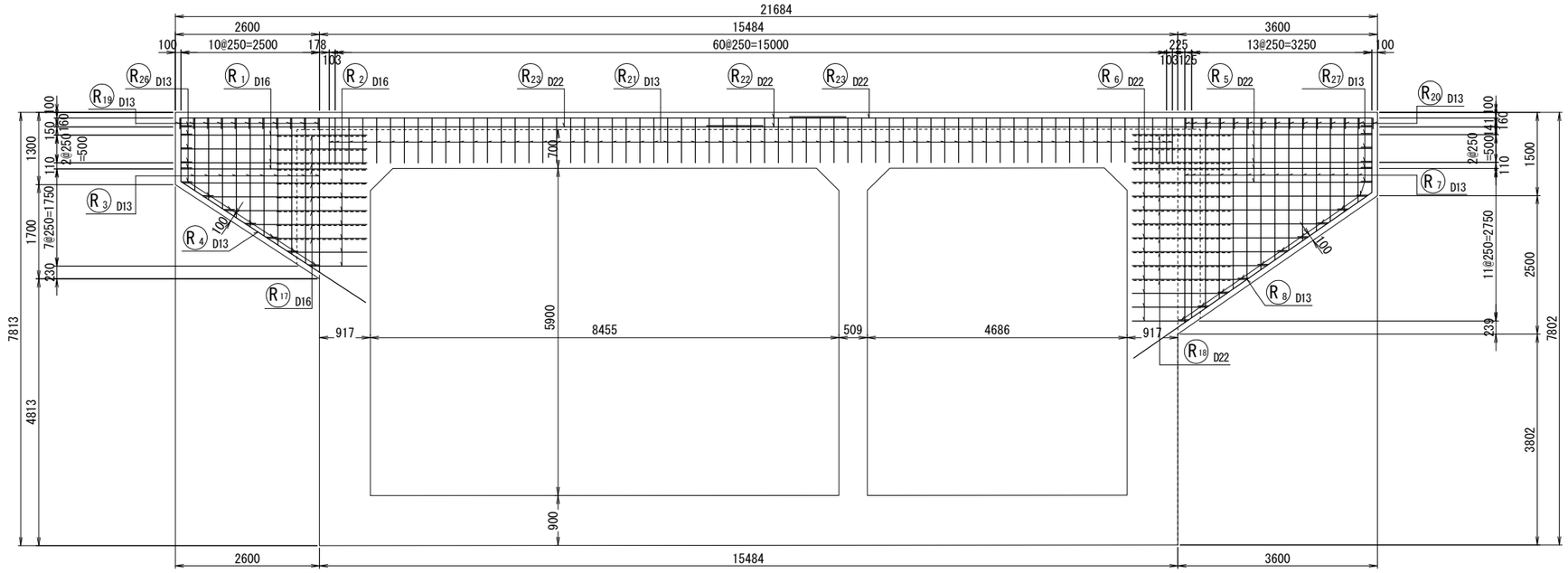
天端平面図(3-3)



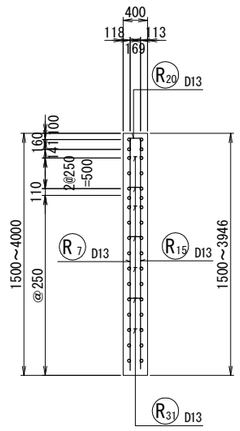
左翼壁断面図(5-5)



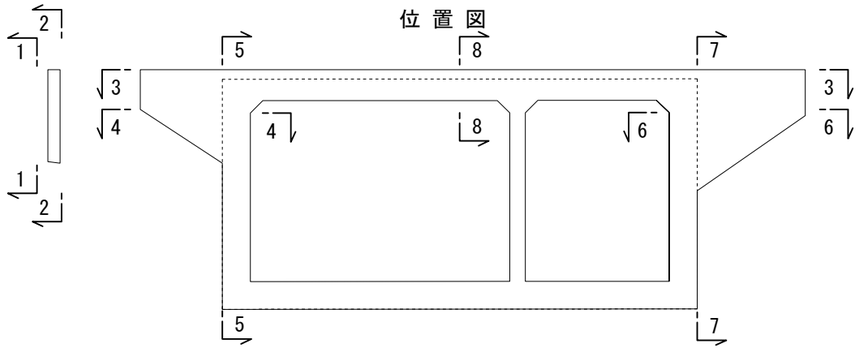
背面側正面図(1-1)



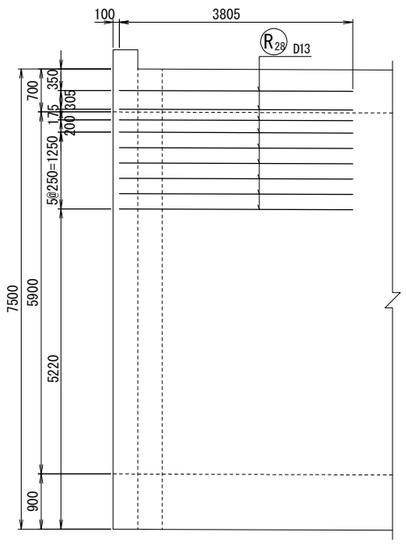
右翼壁断面図(7-7)



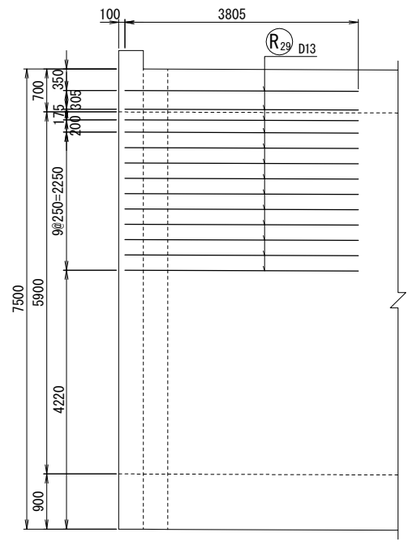
位置図



左補強筋側面図



右補強筋側面図



実　施

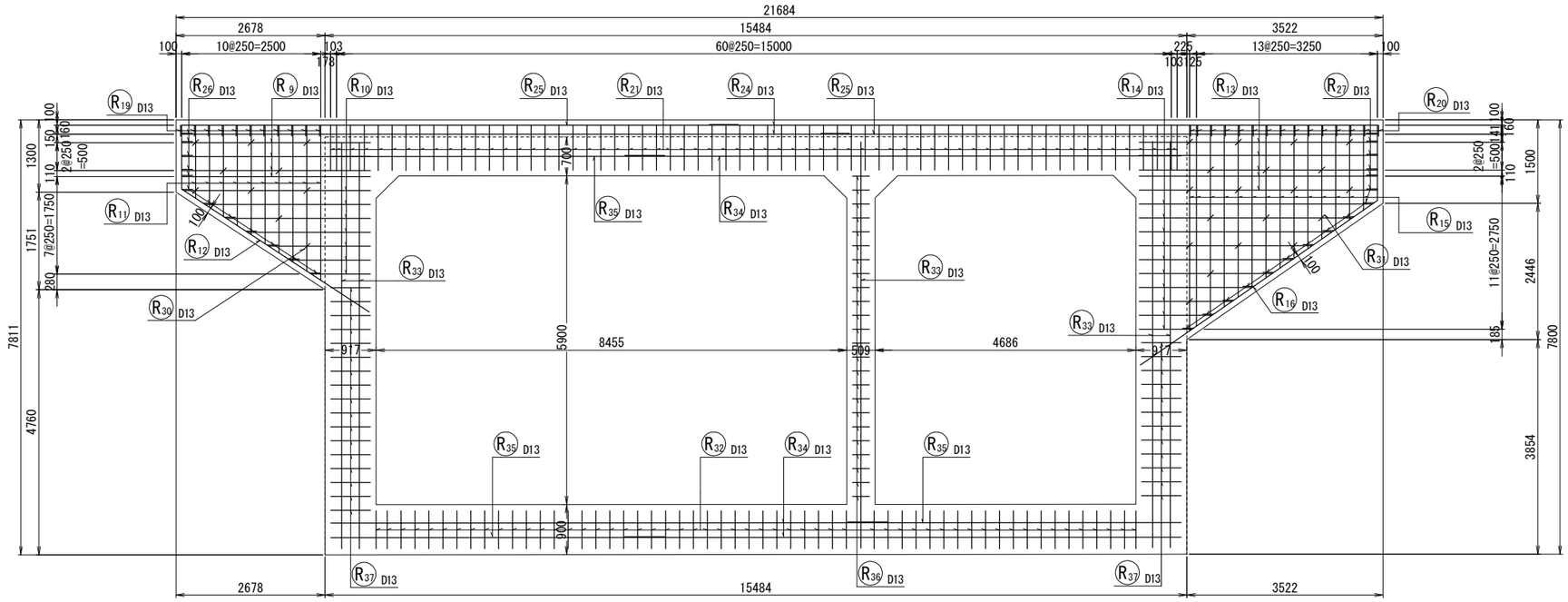
NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(13)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	40 / 55

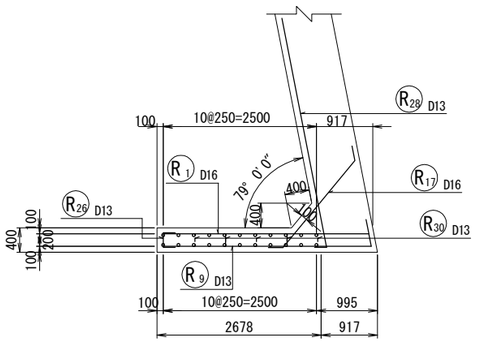
2号函渠工配筋図(14) S=1:50

(右口翼壁2/3)

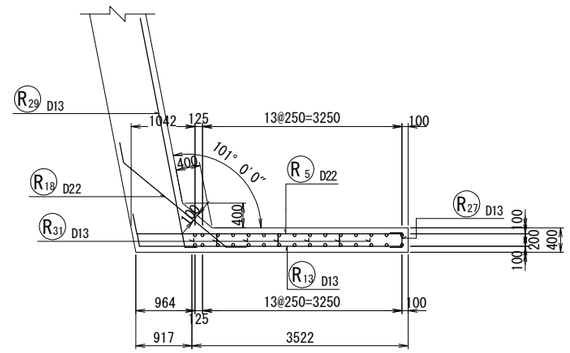
前面側正面図(2-2)



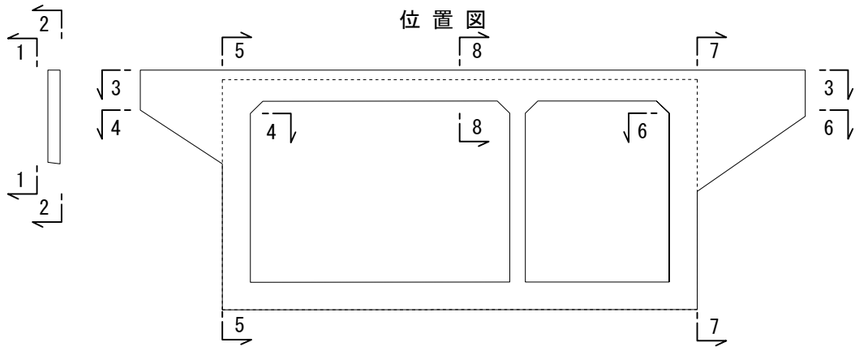
左翼壁平断面図(4-4)



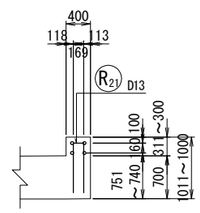
右翼壁平断面図(6-6)



位 置 図



土留壁断面図(8-8)



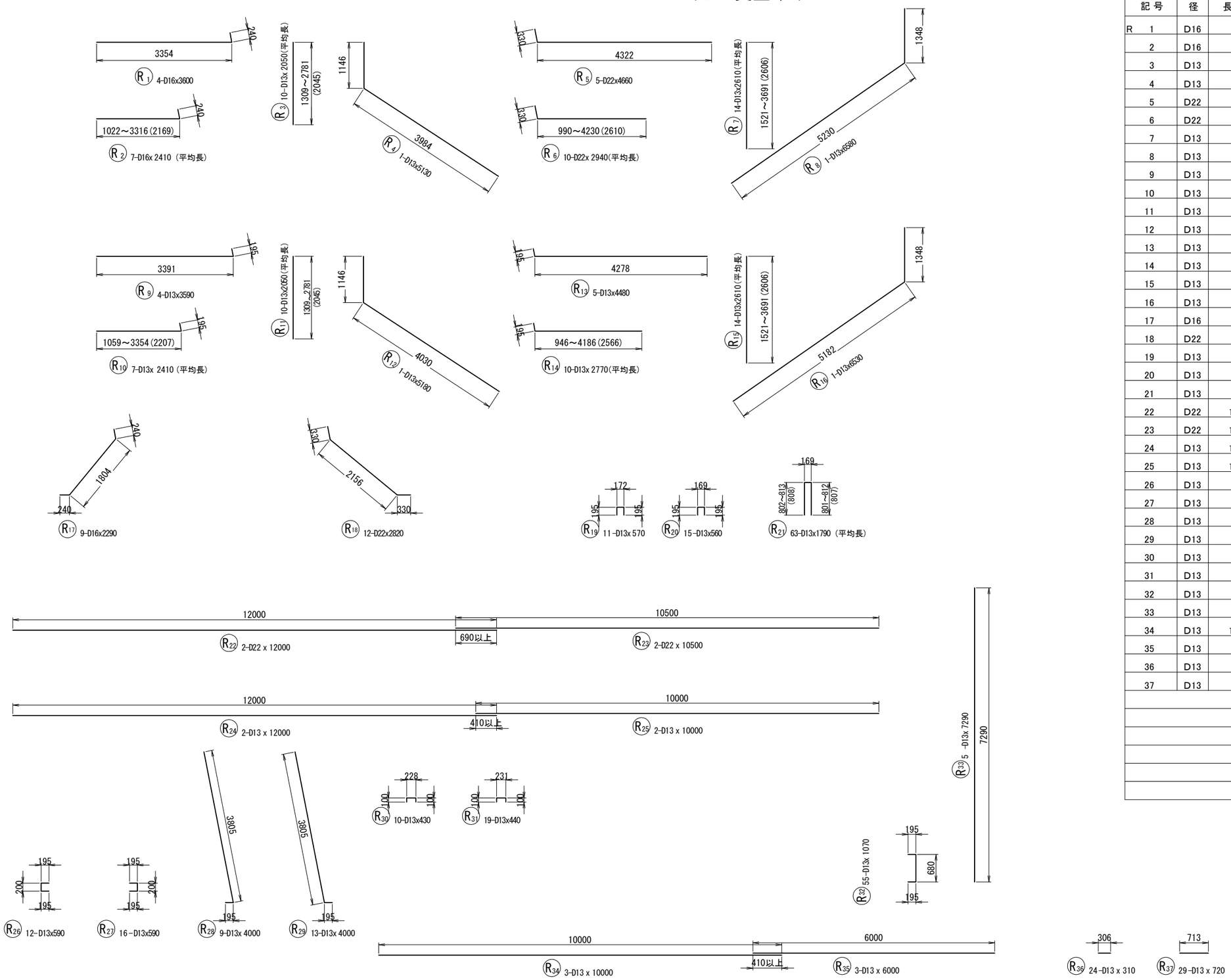
実 施

NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図 名	2号函渠工配筋図(14)		
縮 尺	1 : 50	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	41 / 55

2号函渠工配筋図(15) S=1:50

(右口翼壁3/3)



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
R 1	D16	3600	4	1.56	5.62	22	
2	D16	2410	7	1.56	3.76	26	(平均長)
3	D13	2050	10	0.995	2.04	20	(平均長)
4	D13	5130	1	0.995	5.10	5	
5	D22	4660	5	3.04	14.17	71	
6	D22	2940	10	3.04	8.94	89	(平均長)
7	D13	2610	14	0.995	2.60	36	(平均長)
8	D13	6580	1	0.995	6.55	7	
9	D13	3590	4	0.995	3.57	14	
10	D13	2410	7	0.995	2.40	17	(平均長)
11	D13	2050	10	0.995	2.04	20	(平均長)
12	D13	5180	1	0.995	5.15	5	
13	D13	4480	5	0.995	4.46	22	
14	D13	2770	10	0.995	2.76	28	(平均長)
15	D13	2610	14	0.995	2.60	36	(平均長)
16	D13	6530	1	0.995	6.50	7	
17	D16	2290	9	1.56	3.57	32	
18	D22	2820	12	3.04	8.57	103	
19	D13	570	11	0.995	0.57	6	
20	D13	560	15	0.995	0.56	8	
21	D13	1790	63	0.995	1.78	112	(平均長)
22	D22	12000	2	3.04	36.48	73	
23	D22	10500	2	3.04	31.92	64	
24	D13	12000	2	0.995	11.94	24	
25	D13	10000	2	0.995	9.95	20	
26	D13	590	12	0.995	0.59	7	
27	D13	590	16	0.995	0.59	9	
28	D13	4000	9	0.995	3.98	36	
29	D13	4000	13	0.995	3.98	52	
30	D13	430	10	0.995	0.43	4	
31	D13	440	19	0.995	0.44	8	
32	D13	1070	55	0.995	1.06	58	
33	D13	7290	5	0.995	7.25	36	
34	D13	10000	3	0.995	9.95	30	
35	D13	6000	3	0.995	5.97	18	
36	D13	310	24	0.995	0.31	7	
37	D13	720	29	0.995	0.72	21	
				D22	400 kg		
				D16	80 kg		
				D13	673 kg		
			(SD345)	合計	1153 kg		

実　施

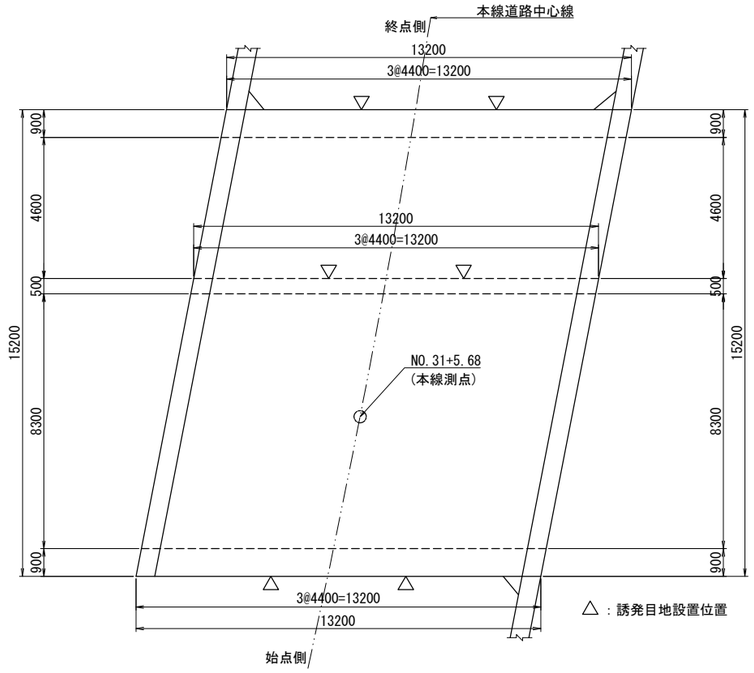
NO.31+5.68

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやざ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやざ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	2号函渠工配筋図(15)		
縮尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	42 / 55

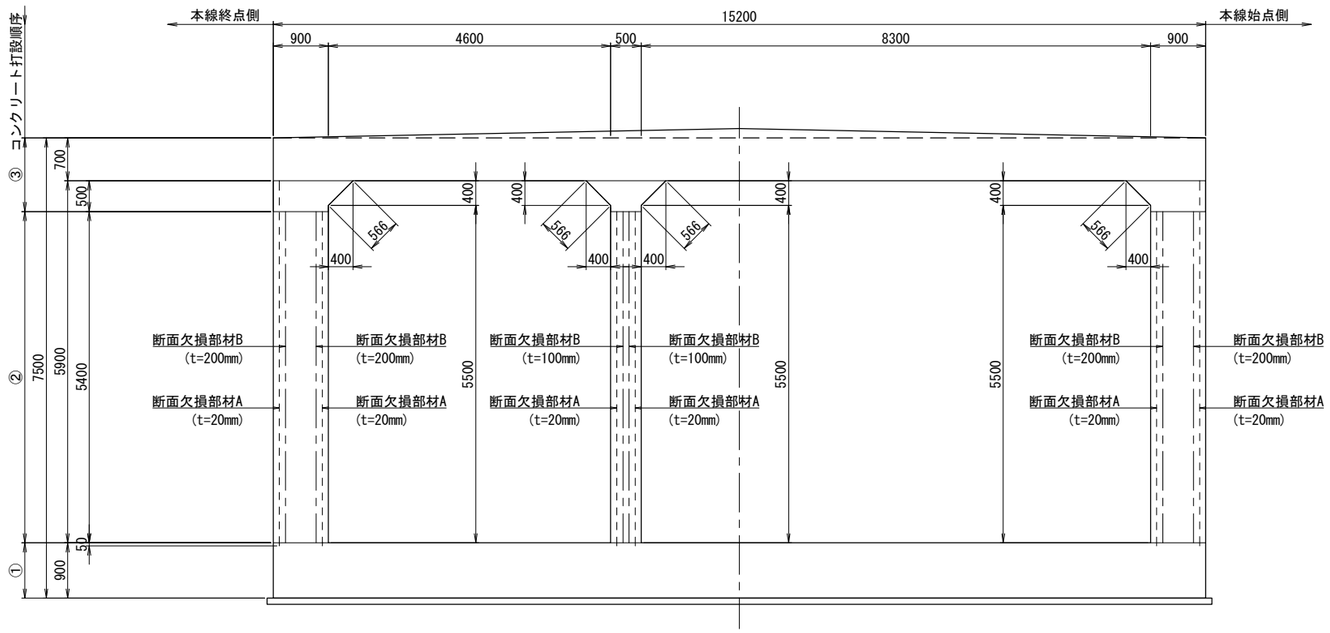
ひび割れ誘発目地計画図(参考図)

(NO.31+5.68)

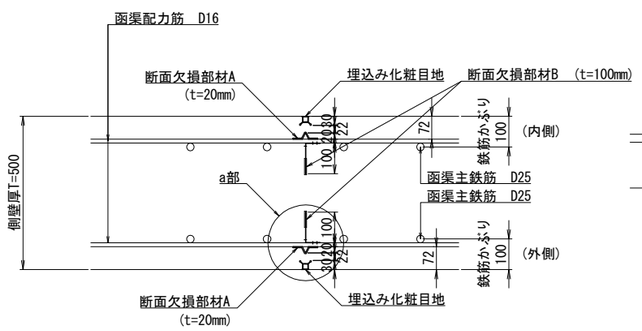
配置平面図 (S=1:100)



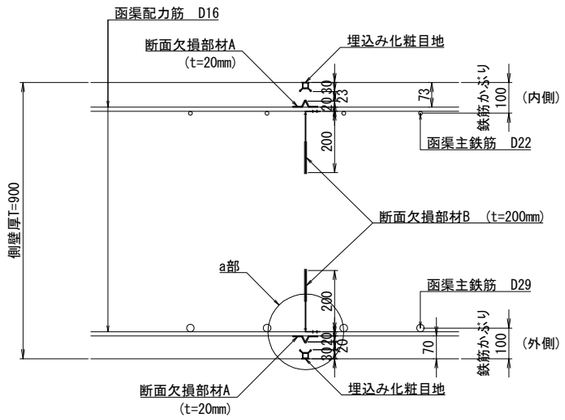
断　面　図 (S=1:50)



側壁部水平断面図 (S=1:10)

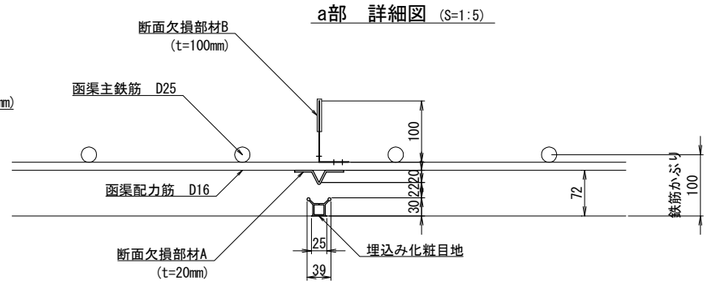


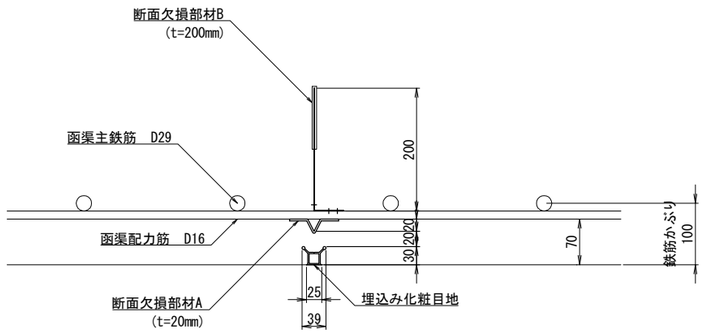
※断面欠損率=((30*2+20*2+100*2)/600)*100
=60%＞50%程度･･･OK



※断面欠損率=((30*2+20*2+200*2)/900)*100
=56%＞50%程度･･･OK

a部　詳細図 (S=1:5)

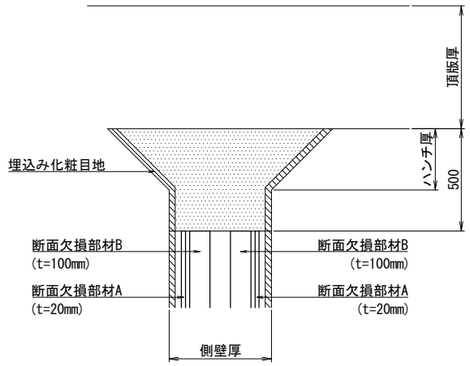


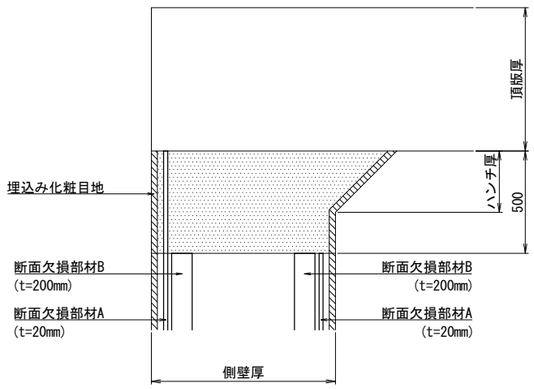


数量表(m)

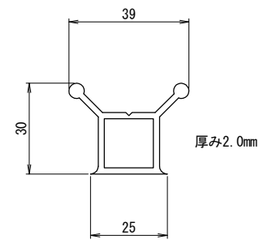
部　材　名	1箇所当り (m)	箇所数 (箇所)	総数量 (m)
断面欠損部材A･中壁部 (t=20mm)	10.900	2	21.800
断面欠損部材A･側壁部 (t=20mm)	11.400	4	45.600
断面欠損部材B (t=100mm)	10.800	2	21.600
断面欠損部材B (t=200mm)	10.800	4	43.200
埋込み化粧目地･中壁部	12.132	2	24.264
埋込み化粧目地･側壁部	11.966	4	47.864

ハンチ部地詳細図 (S=1:15)





埋込み化粧目地詳細図 (S=1:1)



材質：特殊硬質塩化ビニル樹脂

注1) 断面欠損率は50%程度以上とすること。

注2) 本図はおける誘発目地設置間隔は部材高の2倍もしくは5mのうち小さい値以下として作図したものである。

注3) ひび割れの発生条件は、構造物の寸法、鉄筋量、打込み温度、打込み方法等、施工時の条件により大きく影響されるため、施工時には、これら条件を勘案し、適切な誘発目地を検討すること。

注4) 側壁コンクリートの1回目打設高は頂版下面より500mmの位置と仮定し、作図している。
図中用心鉄筋設置範囲には、ひび割れを頂版に発生させないため用心鉄筋を配置するのが望ましい。
施工においては、実際の打ち込み計画に合わせコンクリートの充填性が確保される範囲内で必要鉄筋比0.6%以上となるよう、用心鉄筋を配置すること。

※ 図中の電柱移設箇所については、関係機関と協議の上決定する事。

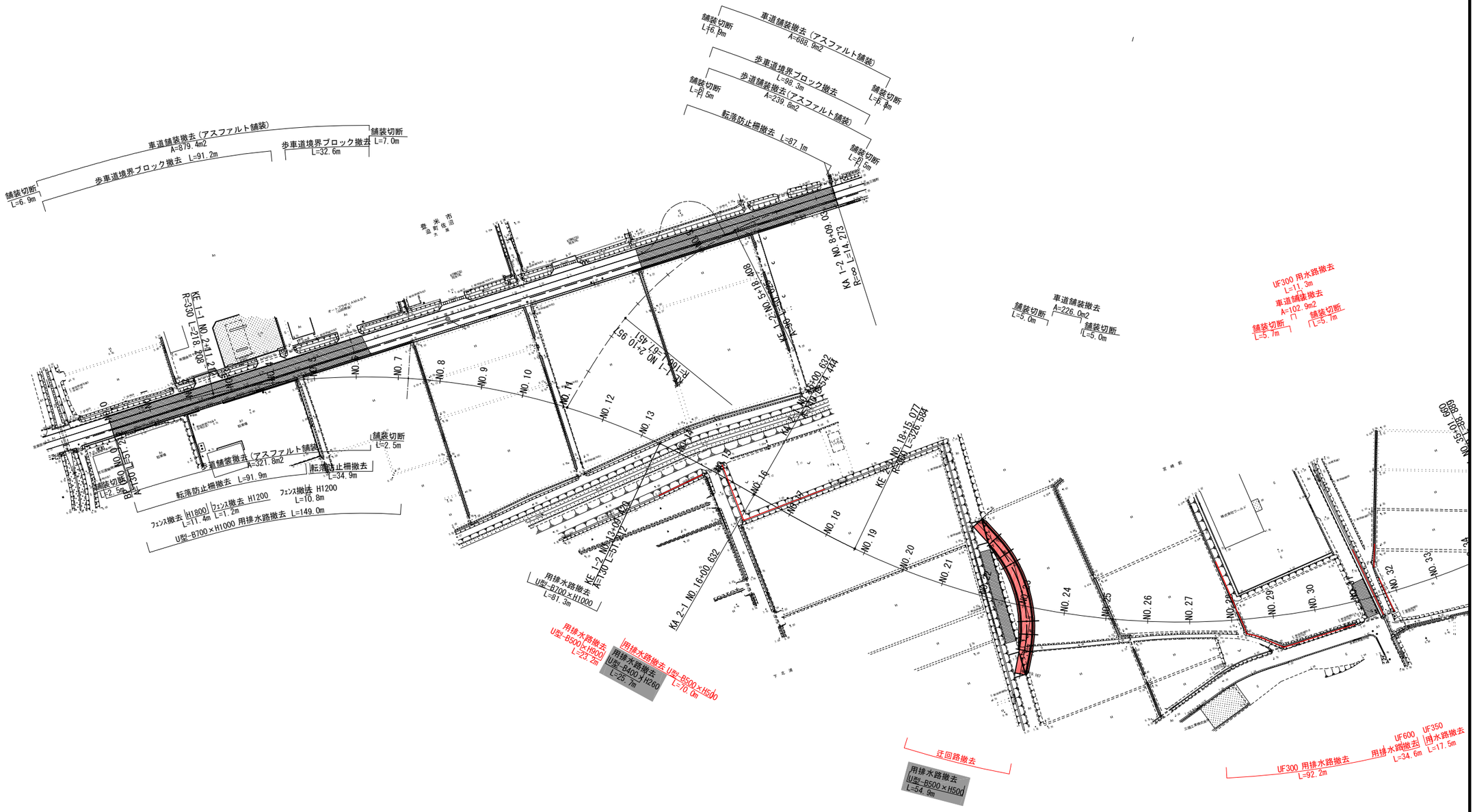
NO.31+5.68

実　施

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	ひび割れ誘発目地計画図(参考図)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	43 / 55

撤 去 平 面 図 (1)

S=1:1000

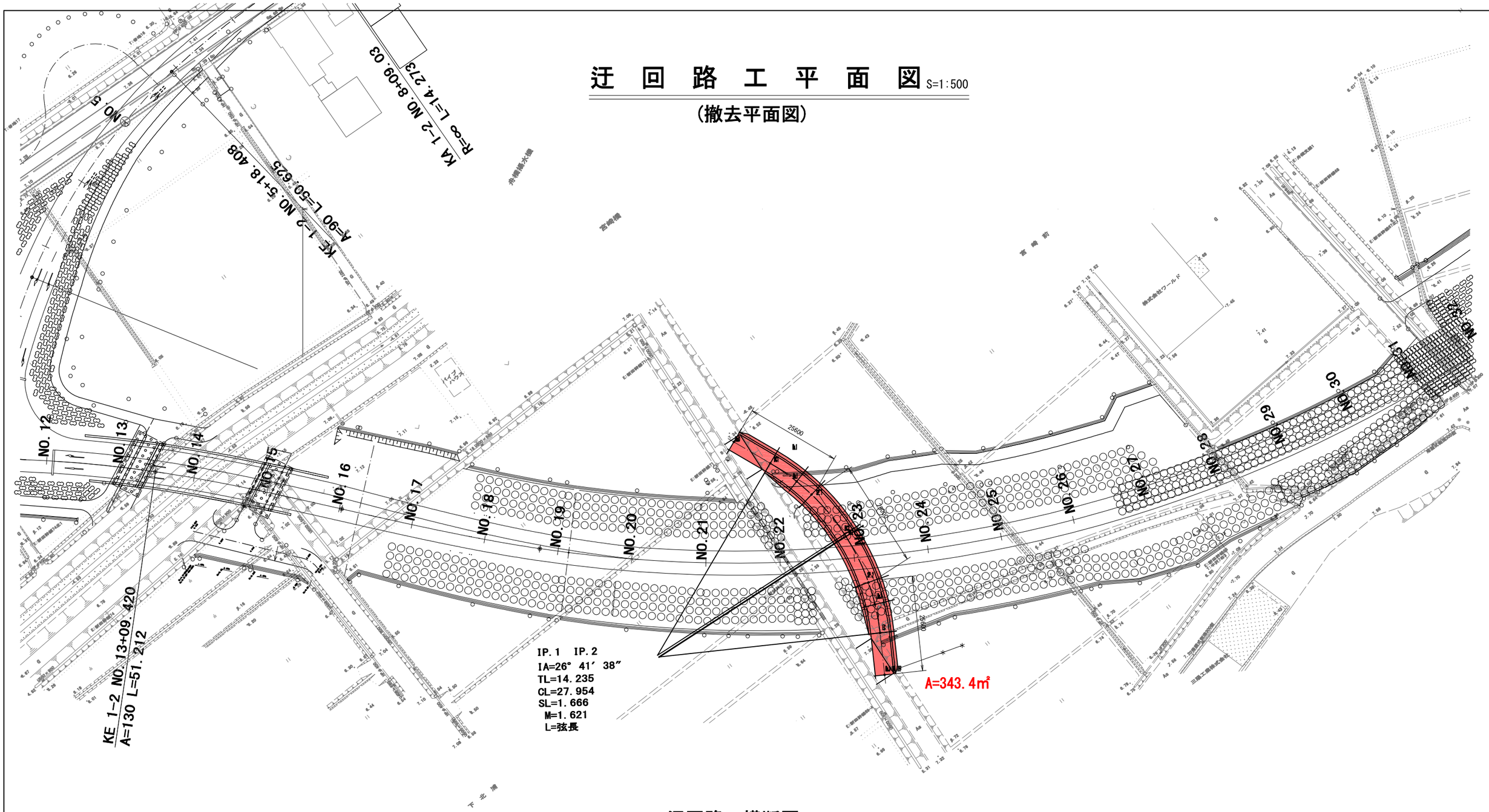


実 施

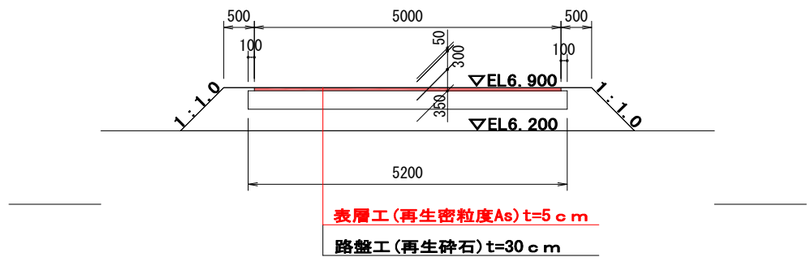
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図 名	撤去平面図(1)		
縮 尺	1 : 1000	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	44 / 55

迂 回 路 工 平 面 図 S=1:500

（撤去平面図）



迂回路工横断図 S=1:50

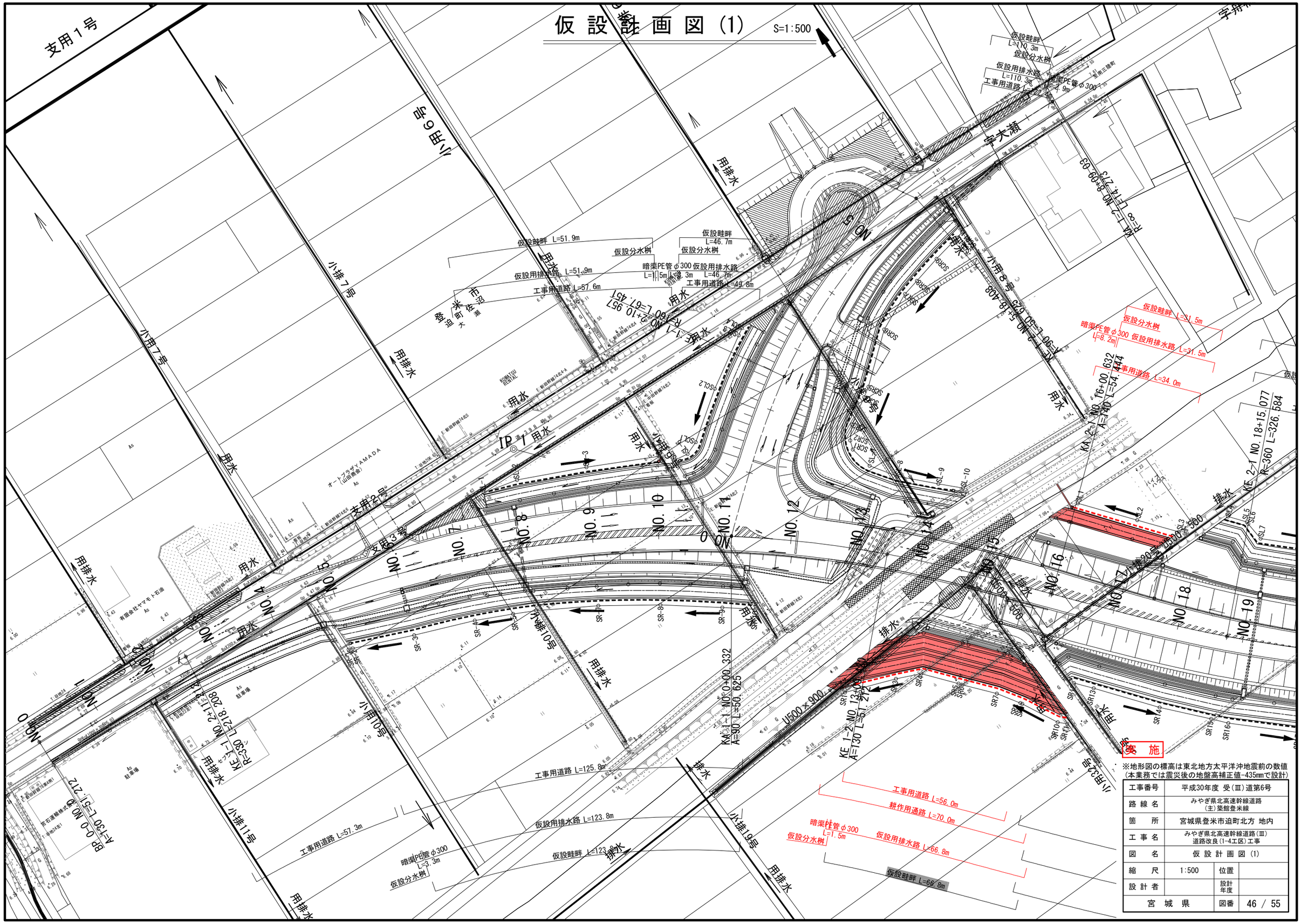


実　施

工事番号	平成30年度 受（Ⅲ）道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇　所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）道路改良（1-4工区）工事		
図　名	迂回路工平面図		
縮　尺	1：500	位置	
設 計 者		設計年度	
宮　城　県		図番	45 / 55

仮設計画図（1）

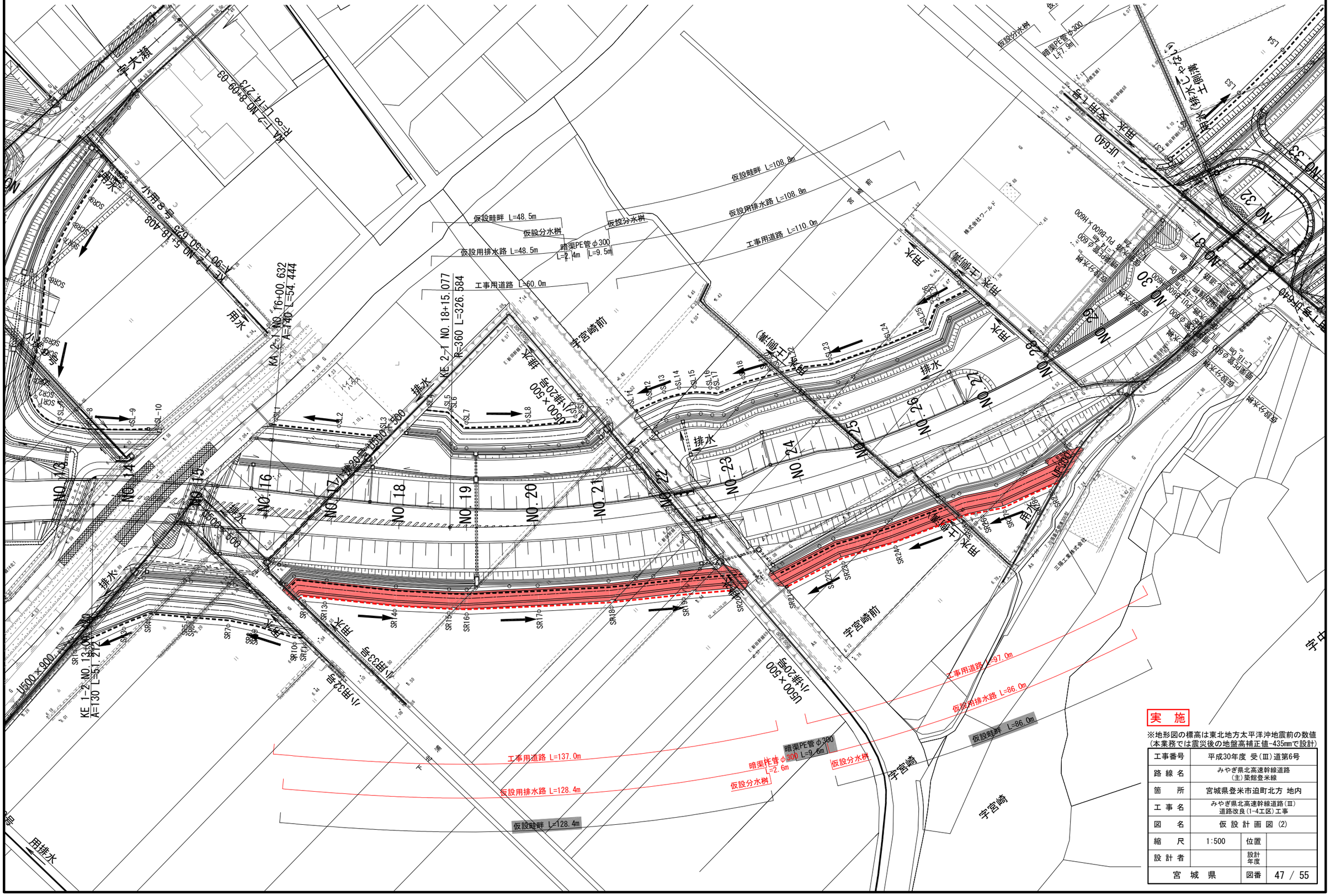
S=1:500



※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	平成30年度 受（Ⅲ）道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）道路改良（1-4工区）工事		
図名	仮設計画図（1）		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	46 / 55

仮 設 計 画 図 (2)　S=1:500

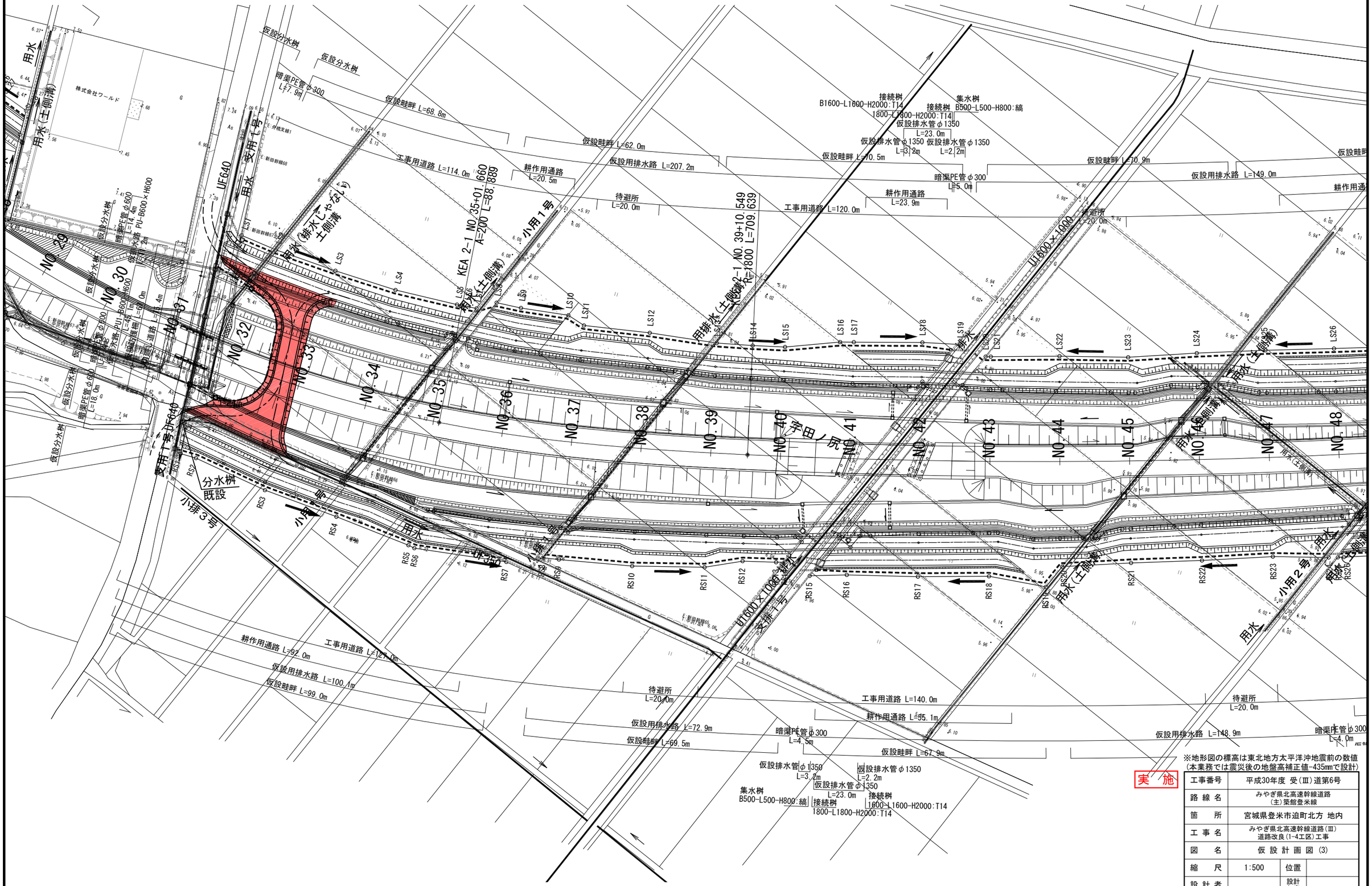


実　施

※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	仮 設 計 画 図 (2)		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮 城 県		図番	47 / 55

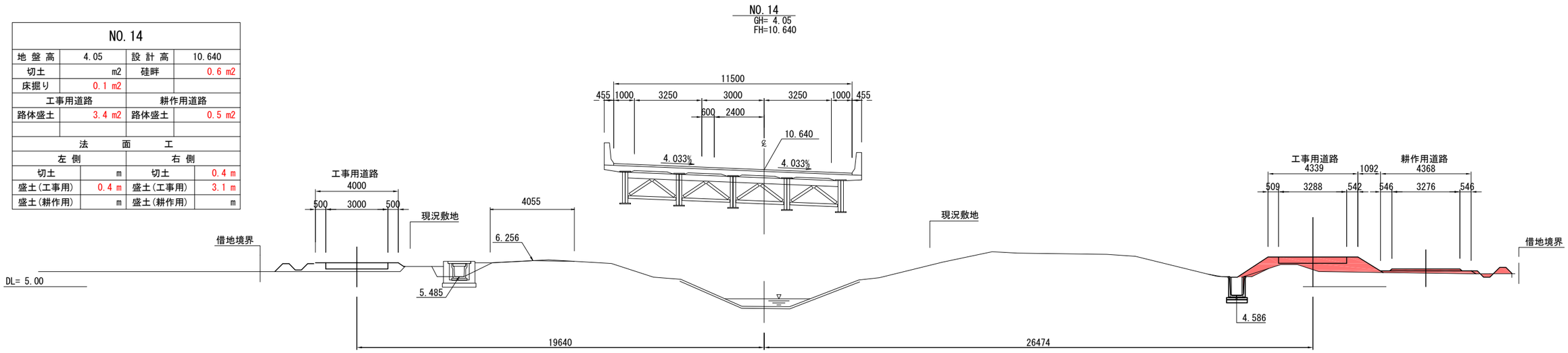
仮 設 計 画 図 (3)　S=1:500



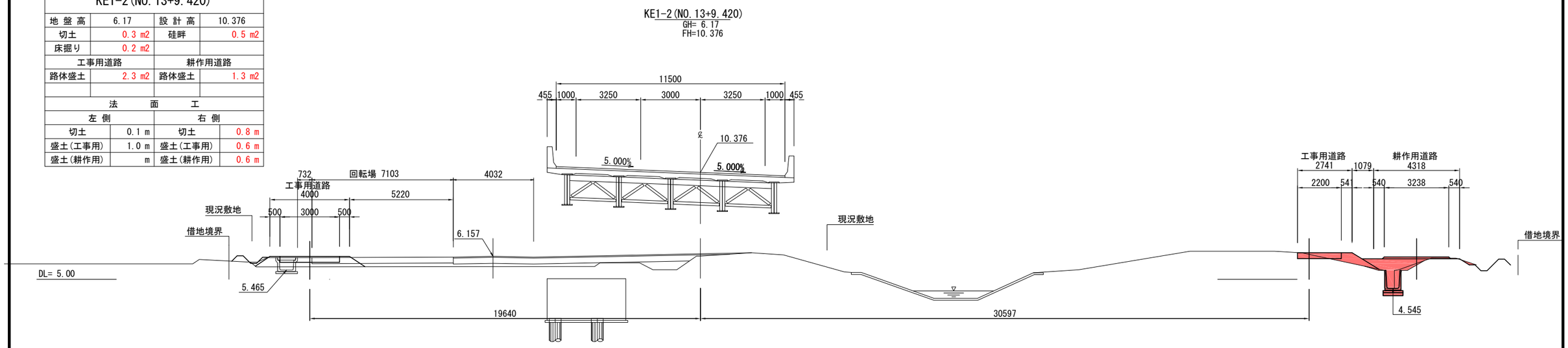
※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	仮 設 計 画 図 (3)		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮 城 県		図番	48 / 55

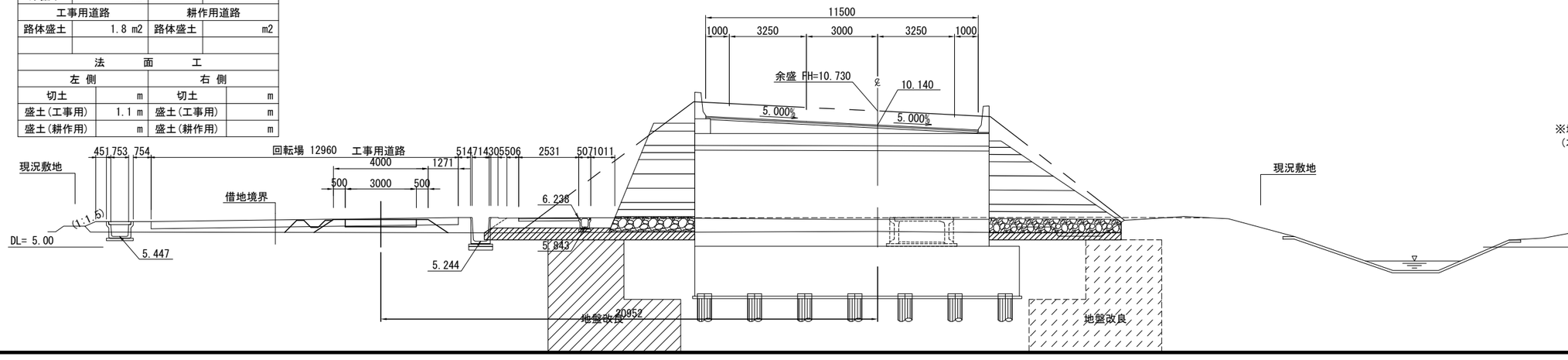
NO.14			
地 盤 高	4.05	設 計 高	10.640
切土	m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	3.4 m2	路体盛土	0.5 m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	0.4 m	盛土(工事用)	3.1 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m



KE1-2(NO.13+9.420)			
地 盤 高	6.17	設 計 高	10.376
切土	0.3 m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.3 m2	路体盛土	1.3 m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.1 m	切土	0.8 m
盛土(工事用)	1.0 m	盛土(工事用)	0.6 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	0.6 m



NO.13			
地 盤 高	5.66	設 計 高	10.140
切土	m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	1.8 m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	m	切土	m
盛土(工事用)	1.1 m	盛土(工事用)	m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

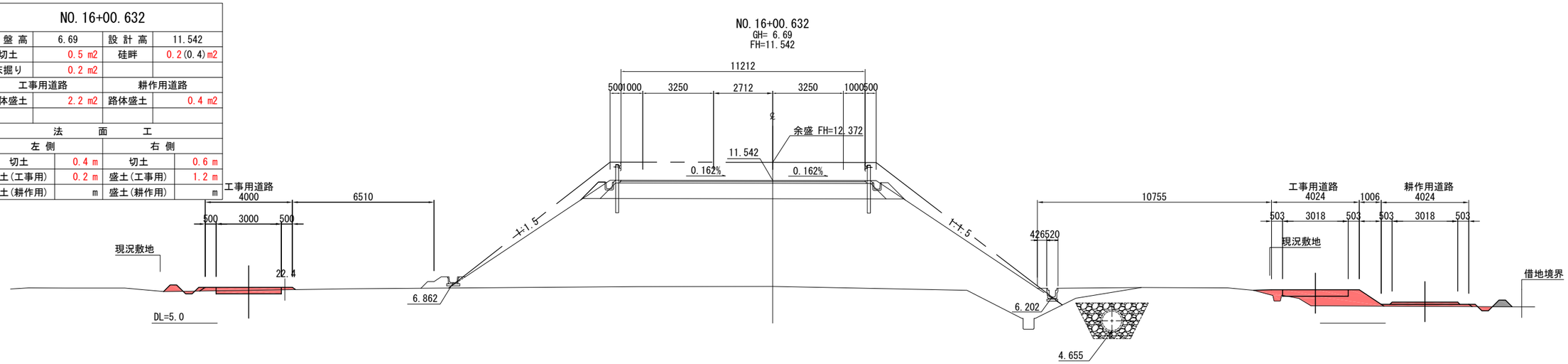


実 施

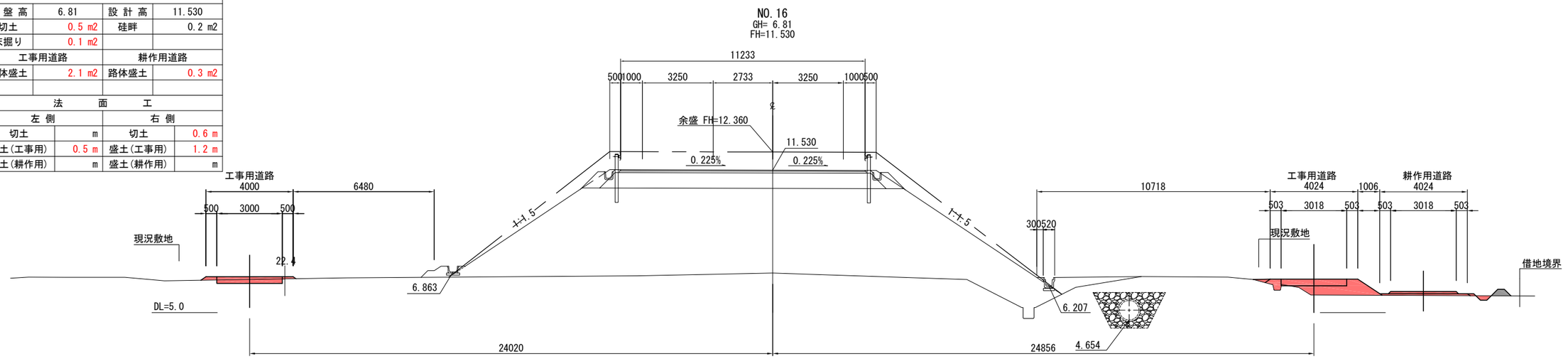
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図 名	仮設横断図(本線)(5)		
縮 尺	1 : 100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	49 / 55

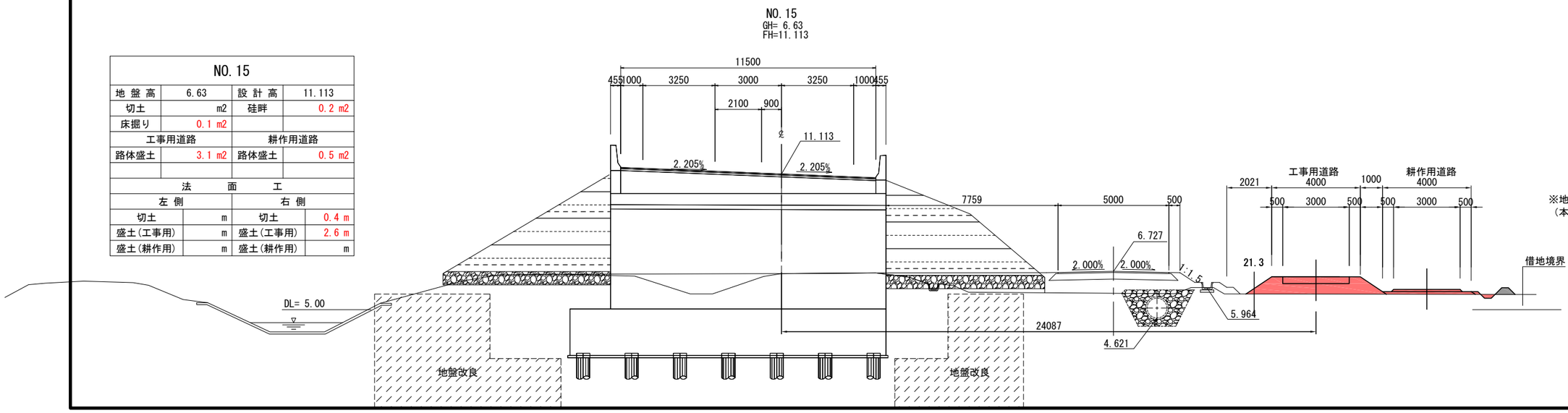
NO.16+00.632			
地盤高	6.69	設計高	11.542
切土	0.5 m2	硅畔	0.2(0.4)m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.2 m2	路体盛土	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	0.6 m
盛土(工事用)	0.2 m	盛土(工事用)	1.2 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m



NO.16			
地盤高	6.81	設計高	11.530
切土	0.5 m2	硅畔	0.2 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.1 m2	路体盛土	0.3 m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	0.6 m
盛土(工事用)	0.5 m	盛土(工事用)	1.2 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m



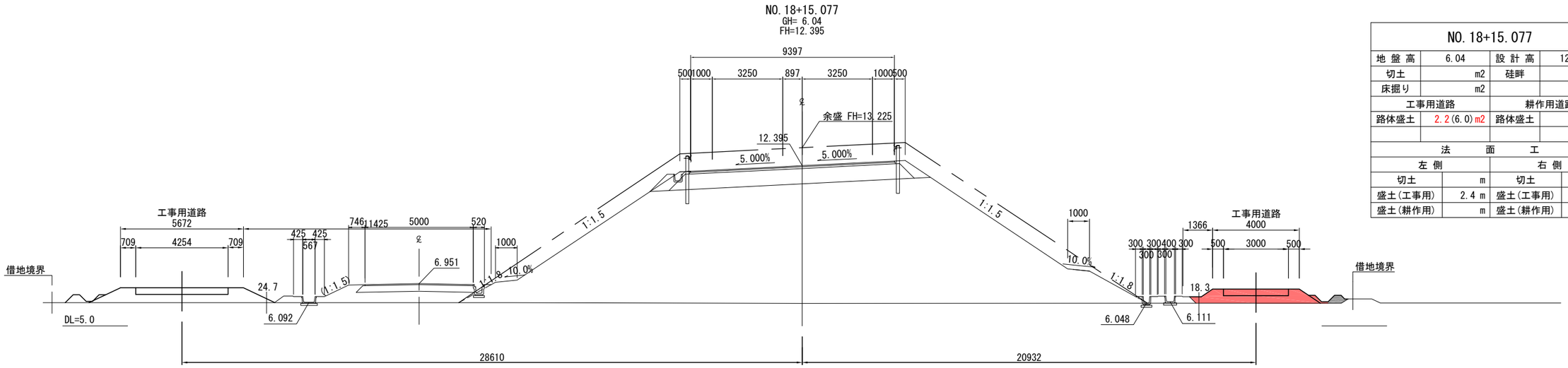
NO.15			
地盤高	6.63	設計高	11.113
切土	m2	硅畔	0.2 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	3.1 m2	路体盛土	0.5 m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	m	盛土(工事用)	2.6 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m



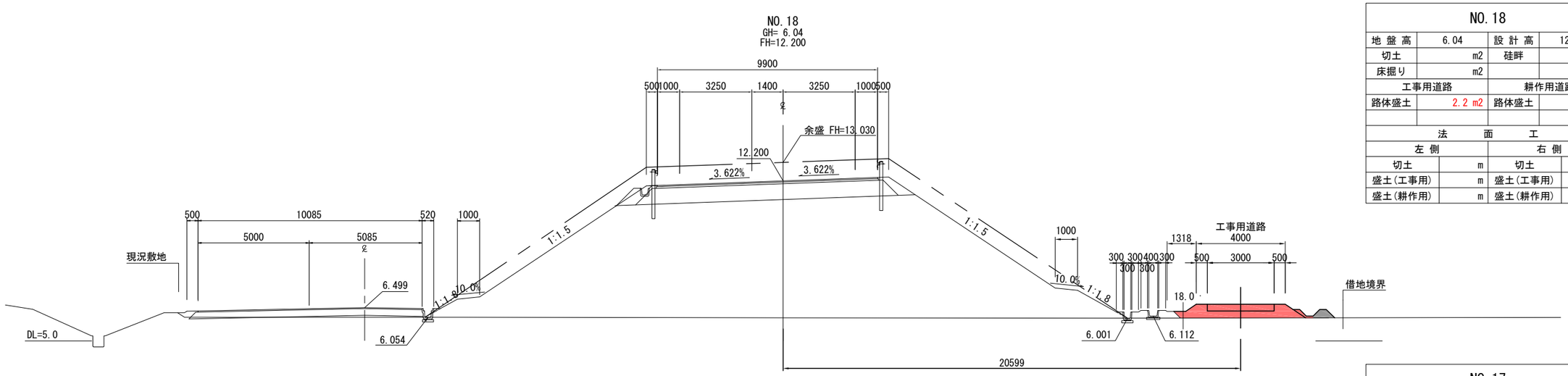
実　施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

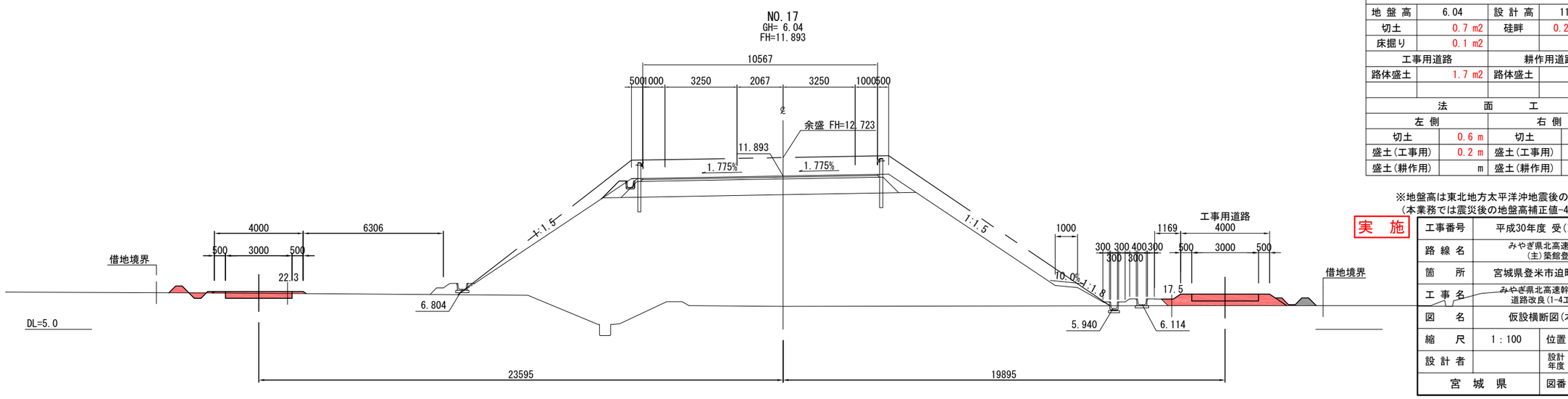
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(I-4工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(6)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	50 / 55



NO.18+15.077			
地盤高	6.04	設計高	12.395
切土	m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.2(6.0)m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土(工事用)	2.4 m	盛土(工事用)	1.1 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m



NO.18			
地盤高	6.04	設計高	12.200
切土	m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.2 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土(工事用)	m	盛土(工事用)	1.0 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

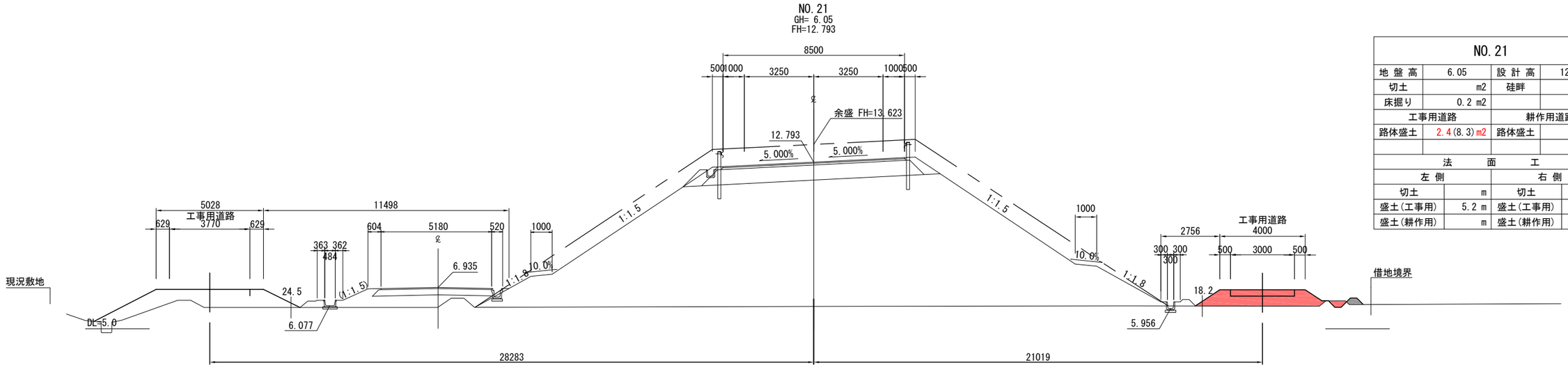


NO.17			
地盤高	6.04	設計高	11.893
切土	0.7 m2	硅畔	0.2(0.5)m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	1.7 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	m
盛土(工事用)	0.2 m	盛土(工事用)	0.7 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

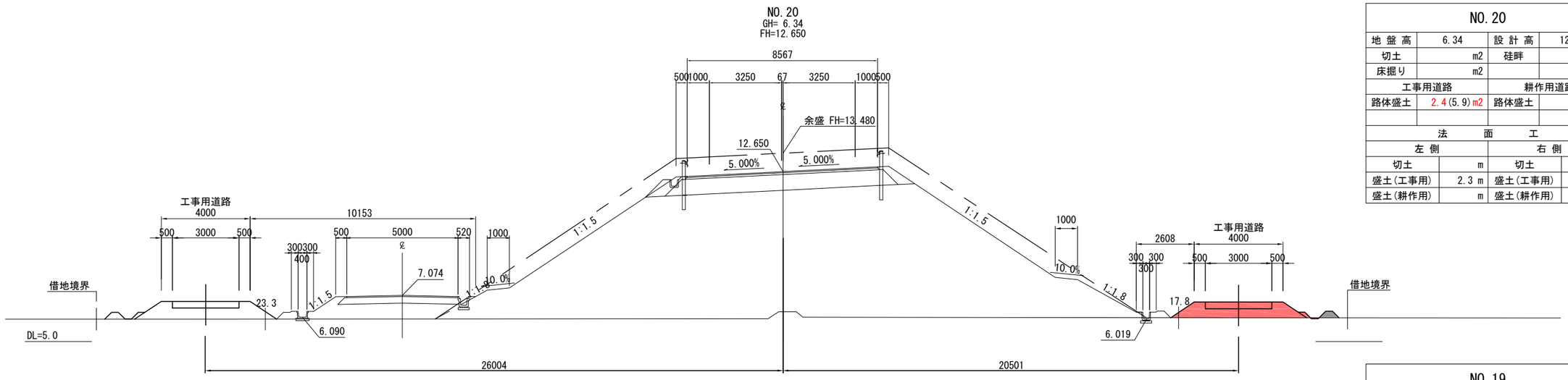
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

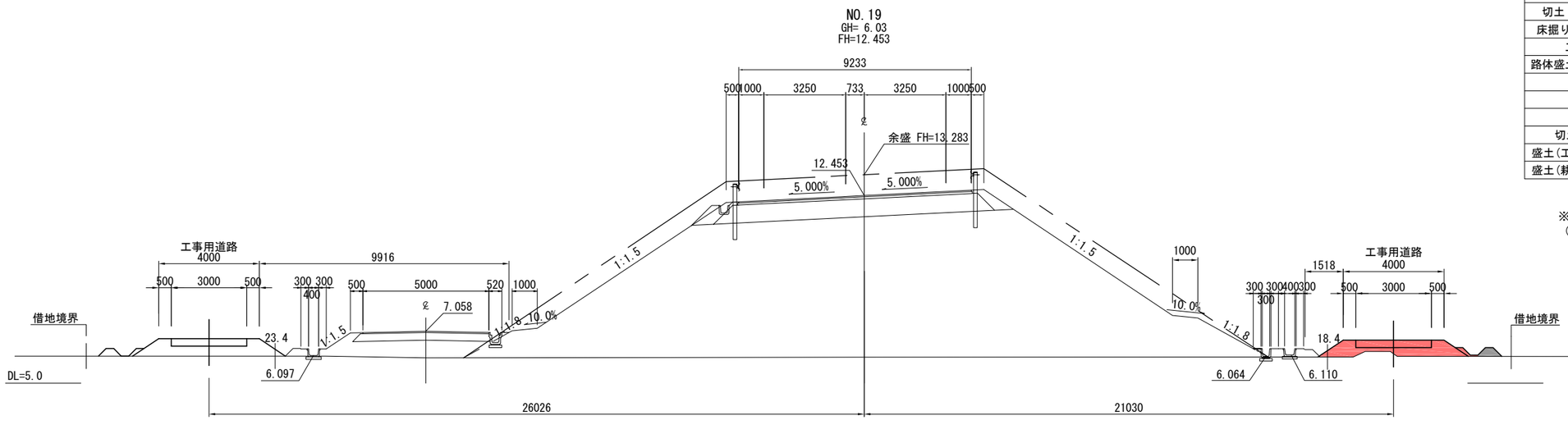
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(7)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	51 / 55



NO.21			
地 盤 高	6.05	設 計 高	12.793
切土	m2	硅畔	0.2 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.4(8.3)m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	m	切土	0.8 m
盛土(工事用)	5.2 m	盛土(工事用)	2.3 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m



NO.20			
地 盤 高	6.34	設 計 高	12.650
切土	m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.4(5.9)m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	2.3 m	盛土(工事用)	2.1 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m



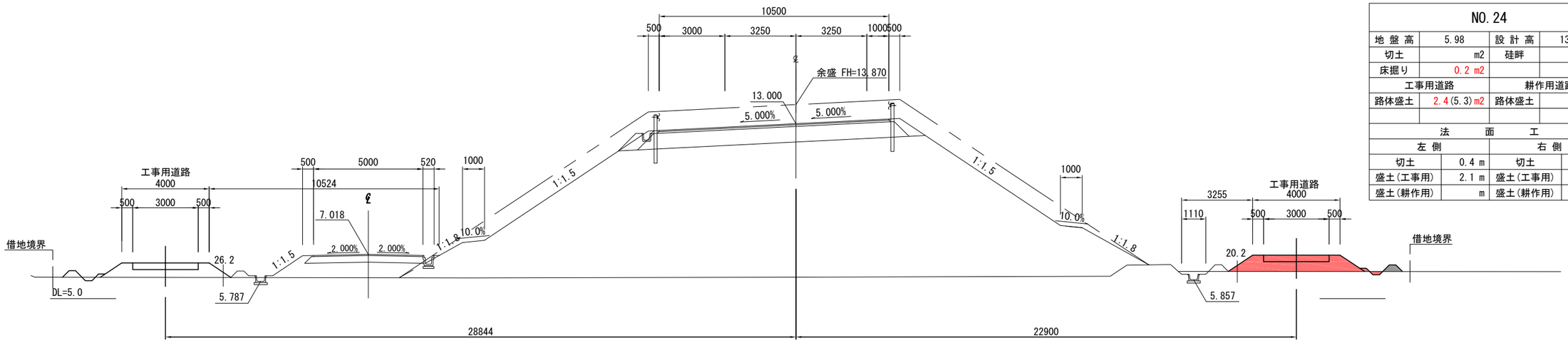
NO.19			
地 盤 高	6.03	設 計 高	12.453
切土	m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.2(4.7)m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	m	切土	m
盛土(工事用)	1.9 m	盛土(工事用)	1.7 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

実 施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

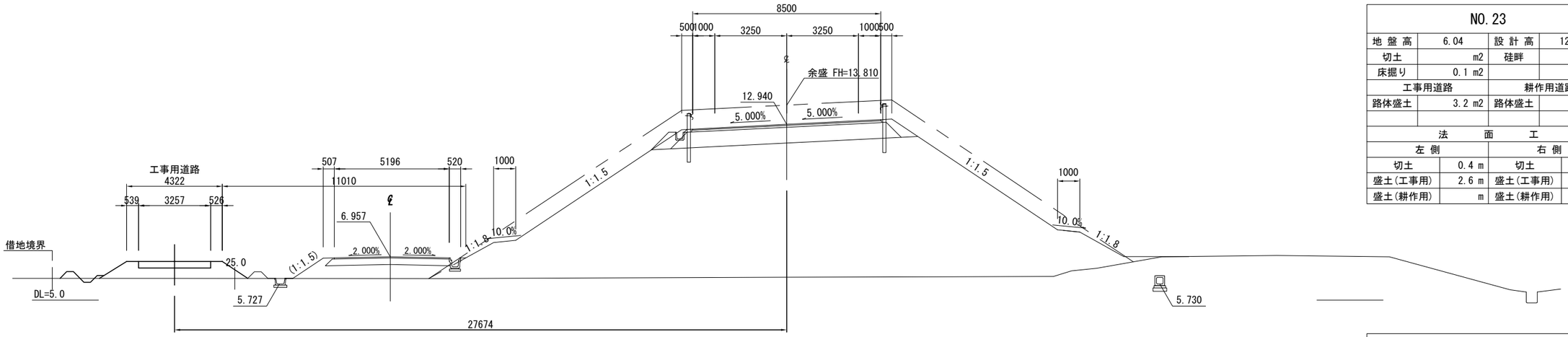
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(I-4工区)工事		
図 名	仮設横断図(本線)(8)		
縮 尺	1 : 100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	52 / 55

NO.24
GH= 5.98
FH=13.000



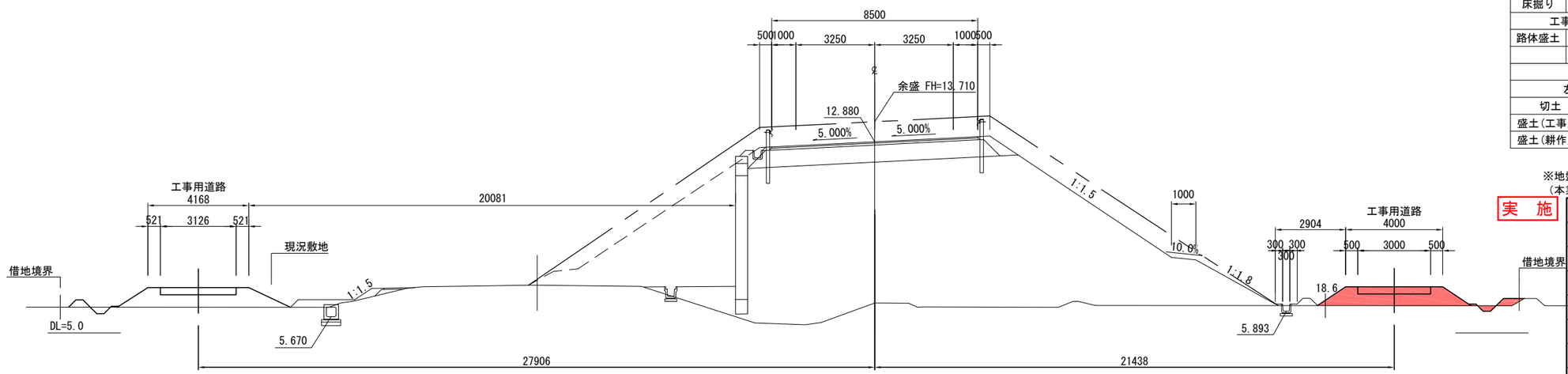
NO.24			
地 盤 高	5.98	設 計 高	13.000
切土	m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.4(5.3)m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.4 m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	2.1 m	盛土(工事用)	2.4 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

NO.23
GH= 6.04
FH=12.940



NO.23			
地 盤 高	6.04	設 計 高	12.940
切土	m2	硅畔	0.2 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	3.2 m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.4 m	切土	m
盛土(工事用)	2.6 m	盛土(工事用)	m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

NO.22
GH= 6.24
FH=12.880

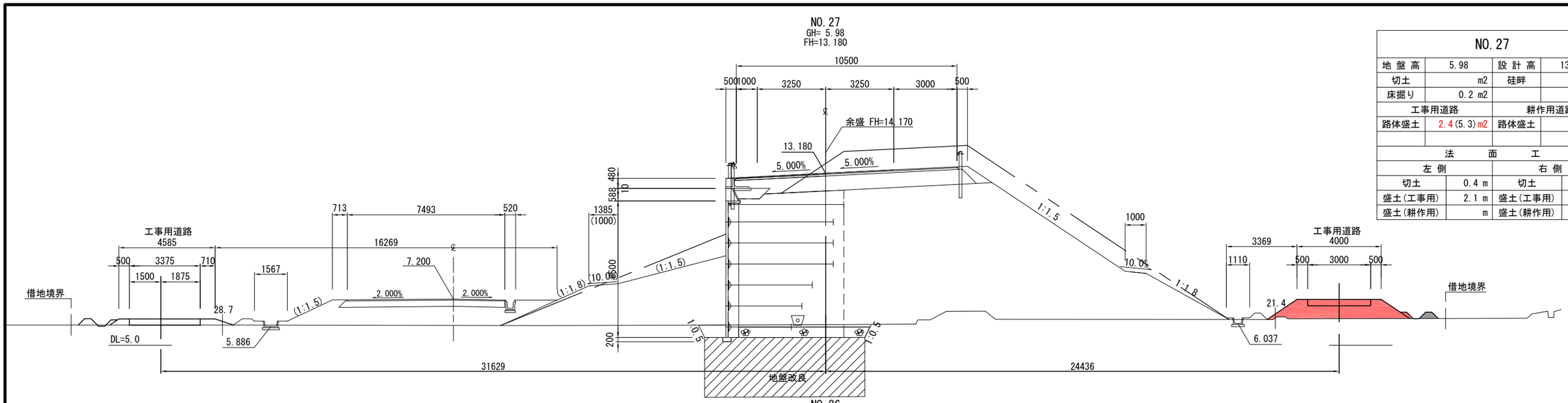


NO.22			
地 盤 高	6.24	設 計 高	12.880
切土	0.1(0.2)m2	硅畔	0.4 m2
床掘り			
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.4(6.8)m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.8 m	切土	0.6 m
盛土(工事用)	3.3 m	盛土(工事用)	2.7 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

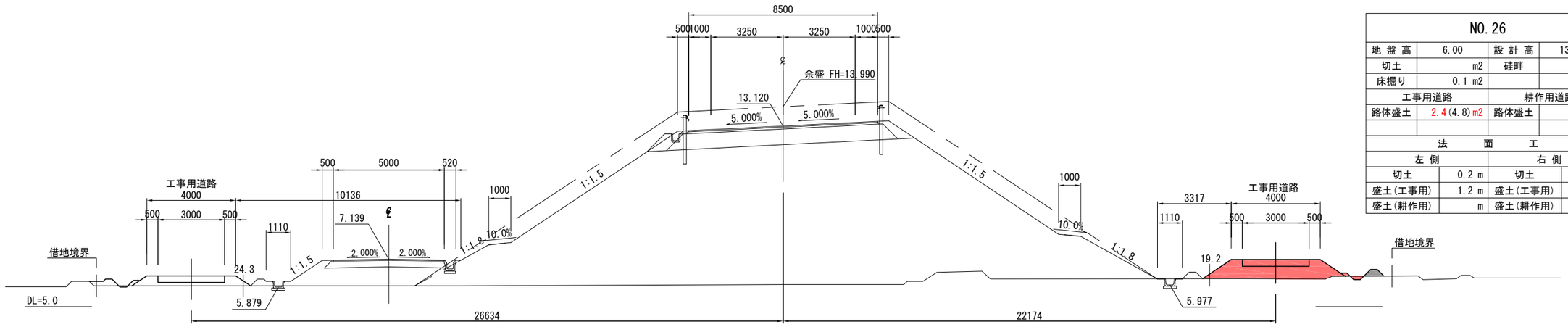
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実 施

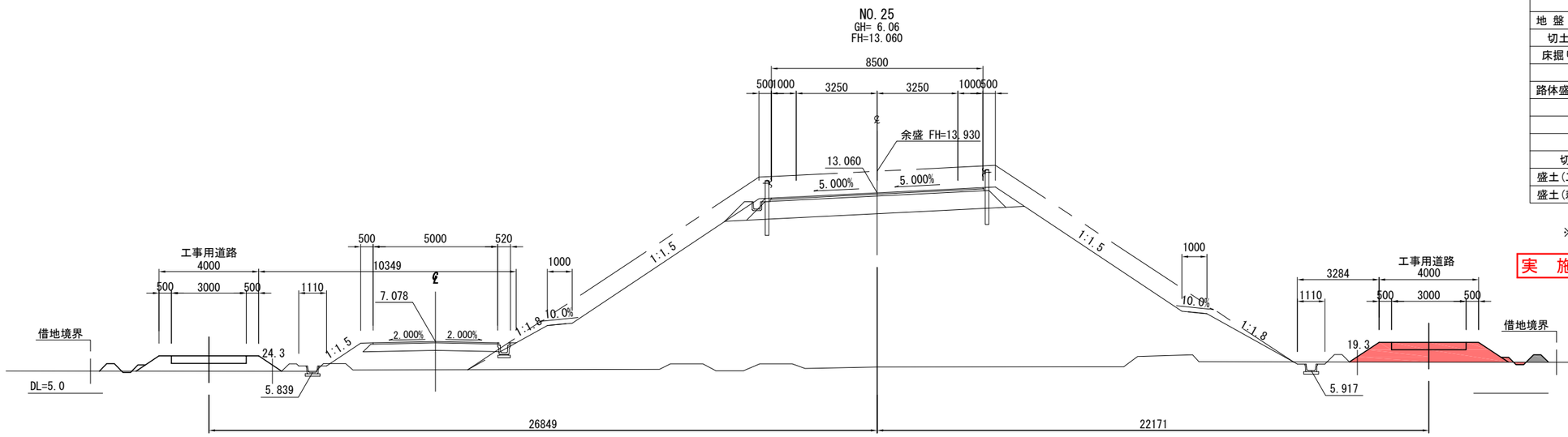
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図 名	仮設横断図(本線)(9)		
縮 尺	1 : 100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	53 / 55



NO.27			
地 盤 高	5.98	設 計 高	13.180
切土	m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.4(5.3)m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.4 m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	2.1 m	盛土(工事用)	2.4 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m



NO.26			
地 盤 高	6.00	設 計 高	13.120
切土	m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.4(4.8)m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.2 m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	1.2 m	盛土(工事用)	2.7 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

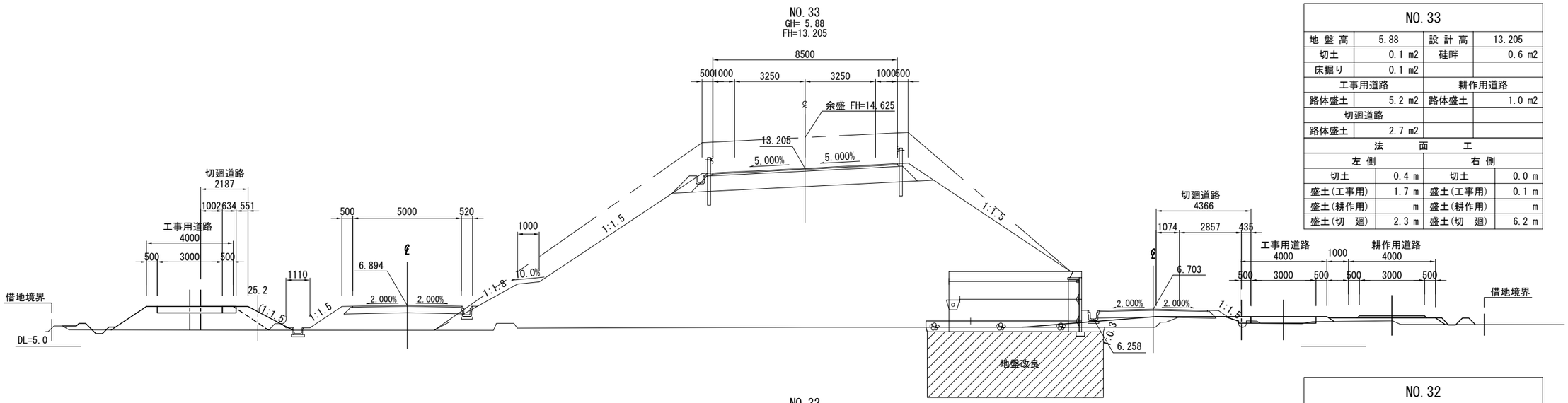


NO.25			
地 盤 高	6.06	設 計 高	13.060
切土	m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.4(5.3)m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.2 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	1.8 m	盛土(工事用)	2.5 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

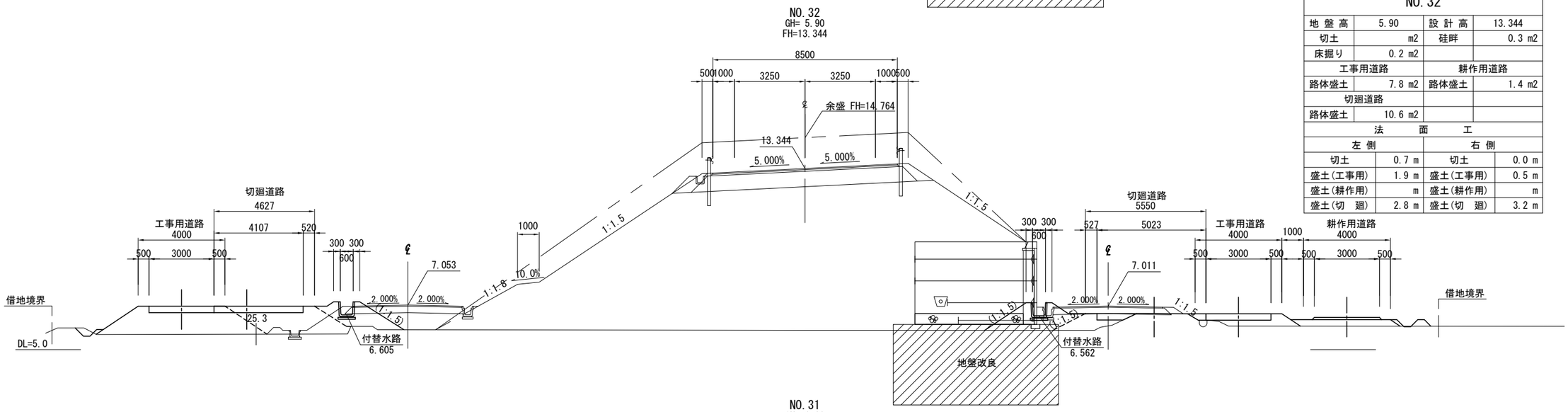
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実 施

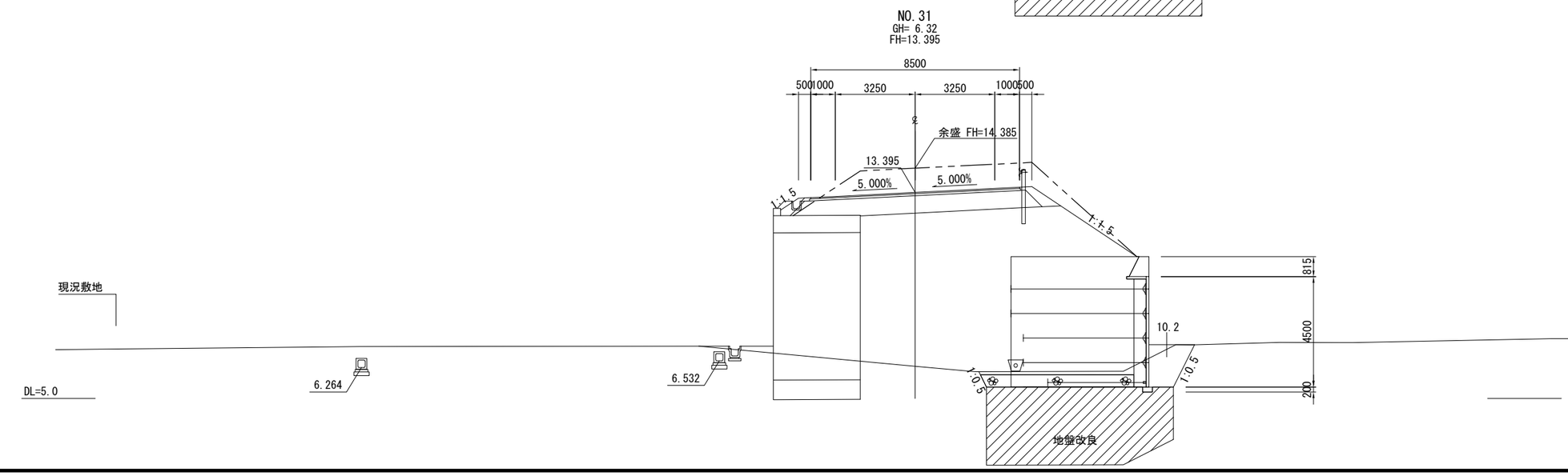
工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図 名	仮設横断図(本線)(10)		
縮 尺	1 : 100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	54 / 55



NO.33			
地 盤 高	5.88	設 計 高	13.205
切土	0.1 m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	5.2 m2	路体盛土	1.0 m2
切廻道路			
路体盛土	2.7 m2		
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.4 m	切土	0.0 m
盛土(工事用)	1.7 m	盛土(工事用)	0.1 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m
盛土(切 廻)	2.3 m	盛土(切 廻)	6.2 m



NO.32			
地 盤 高	5.90	設 計 高	13.344
切土	m2	硅畔	0.3 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	7.8 m2	路体盛土	1.4 m2
切廻道路			
路体盛土	10.6 m2		
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.7 m	切土	0.0 m
盛土(工事用)	1.9 m	盛土(工事用)	0.5 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m
盛土(切 廻)	2.8 m	盛土(切 廻)	3.2 m



実 施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	平成30年度 受(Ⅲ)道第6号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-4工区)工事		
図 名	仮設横断図(本線)(11)		
縮 尺	1 : 100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	55 / 55